

令和7年度

岩手県農業研究センター 年 報



令和8年7月

目 次

I 農業研究センターの概要

1 組織機構・職員数	I - 1
2 会議、委員会、部会等の運営	I - 2
(1) 農業試験研究推進会議等の開催	I - 2
ア 新規試験研究課題の評価と選定	
イ 試験研究成果の採択	
ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価	
エ 岩手県農業技術開発会議	
オ 試験研究推進アドバイザー	
(2) 機関評価検討会	I - 6
(3) 企画運営会議	I - 6
(4) 運営会議、室長会議	I - 7
(5) 委員会等の運営	I - 8
ア 公開行事企画運営委員会	
イ 飼料生産委員会	
(6) その他会議	I - 8
ア 全国農業関係試験研究場所長会議	
イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議	
ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議	
エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議	
オ 岩手県農作物病害虫・雑草防除に関する技術資料作成会議	
カ 東北農業試験研究推進会議	
キ 県内で開催された関係学会	

II 試験研究の推進

1 研究活動の概要	II - 1
2 トピックス	II - 2
(1) 特許・品種登録出願状況	II - 2
(2) 表彰等受賞状況	II - 2
3 研究室・課の動き	II - 4
(1) 企画管理部	II - 4
(2) 生産基盤研究部	II - 5
(3) 園芸技術研究部	II - 6
(4) 生産環境研究部	II - 8
(5) 病害虫防除部	II - 9
(6) 畜産研究所	II - 10
(7) 県北農業研究所	II - 13
4 令和7年度試験研究課題	II - 15
(1) 細目課題分類	II - 15
(2) 試験研究課題一覧	II - 16
(3) 試験研究課題の要望とその措置一覧	II - 23

5 共同研究等の推進	II - 24
(1) 農林水産省委託プロジェクト研究事業	II - 24
(2) イノベーション・オープンイノベーション創出強化研究推進事業	II - 24
(3) 公設試等連携可能性調査	II - 25
(4) その他独法等からの委託	II - 25
(5) 民間委託試験	II - 26
(6) (公財)岩手生物工学研究センターとの共同研究	II - 27
(7) 他の公設試との共同研究	II - 27
(8) FAMS(動物医学食品安全教育研究センター)	II - 27
(9) その他共同研究	II - 27
(10) 産学官連携	II - 28
6 現地試験の実施	II - 29

III 試験研究の成果

1 試験研究成果	III - 1
(1) 令和7年度成果数	III - 1
(2) 令和7年度成果名一覧	III - 2
2 追跡評価	III - 6
3 東北農業研究成果	III - 8
(1) 研究成果数	III - 8
(2) 研究成果名	III - 8

IV 試験研究成果の発表

1 試験成績書等刊行物	IV - 1
2 研究レポート	IV - 2
3 岩手県農業研究センター研究報告	IV - 4
4 学会等研究報告	IV - 4
(1) 学術論文	IV - 4
(2) 学会発表	IV - 7
5 雑誌等掲載	IV - 11
(1) 専門雑誌等	IV - 11
(2) 岩手の畜産	IV - 12
(3) その他の雑誌等	IV - 12
6 新聞等掲載	IV - 13
7 テレビ・ラジオ放送	IV - 14
(1) テレビ	IV - 14
(2) ラジオ	IV - 14
8 指導資料等掲載	IV - 15
9 ホームページ	IV - 17
(1) 記事入力件数	IV - 17
(2) アクセス数	IV - 17
10 SNS	IV - 17
(1) X	IV - 17
(2) Facebook	IV - 17

11 研究室だより	IV- 18
(1) らぼ・れたあ	IV- 18
(2) ふおとらぼ	IV- 20

V 指導・啓発活動

1 技術伝達研修等への対応	V- 1
2 現地指導・研修会等への講師派遣	V- 6
3 視察者、見学者の受け入れ状況	V- 14
4 春季一般公開及び一般公開デー	V- 14
5 技術セミナー等の開催	V- 14
6 農業科学博物館、農業ふれあい公園の利用者	V- 14
7 研修生の受け入れ	V- 15
(1) 海外研修	V- 15
(2) 短期研修生	V- 15
(3) 視察・体験学習の受け入れ	V- 15
ア 小中学校等の「総合的な学習の時間」等に対応したもの	
イ 高等学校、大学等の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの	
ウ その他の視察・研修等に対応したもの	
8 協議会、委員会等委員	V- 20

VI 職員研修

1 大学院派遣	VI- 1
2 海外派遣・研修	VI- 1
3 国内研修への派遣	VI- 1
(1) 依頼研究員	VI- 1
(2) 農林水産関係研究リーダー研修	VI- 1
(3) 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修	VI- 1
(4) 農林水産関係研究者研修	VI- 1
(5) その他	VI- 2
4 所内研修等	VI- 7
5 所内セミナー等	VI- 8

VII 試験研究以外の業務概要

1 岩手県主要農作物等原種・原原種の生産等に関する要領に基づく原原種の生産	VII- 1
2 岩手県主要農作物等原種・原原種の生産等に関する要領に基づく原種の生産	VII- 1
3 岩手県主要農作物等原種・原原種の生産等に関する要領に基づく種子・種苗の配布	VII- 2
4 遺伝資源センターの取組	VII- 2
5 県有種雄牛の精液の供給	VII- 3
(1) 黒毛和種	VII- 3
(2) 日本短角種	VII- 4
6 種豚、種鶏等の配布	VII- 5
(1) 豚の配布	VII- 5
(2) 種鶏等の配布	VII- 5
7 寄託放牧	VII- 5
(1) 牛	VII- 5
(2) 馬	VII- 5

VIII 予算及び財産

1 岩手県農業研究センター予算	VIII-	1
2 建物、用地の面積及び飼養家畜数	VIII-	2
(1) 建物・用地の面積	VIII-	2
(2) 飼養家畜頭数	VIII-	2

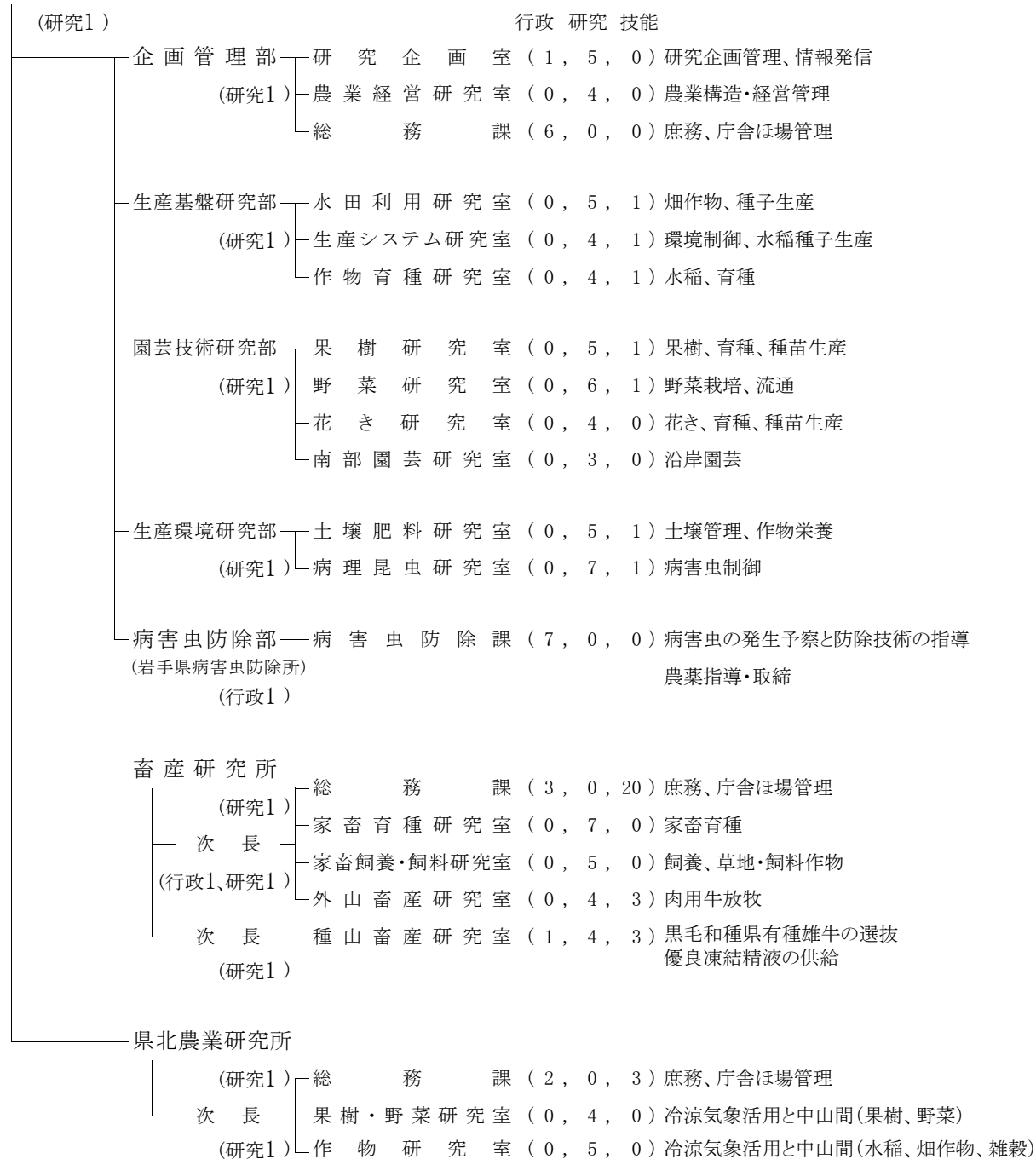
IX 沿革	IX-	1
-------------	-----	---

I 農業研究センターの概要

I 農業研究センターの概要

1 組織機構・職員数 ※実数

所 長



〈職員数〉 ※定数

	本 部		畜産研究所			県北農業研究所	合 計
	(北上市)	南部園芸研究室 (陸前高田市)	(滝沢市)	外山畜産研究室 (盛岡市玉山)	種山畜産研究室 (住田町)	(軽米町)	
行政	15	0	5	0	1	2	22
研究	59	3	23	4	5	11	93
技能	7	0	26	3	3	3	36
合計	81	3	54	7	9	16	151

2 会議、委員会、部会等の運営

(1) 農業試験研究推進会議等の開催

ア 新規試験研究課題の評価と選定

(ア) 第1回内部検討会議

a 開催日及び参集範囲

部会名等		農産部会	園芸部会	畜産部会
開催日		R7.7.22(火)	R7.7.23(水)	R7.7.28(月)
参集範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	-	-	-
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	-	-	-
	各家畜保健衛生所	-	-	○
	農業大学校	-	-	-
	各農業改良普及センター	○	○	○

b 協議事項

- (a) 令和8年度からの試験研究を要望された課題とその措置案について
- (b) 令和7、8年度新規試験研究課題案について
- (c) 令和7年度試験研究成果案について

(イ) 第1回外部検討会議

a 開催日及び参集範囲

部会名等		農産部会※	園芸部会	畜産部会
開催日		-	R7.9.9(火)	R7.9.19(金)
参集範囲	試験研究推進アドバイザー	-	○	○
	東北農政局岩手県拠点	-	-	-
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	-	-	-
	岩手県農業共済組合	-	○	-
	(公社)岩手県農産物改良種苗センター	-	-	-
	(一社)岩手県植物防疫協会	-	○	-
	岩手県農薬卸商業協同組合	-	○	-
	(公社)岩手県農業公社	-	-	-
	岩手県農業機械協会	-	-	-
	(一社)岩手県畜産協会	-	-	-

※外部検討会議における検討議案がなかったことから未開催

b 協議事項

- (a) 令和8年度新規試験研究課題案について

(ウ) 第1回評価調整会議

a 開催日 令和7年10月1日(水)

b 協議事項等

- (a) 令和8年度からの試験研究を要望された課題とその措置案について
- (b) 令和7、8年度新規試験研究課題案について
- (c) 令和7年度試験研究成果案について

c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長

イ 試験研究成果の採択

(ア)第2回内部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会	畜産部会
開催日		R7.12.8(月)	花き・果樹: R7.12.4(木) 野菜: R7.12.5(金)	R7.12.3(水)
参 集 範 囲	(公財)岩手生物工学研究センター	-	-	-
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	-	-	-
	各家畜保健衛生所	-	-	○
	各農業改良普及センター	○	○	○

b 協議事項

- (a) 令和7年度試験研究成果案について
- (b) 令和8年度試験研究課題案について

(イ)第2回外部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会	畜産部会
開催日		R8.1.7(水)	野菜: R8.1.13(火) 花き・果樹: R8.1.14(水)	R8.1.9(金)
参 集 範 囲	試験研究推進アドバイザー	○	○	○
	東北農政局岩手県拠点	○	-	-
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	○	○	-
	岩手県農業共済組合	○	○	○
	(公社)岩手県農産物改良種苗センター	○	○	-
	(一社)岩手県植物防疫協会	○	○	-
	岩手県農薬卸商業協同組合	-	○	-
	(公社)岩手県農業公社	-	-	-
	岩手県農業機械協会	-	-	-
	(一社)岩手県畜産協会	-	-	○

b 協議事項

- (a) 令和7年度試験研究成果案について
- (b) 令和8年度試験研究課題案について

(ウ)第2回評価調整会議

- a 開催日 令和8年2月5日(木)
- b 協議事項
 - (a) 令和7年度試験研究成果案について
 - (b) 令和8年度試験研究課題案について
- c 参集範囲
農業研究センター所長、各部長、各研究所長

ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価

(ア)第3回内部検討会議

- a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会	畜産部会
開催日		鳥インフルエンザ対応のため、書面開催に変更		
参 集 範 囲	(公財)岩手生物工学研究センター	-	-	-
	農林水産部農政関係各室課	-	-	-
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	-	-	-
	各家畜保健衛生所	-	-	-
	各農業改良普及センター	-	-	-

- b 協議事項
 - (a) 令和8年度試験研究課題案(新規、変更)について
 - (b) 令和7年度試験研究成果案について

(イ)第3回評価調整会議

- a 開催日 令和8年3月17日(火)
- b 協議事項
 - (a) 令和8年度試験研究課題(新規)について
 - (b) 令和8年度試験研究課題(継続)について
 - (c) 令和7年度に終了する試験研究課題について
 - (d) 令和7年度試験研究成果について
- c 参集範囲
農業研究センター所長、各部長、各研究所長

エ 岩手県農業技術開発会議

(ア)第1回

- a 開催日 令和8年1月30日(金) 15:00～17:00
- b 報告事項
- (a) 農業研究センターにおける試験研究推進計画(2024年度～2028年度)の進捗状況について
 - (b) 農業研究センターにおける試験研究成果の採択について
 - (c) 農業研究センターにおける新規課題の選定について
 - (d) 生物工学研究センターにおける技術開発について
- c 参集範囲
- (公財)岩手生物工学研究センター
- 農政担当技監、農政関係各室課、生物工学研究、農業大学校
- 農業研究センター所長、各部長、各研究所長

オ 試験研究推進アドバイザー

所属部会	氏名	役職名	外部検討会議出席	
			第1回	第2回
農産 (水稲)	新田 義修	岩手県立大学 総合政策学部 教授		
	長谷川 啓哉	農研機構 東北農業研究センター 水田輪作研究領域 領域長		
	鈴木 淳	全農 岩手県本部 米穀部 次長		○
	清水 一孝	株式会社西部開発農産 受託部 部長		○
農産 (畑作)	高橋 智紀	農研機構 東北農業研究センター 緩傾斜畑作研究領域 領域長		○
	渡邊 克洋	農事組合法人アグリパーク舞川 代表理事、岩手県農業農村指導士(一関市)		○
	藤田 栄貴	藤田農産 岩手県農業農村指導士(奥州市)		○
園芸 (果樹)	小森 貞男	岩手大学農学部農学生命課程 教授		○
	岩波 宏	農研機構 果樹茶業研究部門 果樹生産研究領域果樹スマート生産グループ 領域長補佐兼グループ長		○
	佐々木 仁	全農岩手県本部 園芸部 園芸特産課		○
	工藤 英夫	花巻市葡萄が丘農業研究所 所長		○
	中野 忍	岩手県農業農村指導士(矢巾町)		○
園芸 (野菜)	畠山 勝徳	岩手大学 農学部 植物生命科学科 教授		
	塚崎 光	農研機構 東北農業研究センター 畑作園芸研究領域 領域長		○
	三浦 瑞明	全農岩手県本部 園芸部 部長	○	○
	高橋 光朗	岩手県農業農村指導士(奥州市)	○	○
	工藤 勝弘	岩手県農業農村指導士(八幡平市)	○	○
園芸 (花き)	稲本 勝彦	農研機構 野菜花き研究部門 施設生産システム研究領域 施設野菜花き生産管理システムグループ グループ長補佐		○
	高橋 俊一	(株)T&Gバイオナーサリー 会長兼CEO		○
	高橋 亮	八幡平市花き研究開発センター 係長		○
	佐藤 巧	岩手県農業農村指導士(花巻市)		○
畜産	河本 英憲	農研機構 東北農業研究センター 研究推進部 事業化推進室 農業技術コミュニケーター		○
	佐々木 重樹	(一社)岩手県畜産協会 経営支援部 部長	○	○
	築城 幹典	岩手大学 名誉教授	○	○
	大津 信一	全農岩手県本部畜産酪農部 専任部長	○	
	外山 高士	(独)家畜改良センター岩手牧場 場長	○	○
	合砂 哲士	岩手県農業農村指導士(青年農業士)(岩泉町)	○	○
	鈴木 稔	岩手県農業農村指導士(滝沢市)	○	○
	嵯峨 裕紀	岩手県農業農村指導士(青年農業士)(盛岡市)	○	○
			10 名	25 名

(2) 機関評価検討会

ア 開催日・場所 令和7年9月24日(水) 岩手県農業研究センター畜産研究所(滝沢市)

イ 内容 (ア) 機関評価の概要
(イ) 試験研究推進計画について
(ウ) いわて農業生産強化ビジョンについて
(エ) 試験研究実施状況等説明(場内視察)
(オ) 意見交換

ウ 出席者

(ア) 機関評価検討会員 大浦 典子 氏 (東北農業研究センター 研究推進部長)
(5人) 寺内 良平 氏 (岩手生物工学研究センター 所長)
新田 義修 氏 (岩手県立大学総合政策部 教授)
青沼 純一 氏 (岩手県農業農村指導士協会 会長)
小林 正信 氏 (岩手県工業技術センター 理事)
(イ) 所員 所長、各部長、各研究所長、事務局等

(3) 企画運営会議

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
R7.4.23(水)	特別会議室	(第1回企画運営会議) 1 協議事項 (1)令和7年度機関評価について (2)職員意識調査の結果について (3)第1回試験研究推進会議について (4)新規予算要求スケジュールについて (5)研究資金の調達法の提案について 2 連絡・報告事項 (1)試験研究費の推移について (2)webによる情報発信の実施状況と計画について
R7.7.29(火)	特別会議室	(第2回企画運営会議) 1 協議事項 (1)令和7年度機関評価の実施内容について (2)第1回試験研究推進会議について (3)第2回試験研究推進会議の日程について (4)研究課題推進研修会(成果書の書き方研修)の日程について 2 連絡・報告事項 (1)東北農業試験研究発表会について (2)一般公開デー(本部)の準備状況について (3)畜産研究所参観デーの開催について (4)畜産研究所の研究体制の見直しについて (5)「らぼ・れたあ」の投稿実績について (6)毒物及び劇物管理要領の改訂について
R7.10.1(水)	特別会議室	(第3回企画運営会議) 1 協議事項 (1)農業研究センター予算(一行組替)について (2)獣害対策に係る研究体制について(オータム_農業振興課) (3)勤務発明審査について(いわてEB-5号) (4)第2回試験研究推進会議について 2 連絡・報告事項 (1)一般公開デーの開催状況について (2)業務方針進捗状況第2四半期実績について (3)「らぼ・れたあ」の投稿実績(第2四半期)について

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
R8.2.5(木)	1階中会議室	(第4回企画運営会議) 1 協議事項 (1)岩手県農業研究センター研究報告における論文の最終採否審査について (2)令和8年度農業研究センター所内コンペについて 2 連絡・報告事項 (1)「らぼ・れたあ」第3四半期の実績と今後の計画について (2)試験研究成果発表会について
R8.3.17(火)	特別会議室	(第5回企画運営会議) 1 協議事項 研究報告の位置づけと投稿喚起について 2 連絡・報告事項 (1)令和8年度外部研究資金について (2)企画運営会議等主要会議の年間スケジュールについて

(4) 運営会議、室長会議

ア 本部運営会議

令和7年度開催回数24回

イ 本部室長会議

令和7年度開催回数1回

ウ 畜産研究所室長会議

原則月1回開催、令和7年度開催回数13回

エ 県北農業研究所企画調整会議

原則月1回開催、令和7年度開催回数17回

(5) 委員会等の運営

ア 公開行事企画運営委員会 (PR委員会)

(畜産研究所関係)

開催月日	場所	内 容
R7.7.25	畜産研究所セミナー室	(1) 令和7年度畜産研究所参観デーの実施計画等について (期日、場所、展示内容等について協議)

イ 飼料生産委員会

開催月日	場所	内 容
R7.4.25	畜産研究所小会議室	(1) 令和6年度粗飼料供給実績について (2) 令和7年度粗飼料要望数量と供給見込数量について (3) 収穫時の作業協力体制について (4) 調整場所について

(6) その他会議

ア 全国農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
R7.6.24	日比谷コンベンション ホール 大ホール	全国農業関係試験研究場所長会総会 (1) 令和7年度全国農業関係試験研究場所長会通常総会 (2) 研究功労者表彰式

イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
R7.7.24～25	山形県山形市、尾花沢市、天童市、寒河江市	情報提供 (1) 現地視察(尾花沢市): JAみちのく村山(東部すいか選果施設) (2) 現地視察(天童市): 大規模稲作経営体((株)おしの農場) (3) 現地視察(寒河江市): 山形県農業総合研究センター園芸農業研究所 協議事項 (1) 各機関からの提案事項についての情報交換

ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
R7.6.19	東京都文京区 全国家電会館	1 協議 (1) 令和6年度事業報告及び収支決算について (2) 令和7年度事業計画及び収支予算について (3) 令和7年度会費の額及び徴収方法について (4) 令和7年度役員について 2 その他 (1) 畜産研究功労者及び優秀畜産技術者表彰(多田和幸氏、山形広輔氏) (2) 意見交換(試験研究機関における災害対策について)

エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議

開催月日	場 所	内 容
R7.10.3	宮城県仙台市 宮城県庁12階会議室	1 重点研究課題について 2 連携(共同)研究の実施状況について 3 連携(共同)研究の今後の希望について 4 国・国研・独法に対する提案について 5 畜産研究功労者表彰候補者の推薦について 6 優秀畜産技術者表彰候補者の推薦について 7 意見交換会(若手研究職員の能力向上に向けた取組) 8 次期役員及び次回開催地(案)について

オ 岩手県農作物病害虫・雑草防除に関する技術資料作成会議

開催月日	場 所	内 容
R7.9.2	盛岡市 (盛岡合庁8F会議室)	第1回岩手県農作物病害虫・雑草防除に係る技術資料作成会議(農業普及技術課主催) ・作成に係る基本方針の周知等
R7.11.4～5	北上市 (農業研究センター)	分科会(農業普及技術課主催) ・防除技術資料の原案及び要望事項の検討
R7.12.23～24	北上市 (農業研究センター)	令和8年度県防除技術資料原案のチェック結果検討会議(病害虫防除所主催) ・チェック結果の検討
R8.2.4	盛岡市 (県庁5F会議室)	第2回岩手県農作物病害虫・雑草防除に係る技術資料作成会議(農業普及技術課主催) ・防除技術資料(案)の決定

カ 東北農業試験研究推進会議

開催月日	場 所	内 容
【作物生産推進部会】		
R7.8.25	盛岡市 (農研機構 東北農業研究センター)	○東北地域麦品種・系統検討会 1 各県の麦作概況 2 麦類の検討 3 冬作研究に関する情報交換
R7.8.28～29	北上市 (岩手県農業研究センター)	○東北地域水稻品種・系統立毛検討会 1 現地見学 2 立毛調査 3 室内検討
R8.1.26～27	盛岡市 (アイーナ)	○稲品種検討会 1 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の選定 2 品種の作付け動向と要望される品種 3 配付系統の試作結果と配付計画の検討 (1) 試作成績一覧、年度配付計画 (2) 配布系統一覧 (3) 各県現地試験供試系統および次年度品種候補系統 4 技術的課題の提案と検討 5 特性比較連絡試験の検討 6 育種関係情報交換

開催月日	場 所	内 容
【作物生産推進部会】(続き)		
R8.1.26～27	盛岡市 (アイーナ)	○稲栽培研究会 1 研究会「省力化・省人化に資するスマート農業技術等を活用した水稻栽培技術」 (1) 話題提供(オンライン) 農業用ドローンを活用した水稻湛水直播の実証 秋田県立大学アグリイノベーション教育研究センター 西村洋 (2) 情報提供・総合討論 2 令和7年度の移植および直播栽培における生育概況と技術課題の検討 3 重要検討事項「気候変動に対応した研究の現状と展開方向」の検討 4 重点課題の紹介
R8.1.27	盛岡市 (アイーナ)	○作物生産推進部会 本会議 1 検討会・研究会報告 2 成果情報の検討 3 技術的課題の検討 4 重点検討事項「気象変動に対応した作物生産を実現する試験研究と課題」 5 次年度重点検討事項および 共同研究課題の提案
R8.1.26	盛岡市 (アイーナ)	○畑作物栽培研究会 1 情勢報告 畑作物栽培に関わる行政部局からの情報提供 2 重点検討事項「気象変動に対応した作物生産を実現する試験研究と課題」 (1) 話題提供「大豆栽培における2023年の高温条件の影響」 (2) 畑作物の雑草防除に関する情報交換会
R8.1.27	盛岡市 (アイーナ)	○畑作物品種検討会 1 令和7年度研究成果情報候補(畑作物品種関係)の検討 2 畑作物の品種・系統の検討 (1) 奨励品種の改廃・採用予定、有望品種・系統 (2) 大豆の有望品種・系統(育成地)
R8.1.26～27	盛岡市 (アイーナ)	○農業経営研究会 1 令和7年度成果情報の紹介 2 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の検討と選定 3 農業経営研究に係る技術的課題の提案と検討 4 各県及び東北農研における研究実施課題の紹介 5 重点検討事項「東北地域における気候変動に対応した農業経営研究の展開方向」 (1) 話題提供 「農業生産における」クレジットの創出 農研機構農業環境研究部門 秋山博子 氏 (2) 総合討論
R7.8.21～22	宮城県 (仙台市 宮城大学)	○作業技術研究会(夏季) 1 シンポジウム テーマ:「水田を活用した大規模露地園芸等を含む土地利用型作物生産の取組と今後の展開」 (1) 子実とうもろこしを導入した新たな水田輪作体系とJA古川における子実とうもろこし栽培の大規模実証 農研機構東北農業研究センター、古川農業協同組合 (2) 子実トウモロコシの導入による持続的低投入型輪作体系の構築 古川農業試験場 (3) 露地野菜生産におけるRTKを活用したスマート農業 農業・園芸総合研究所 2 検討 (1) テーマに係る各県の現状と課題および外部資金獲得に向けた課題提案等 (2) 令和7年度作業技術研究会(冬期)重点検討事項 3 見学会 (1) JA古川子実とうもろこし実証ほ場 (2) (有)薬師農産 ブロッコリー生産ほ場

開催月日	場 所	内 容
【作物生産推進部会】(続き)		
R8.1.26～27	盛岡市 (アイーナ)	○作業技術研究会(冬期) 1 重点検討事項「環境に配慮した作業技術体系の取り組み～みどりの食料システム戦略と作業技術研究～」 2 研究成果情報の検討・確認 3 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の選定 4 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討 5 令和7年度作業技術検討会(夏期)についての意見交換
【生産環境推進部会】		
R7.7.9～10	福島県福島市(コラッセ福島)	○土壌肥料研究会(夏期) 1 室内検討会 検討課題「みどりの食料システム戦略に対応した土壌肥料分野の取り組み」 講演 「福島市における果樹剪定枝炭化装置導入の取組」 福島市農業振興課 高橋佑太 氏 各機関からの発表 2 現地検討会 JAふくしま未来土壌分析センター(伊達市) 福島県農業総合センター果樹研究所(福島市)
R8.1.29～30	盛岡市 (アイーナ)	○土壌肥料研究会(冬期) 1 重点検討事項「気候変動(特に夏季高温)に対応した研究の現状と展開方向」 話題提供 「土壌・植物系における炭素・窒素の動態に及ぼす土地利用管理と気候変動の影響に関する研究」 山形大学 程 為国 氏 「茶園・野菜畑における環境保全型土壌管理技術の開発」 農研機構中日本農業研究センター 徳田 進一 氏 2 温室効果ガスの削減や夏期高温に対応した各組織の土壌肥料研究の紹介 3 令和7年度試験研究成果情報の検討 4 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の選定 5 現場段階での重要な技術的課題の検討
R7.9.11～12	岩手県八幡平市、盛岡市 (岩手県公会堂)	○病虫害研究会 1 現地検討会(八幡平市、盛岡市) ①キャベツ栽培圃場(黒斑病対策) ②りんどう栽培圃場(黒斑病対策) ③きゅうり栽培圃場(タバココナジラミの対策) 2 研究会 検討課題「近年の野菜・畑作の病虫害の発生動向と防除対策」 ①岩手県におけるダイズ紫斑病の防除対策について 岩手県農業研究センター 技師 八桁 直輝 氏 ②夏秋イチゴの病害対策の現状と今後の目標 農研機構東北農業研究センター 上席研究員 今崎 伊織 氏 ③振動による害虫の行動制御と防除 福島大学農学類農業生産学コース応用昆虫学 准教授 高梨 琢磨 氏 総合討論
R8.1.29～30	盛岡市 (アイーナ)	○病虫害研究会(冬期) 1 重点検討事項「気候変動(特に夏季高温)に対応した病虫害研究の現状と展開方向」 2 講演「気候変動と害虫の分布拡大:斑点米カメムシを中心に」 農研機構東北農業研究センター 水田輪作研究領域 田淵 研 氏 3 令和7年度主要試験研究成績の検討 4 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の選定 5 「現場段階での重要な技術的課題」の検討

開催月日	場 所	内 容
【生産環境推進部会】(つづき)		
R7.8.21	オンライン併用 仙台市 (ソラブラザ)	○農業気象研究会(夏季) 1 検討課題 「近年の東北地域の大雨の現状と被害・対策」 講演会 ①「地球温暖化が近年の東北地方の梅雨大雨に与えた影響の検証」 初塚 大輔 氏(気象業務支援センター) ②「近年の東北地方の農地における大雨被害の状況」 小森 大輔 教授(東北大学) ③総合討論「対策に向けて」 調査票等紹介および討論
R8.1.29～30	オンライン併用 盛岡市 (アイーナ)	○農業気象研究会 1 重点検討事項 「気候変動(特に夏季高温)に対応した研究の現状と展開方向」 2 話題提供 「東北地域における近年の夏の気象と気候の変化」 農研機構東北農業研究センター 大久保 さゆり 氏 「高温条件に対応する水稻品種を育成するために」 農研機構東北農業研究センター 太田 久稔 氏 「近年の高温事例比較からみる東北農業気象研究の方向性」 農研機構農業環境研究部門 長谷川 利弘 氏 3 「研究成果」検討および「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の選定 4 試験研究成績の検討 5 「現場段階での重要な技術的課題」の検討
R8.1.30	オンライン併用 盛岡市 (アイーナ)	○生産環境推進部会 1 重点検討事項 「気候変動(特に夏季高温)に対応した研究の現状と展開方向」 話題提供 「気候変動にともなう水稻の高温障害の発生と対応策」 農研機構農業環境研究部門 丸山 篤志 氏 各県の取り組み状況と今後の研究方向 2 成果情報の検討および「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の選定 3 現場段階での重要な技術的課題の検討
【畜産飼料作推進部会】		
R7.1.27～28	盛岡市 (農研機構 東北農業研究センター)	○畜産飼料作推進部会 本会議 1 重点検討事項 「気候変動(特に夏季高温)に対応した畜産飼料作研究の現状と展開方向」 2 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討 3 主要成果の紹介および「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補選定 4 令和8年度「主要新規試験計画」の検討

開催月日	場 所	内 容
【野菜花き推進部会】		
R7.9.11～12	岩手県盛岡市、紫波町、花巻市	○野菜花き研究会(夏期) 1 現地検討会 JA全農いわて園芸育苗センター・ピーマン実証農場(紫波町) 誠花園・切花生産圃場(花巻市) 2 研究会(盛岡市) 各県等における野菜花き関連研究についての紹介
R8.1.27～28	岩手県盛岡市	○野菜花き推進部会 本会議 1 重点検討事項(野菜花き共通) 野菜花きにおける気候変動(特に夏季高温)対策に向けた東北農業研究開発の方向 2 成果情報候補の検討結果の報告 3 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の選定 4 現場段階での重要な技術的課題の検討
【果樹推進部会】		
R7.9.3	山形県寒河江市ほか	○果樹推進部会・東北果樹研究会 1 現地見学 (1) 高橋フルーツランド(高温対策実践観光果樹園) (2) さくらんぼ園(高温対策実践さくらんぼ園) (3) 山形県園芸農業研究所 2 室内検討 果樹の安定生産を脅かす気候変動の現状とその対策の課題
R8.1.30	盛岡市 (アイーナ会議室)	○果樹推進部会 1 「気候変動下での果樹の安定生産に向けた研究の現状と展開方向」の検討 2 「みどりの食糧システム戦略」実現等に資する現場段階での重要な技術的課題の検討 3 令和7年度研究成果情報の検討 4 「みどりの食糧システム戦略」技術カタログ掲載候補成果の検討と選定 5 新規試験研究計画の検討 6 その他
【本会議】		
R8.2.19	盛岡市 (農研機構 東北農業研究センター) オンライン併用	出席者: 所長、研究企画室長(オンライン出席) 1 推進部会・分科会等報告 2 令和7年度提出成果情報の採否の検討 3 「みどりの食料システム戦略」技術カタログの推薦の検討 4 「みどりの食料システム戦略」実現等に資する現場段階での重要な技術的課題 5 重点検討事項の確認 6 その他

キ 県内で開催された関係学会

開催月日	場 所	学 会 名 ・ 内 容
R7.7.31	盛岡市(アイーナ いわて県民情報交流センター)	第68回東北農業試験研究発表会
R8.2.18～19	盛岡市民文化ホールマリ奥斯(盛岡市)	第79回北日本病害虫研究発表会

Ⅱ 試験研究の推進

Ⅱ 試験研究の推進

1 研究活動の概要

県は、平成31年度から令和10年度までの10年間の政策の基本方向となる「いわて県民計画(2019～2028)」を平成31年2月に策定した。

この「いわて県民計画(2019～2028)」に基づき、農林水産部は、農林水産分野の長期的な技術開発の方針として「『農林水産技術立県いわて』技術開発基本方針」(以下「技術開発基本方針」という。)を策定した(令和2年3月)。

農業研究センターは、技術開発基本方針に基づき、令和10年度まで取り組む「岩手県農業研究センター試験研究推進計画」を策定した(令和6年3月、研究期間は令和10年度までとして策定)。

技術開発基本方針の5つの農業技術開発の方向に即し、15分野43の取組により、安全・安心で高品質な農畜産物を効率的かつ安定的に生産するために高度な技術の開発を進め、「農林水産技術立県いわて」の確立に取り組んでいる。

令和7年度の試験研究にあたっては、以下の3つの基本方針に沿って、新規12、継続97、合計109(小課題数ベース、分野を重複する小課題はカウント)の研究課題に取り組んだ。

1 県民視点の試験研究等業務の推進

- ・所得向上につながる普及性の高い技術開発
- ・産地づくりをリードする革新的な技術開発など

2 スピーディーな課題解決

- ・課題設定から普及定着まで、行政、普及、農業者と連携し一体的に推進
- ・連携強化による効率的・効果的かつ戦略的な技術開発

3 業務の「見える化」の推進

- ・知的財産の実用化促進
- ・研究成果・業務内容のPR及び視察等の受入れ

県独自予算の研究に加え、競争的資金等の活用や産学官連携による共同研究を推進し、農産・園芸部門で32課題(うち新規4課題)、畜産部門で6課題(うち新規1課題)、合計38課題の共同研究に取り組んだ。

知的財産では、今年度の登録は無かった。

本年度の試験研究から得られた成果は、内部及び外部(試験研究推進アドバイザー・生産者等)の評価を経て、62の研究成果(普及区分3、指導区分31、行政区分14、研究区分14)にとりまとめた。

機関評価委員会(視察・懇談会)を9月24日に本部を会場として開催した。当センターに対する理解を深めていただき、今後における円滑な機関評価の実施につなげることを目的に当センターの研究実施状況等について視察、意見交換を行った。

2 トピックス

(1) 特許・品種登録出願状況

区分	出願・登録内容	担当
種苗登録 出願申請中	いちご ゆいか(盛岡38号) 【出願番号:38283 出願日:2025/11/11】 ・商品果率が高く、果実硬度が高いため輸送性に優れるいちご品種	園芸技術研究部 南部園芸研究室
種苗登録 出願申請中	水稻 白銀のひかり(岩手141号) 【出願番号:37717 出願日:2024/11/7】 ・良食味で収量及び栽培特性に優れる早生粳水稻品種	生産基盤研究部 作物育種研究室
種苗登録 出願申請中	水稻 イワテ144号(岩手144号) 【出願番号:37962 出願日:2025/4/1】 ・良食味で収量及び栽培特性に優れる低アミロース早生粳水稻品種	生産基盤研究部 作物育種研究室
種苗登録 申請中	りんご 岩手 15 号 【出願番号:37858 出願日:2025/1/28 出願公表日:2025/5/14】 ・貯蔵性が優れる大玉で着色良好な赤色系品種	園芸技術研究部 果樹研究室
種苗(品種) 登録	りんどう いわて EB-3 号 【登録番号:31401 登録日:2025/11/7】 ・7月下旬～8月上旬開花の切り花向け青色りんどうF ₁ 品種	園芸技術研究部 花き研究室
種苗(品種) 登録	りんどう Bzc-1 mut1 【登録番号:31404 登録日:2025/11/7】 ・鉢花向け濃桃色りんどう品種	園芸技術研究部 花き研究室
種苗登録 出願申請中	あわ「岩手糯 11 号」(アワ岩手糯 11 号) 【出願番号:37215 出願日:2024/1/9】 (令和7年度 現地調査実施)	県北農業研究所 作物研究室

(2) 表彰等受賞状況

ア 令和7年度農林水産部長表彰

園芸技術研究部果樹研究室 河田道子上席専門研究員他4名(猫塚修一、羽田厚、中村太紀、西田絵梨香)は、長年に渡ってりんご農家に甚大な被害を与えていたりんご急性衰弱症について、これまで病原菌による病害であるか、栽培環境等のストレスによる生理障害であるか、その発生原因が把握できていなかった。今般、初めて病原菌が発生原因であることを突き止め、感染経路を明らかにし、発生を抑制する防除技術の開発につなげ、もって、県内だけでなく全国りんご農家の安定的な生産に大きく貢献したとして表彰された。また、畜産研究所の児玉英樹次長と池原遊人専門研究員は、県立農業大学校における家畜体内受精卵移植師養成体制の確立と運営に貢献したとして表彰された(令和7年10月31日)。

農業研究センターが、寒冷な気候の岩手県北地域を普及想定地域とする県ブランド米の育成がこれまで進まなかったところ、食味特性、耐倒伏性及び耐冷性等の優れた栽培特性をもち県ブランド米として初めて県北地域や高標高地での直播栽培への適用が期待できる「白銀のひかり」を開発するとともに、当該品種の生産・販売拡大に向けて、県北地域で初となる栽培研究会を設立し、産地一体となって取組みを進めたところ、本格デビュー1年目にして10アールあたりの収益が銀河のしずく等の県ブランド米と同等以上となる成果をあげたものとして、機関表彰を受けた(令和8年3月26日)。

イ 令和6年度畜産研究功労者表彰及び令和6年度優秀畜産技術者表彰

畜産研究所家畜飼料研究室の多田和幸首席専門研究員県室長(当時)は、豊富な知識と経験を活かした指導力により、本県の自給飼料の安定確保に貢献したとして畜産研究功労者表彰を受賞した。また、家畜育種研究室の山形広輔主査専門研究員は、肉用牛のDNA研究に精通し、牛肉の美味しさと関連がある一価不飽和脂肪酸の推定育種価とゲノム育種価の相関は高く、改良に有用であることを明らかにしたとして優秀畜産技術者表彰を受賞した(令和7年6月19日)。

ウ 農林水産部政策提案型調査研究コンテスト「Wild Cup 2025」

農業研究センターからは次の3課題が発表された。「夏ノ暑サニモ負けない日本一の夏秋ピーマン産地を目指して！～夏秋産地で伸ばすべき“強み”、あると思います！～」(発表者:園芸技術研究部 主任専門研究員 松橋伊織)、「転炉スラグを使って水稻浸種の労力を減らそう！～病害の抑制も？～」(発表者:生産環境研究部 技師 八桁直輝)、「いわての“JIDORI”「南部かしわ」～もっと食べたい食べさせたい！～」(発表者:畜産研究所 専門研究員 柿崎瑠利香)。

このうち、「夏ノ暑サニモ負けない日本一の夏秋ピーマン産地を目指して！～夏秋産地で伸ばすべき“強み”、あると思います！～」が優勝(副知事賞)を、「転炉スラグを使って水稻浸種の労力を減らそう！～病害の抑制も？～」が岩手県農業協同組合中央会会長賞をそれぞれ受賞した。

エ 令和7年度岩手県職員事績顕著者表彰

受賞者なし

オ 内部表彰

有益な研究・発明を行い優秀な成果をあげた職員や、事務の運営改善・簡素効率化に貢献した職員等に対し、農業研究センター所長表彰、畜産研究所長表彰及び県北農業研究所長表彰を下記のとおり行った。

表彰名称	件数	表彰者数	表彰年月日
令和7年度第1回農業研究センター所長表彰	4	9	令和7年10月28日
令和7年度第2回農業研究センター所長表彰	15	22	令和8年3月9日
令和7年度第1回農業研究センター畜産研究所長表彰	1	11	令和7年10月29日
令和7年度第2回農業研究センター畜産研究所長表彰	5	31	令和8年3月9日
令和7年度農業研究センター県北農業研究所長表彰	8	11	令和8年3月16日

3 研究室・課の動き

(1) 企画管理部

研究企画室

農業試験研究のアクションプランである「農業研究センター試験研究推進計画」に基づき、研究員の円滑な試験研究の支援、生産者や県民に開かれた農業研究センターを目指し、以下の事項について重点的に取り組んだ。

<顧客視点の試験研究の推進>

顧客のニーズに対応した試験研究を推進するため、農業普及技術課農業革新支援担当との作物別連携会議や現地検討会などを通じて顧客である農業者等のニーズの把握に努めた。

試験研究推進に際しては、研究課題の収集や試験研究推進アドバイザーを研究会議等に参集し、顧客目線での助言を得ながら課題設定や成果の取りまとめを行った。

センター運営や試験研究推進に対する外部評価を得るため設置した機関評価検討会を9月24日に畜産研究所を会場として開催し、当センターに対する理解を深めていただき、今後における円滑な機関評価の実施につなげることを目的に当センターの研究実施状況等について説明、意見交換を行った。

競争的研究資金等への応募のため、資金情報の提供や研究計画作成への助言を行うとともに、農業改良普及センターや県庁関係課との事前調整を行った。

<アウトカムを意識した研究成果の普及と情報発信>

研究センターの業務内容や研究成果の周知を図るため、マスコミへのプレスリリースやホームページにより積極的な情報発信を行なった。マスコミでの報道件数は、43件(前年37件)であった。ホームページは、年間203ページ(前年174ページ)の更新を行い、研究活動の現在(いま)を分かり易く伝える「らぼ・れたあ」をメールやホームページにより年間85件(前年47件)発信した。さらに、X(旧Twitter)による情報発信では、ホームページの更新情報を中心にツイート数359回、フォロワー増加数23名、同じくFacebookでは投稿数218回、フォロワー増加数126名であった。

<専門知識と技術を有する人材育成 ～ 新たに若手研究員を対象とした所内コンペを開催>

研究員の資質向上については、「農業研究センター研究員等育成方針」(令和4年策定)に基づき、専門性の高い人材の育成に向け、各種研修等への参加を誘導した。また、研究員の自由な発案に基づく研究課題の設定を促すため、若手研究員を対象とした所内コンペティションを4月に開催し、3課題を採択・予算配分したほか、センター内の学位取得者や論文査読経験のある職員9名を若手研究員育成サポーターとして設置し、若手研究員に対して論文投稿や学会発表を始めとした研究業務全般のアドバイスをを行うなど、重点的に育成を図った。

なお、各分野の中核を担う研究員の計画的な育成をさらに効果的・効率的に進めるため、職員個々が研修計画を策定し実践するとともに、発展段階に応じた集合研修を企画・実施している。

予算管理面では、「不正防止計画」に基づいたモニタリングと内部監査の実施により適正な経理事務を支援した。また、研究備品の更新計画をローリングした。

農業経営研究室

「農業研究センター試験研究推進計画」に基づき、収益力の高い農業経営体の育成等に向け、農業構造・経営管理分野の研究について、以下のとおり取り組んだ。

<収益性の高い農業経営モデルの提示>

「岩手県における野菜作経営モデルの構築と成立条件の解明」では、県内の先進的な野菜専作経営体の実態調査から、「施設野菜専作経営体の経営発展過程における経営者行動の特徴」及び「施設野菜専作経営体の経営者行動の特徴からみた経営発展のポイントと支援策」を研究成果として提示した。

「大規模水田作経営の成立条件の解明」では、2015 及び 2020 農林業センサスのデータから、「農林業センサスから見る岩手県の水田作における農地流動化の特徴」を研究成果として提示した。

「スマート農業技術の導入・定着プロセスと利活用方策の提示」では、県内の先進事例を参考に「施設園芸産地における環境モニタリングデータ活用支援の取組手順書」を研究成果として提示した。

<経営意思決定支援情報の提供>

「経営環境の変化に対応した農業技術体系データの提示」では、他研究室や農業革新支援担当等と連携し、「生産技術体系データ(2025年版)」及び「水稻乾田直播栽培(ブラウ耕鎮圧体系)の生産技術体系データ」を研究成果として提示した。

<本県の農業構造の現状及び動向の提示>

2025農林業センサスが令和7年度末公表予定であることから、本県農業動向分析及び担い手及び農地利用の将来予測等の分析内容について県庁関係各課と検討した。

(2) 生産基盤研究部

水田利用研究室

水稻・畑作物(麦類・大豆)の奨励品種決定調査、麦・大豆の作柄解析、麦・大豆の原種・原原種生産、農村整備分野の地下かんがいシステムの実証試験等に取り組んでいる。

<水稻品種>

水稻の奨励品種決定試験では、本試験においてうち3系統を供試し、現地試験では粳を13か所で検討した。

水稻作用除草剤第2次適用性試験では、新たに開発された水稻の除草剤の効果の確認と雑草防除体系の確立のための試験を行った。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・ 令和6年度における水稻奨励品種決定基本試験の本試験・現地試験結果(行政)

<麦類>

麦類奨励品種決定調査では、小麦4系統を供試した。

ナンブコムギに縮萎縮病抵抗性を付与した系統の育成のため、場内にて東北農業研究センターとの共同研究で、縮萎縮病に強い個体の選抜に取り組んだ。

縮萎縮病に強く収量性が高い日本麺用品種「ナンブキラリ」について、播種量及び追肥時期・量試験に取り組んだ。

麦類耐寒雪性検定試験では、現地ほ場(一戸町奥中山)において、育成地より配布を受けた106系統の雪腐病に対する耐性調査に取り組んだ。

<大豆>

大豆奨励品種決定調査では、普通大豆3系統を供試した。

大粒でダイズシストセンチュウに強い新品種「リョウユウ」について、播種時期及び栽植密度の試験に県北農業研究所作物研究室と連携して取り組んだ。

<種子生産>

小麦は原種4品種を13.9t、原原種を0.6t生産した。大豆は原種4品種を5.9t、原原種2品種を0.06t生産した。

<地下かんがいシステム・ほ場水管理システムの利用技術>

地下かんがいの利用技術では、大豆栽培での営農実証を行うとともに、地下かんがいシステムによる暗渠管の清掃効果を検証した。また、暗渠疎水材(籾殻)の経年劣化の状況についても現地調査を行った。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・ 岩手県的小麦栽培における越冬前後の踏圧時期及び回数の違いが生育に及ぼす影響(指導)
- ・ 暗渠排水の維持管理に活用可能なRTK-GNSSデータの有効性(行政)

生産システム研究室

令和7年度は、令和6年に引き続きの少雨による渇水で用水が不足する中、一部試験の中止やエンジンポンプによる用水のくみ上げなどの対応を取りながら、水田農業の担い手である大規模経営体や集落営農等の意欲と能力のある農業経営体を支援し、収益性の向上を図るため、スマート農業技術の実証、水稻の作柄解析や優良な水稻原種・原原種の生

産・供給に取り組んだ。

＜水稻栽培＞

夏季高温などの気象変動に対応し現場ニーズにこたえる、水稻の品質・食味の維持、向上を図るための技術開発や、作況調査及び現地生育データなど総合的な解析、大規模化、省力化に対応する直播技術の更なる普及拡大に向けた技術開発に取り組み、今年度は以下の3つの研究成果を公表・掲示した。

- ・ 令和7年岩手県産水稻の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析(指導)
- ・ 「銀河のしずく」の乾田直播栽培可能地域(指導)
- ・ 令和7年度における水稻晩植栽培による生育・収量への影響(研究)

＜水稻種子生産＞

原原種は、うるち5品種、もち1品種について約368kg、を生産した。また、原種は、うるち8品種、もち1品種について約20.7tを生産した。

＜スマート農業・リモートセンシング技術＞

省力的な栽培技術や導入しやすいスマート農業技術、リモートセンシング技術を活用した水稻生育診断技術の開発や、高効率な農業機械の開発に係る基礎的研究に取り組み、今年度は以下の3つの研究成果を公表・掲示した。

- ・ 高水分状態の水稻収穫に高い適応性を備えた高湿材適応コンバイン(普及)
- ・ 大豆栽培への自動操舵農機及び無人航空機(ドローン)の導入効果(指導)
- ・ ほ場でも容易に実施できる無人航空機(ドローン)を利用した水稻成熟期推定技術(指導)

作物育種研究室

＜水稻育種＞

いわてブランド米品種開発推進事業に取り組み、生産力検定本試験から、生育・収量調査および各種特性検定試験の結果に基づき、「岩手164号」(「いわてっこ」熟期の良質・良食味系統)、「岩手165号」(「銀河のしずく」に高温登熟耐性遺伝子を導入した系統)、「岩手166号」(「銀河のしずく」に晩生化及び高温登熟耐性遺伝子を導入した系統)の3系統、また、「イノベーション創出強化研究推進事業」を活用した研究成果として、「ひとめぼれ」の有用遺伝子集積系統「岩宮1号」「岩宮2号」を育成した。

隣接する(公財)岩手生物工学研究センターと連携してゲノム解析技術と独自の遺伝子資源の活用により、急務となっている気象条件に左右されにくく、環境に配慮した栽培特性を持つ品種、中食・外食ニーズに対応した品種等の新たな価値を持つ育種素材の充実化に取り組んだ。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・ 令和8年度水稻奨励品種決定予備試験に新たに供試する「岩手164号」、「岩手165号」、「岩手166号」(行政)
- ・ ゲノム育種により育成した「ひとめぼれ」の有用遺伝子集積系統(行政)

＜精緻なゲノム改良による低コスト生産可能な超多収良食味水稻品種の育成＞

(公財)岩手生物工学研究センターとの連携のもと、「ひとめぼれ」の栽培特性(耐倒伏性、耐病性及び高温登熟耐性等)をゲノム育種で改良し、低コスト生産可能な安定した超多収良食味水稻品種の開発を目指し、本年は生産力検定試験を青森県・宮城県・福島県と協力しながら効率的な系統育成に取り組んだ。また、奥州市江刺2カ所に現地試験ほ場を設置し、現地栽培での知見を得た。事業の研究成果として「ひとめぼれ」の有用遺伝子集積系統「岩宮1号」「岩宮2号」を開発した。

(3) 園芸技術研究部

果樹研究室

りんごを主体に、ぶどう、もも、西洋なし、おうとう、ブルーベリーなどの樹種に係る試験を実施している。特に、早生から晩生までを網羅するオリジナルりんご品種の開発を掲げ、その中でも9月下旬～10月上旬に収穫できる優良中生品種の開発を重点課題としている。

また、温暖化によるリスクの解消、軽減を図るため、凍霜害、裂果等のリスク対策の開発に努めると共に、果樹の早期成園化や管理作業の省力化につながる栽培技術の開発に向けた課題を実施している。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・りんご「雪いわて」の収穫適期の目安(普及)
- ・りんご園地におけるロボット草刈機導入による草生管理の省力効果及び効果的な使用方法(指導)
- ・ぶどう「シャインマスカット」の花穂整形時における上部枝梗利用方法と省力効果(指導)
- ・ぶどう「シャインマスカット」の上部枝梗利用時は下向きの花穂を選択することで果房管理作業を省力化できる(指導)
- ・管理作業の省力化及び大玉生産が可能なブルーベリーの交互結実剪定法(指導)

野菜研究室

「いわて農業生産強化ビジョン」及び「岩手県野菜生産振興計画」を踏まえ、環境制御技術等を活用した施設野菜の単収向上や品質向上技術の開発、水田等を活用した土地利用型野菜の生産拡大に寄与する栽培技術の開発に係る機関・団体と連携して取り組んだ。

環境制御技術の開発については、県内の民間企業が開発した小型光合成促進機を用いた炭酸ガス局所施用による「低コスト環境制御技術」の普及拡大に向け、きゅうりにおける技術確立に取り組むとともに、トマトの出荷量予測ツールの開発に取り組んだ。

ピーマン安定生産技術の開発については、県内産地で問題となっているピーマンの尻腐果や青枯病の発生低減技術の開発に取り組むとともに、大規模経営での導入を想定した省力的な整枝・誘引方法の開発に取り組んだ。

土地利用型野菜の安定生産技術の開発については、オープンイノベーション研究・実用化推進事業において「国産タマネギの安定供給に向けた持続可能なタマネギ腐敗性病害防除構築」に取り組むとともに、食料安全保障強化に向けた革新的新品種開発プロジェクトによる「加工歩留まりの高いF1タマネギ品種の開発」において、東北地域に適する縦長性タマネギの品種登録を目指した研究開発に取り組んだ。

また、収益性の高い新たな野菜産地の創造に向けて導入が進みつつあるブロッコリーについて、本県における安定生産技術の確立に向け、品種特性等の把握に係る評価を行った。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・夏秋どりトマトの短期収量予測技術（指導）
- ・きゅうりのハウス無加温作型における炭酸ガス局所施用ダクトの設置方法（指導）
- ・ブロッコリー早春まき作型における有望品種の適応性（指導）
- ・ブロッコリー夏まき作型における有望品種の適応性（指導）

花き研究室

花きは、日本一の生産量を誇るりんどうに重点をおき、新品種の育成、種苗の安定生産・供給及び安定生産技術の開発に取り組んだ。

新品種の育成について、切り花向け品種は8月盆および9月彼岸の需要期を中心に切れ目ない出荷を可能とする青色系品種のラインナップの充実や、作期拡大を目指した既存品種より最も早く開花する品種の開発など、複数品種の育成に取り組んだ。今年度は切り花F₁品種「いわてEB-5号」を品種登録出願した。一方で品質が低下している既存品種を花色、花型、草姿などの品質が優れた品種に置き換えていくため、本年度も継続して有望なF₁系統の特性検定を実施した。鉢花向け品種は、本センター初となる「岩手県育成鉢花りんどう有望系統評価会」を開催し、JA全農いわて、JA、生産者及び県関係機関より幅広い評価をいただいた。その結果を反映させて、令和元年度に成果公表した新奇性の高い青色系八重咲き品種「いわて八重の輝きブルー」に続く、八重咲きの桃色系や白色系などの有望系統4系統を選抜した。

種苗の安定生産・供給について、これまでに育成した親系統の維持等に取り組んだ。今年度は、(公社)農産物改良種苗センターへの原種苗として、種子系親系統9系統並びに培養系親系統1系統を計画どおり供給するとともに、採種は場の管理や採種技術等について指導を行った。

栽培技術試験について、育成品種の生態的特性や株養成技術のほか、特許を取得した「千鳥疎植栽培」の普及に向け、早生品種「いわてEB-3号」での技術適応性について確認した。

また、昨年度、オープンイノベーション研究・実用化推進事業に採択された「リンドウの難防除病害対策を革新する新品種開発」について、岩手県生物工学研究センター等共同研究機関と連携しながら、全国初となるCMV抵抗性を有する可能性が高い切り花F₁品種「いわてMB-4号」を選抜した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・令和7年度りんどう奨励品種決定試験結果(行政)
- ・令和8年度りんどう奨励品種決定試験(切り花)に新たに供試する系統(行政)
- ・令和8年度りんどう奨励品種決定試験(鉢花)に新たに供試する系統(行政)

南部園芸研究室

陸前高田市において沿岸地域の夏季冷涼・冬季温暖な気象特性を活かした園芸産地の育成と、東日本大震災津波(H23.3.11)からの農業復興支援の技術拠点として、地域に密着した研究と技術指導を実施した。

地域特性を活かしたいちごに研究を重点化し、地域適応性の高い系統の選定や栽培特性の評価、品種の収量ポテンシャルを高めるための栽培技術等の開発を行ったほか、県内のいちご産地、新たにいちご生産を始めようとする者、県が共同開発したいちご閉鎖型高設栽培システムの導入を検討する者等に対する技術相談に応じた。

加えて、気仙地域3市町、JA、農業改良普及センター等の関係機関と連携した気仙地方の園芸振興にかかる取組や復興の取組で、新たにいちご経営を開始した陸前高田市大規模園芸施設(米崎)へ対し普及と連携して指導を行った。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・四季成り性いちご品種「なつあかり」の電照用LEDによる白熱電球代替技術の検証(研究)

(4) 生産環境研究部

土壌肥料研究室

効率的で環境負荷を軽減する施肥管理技術の開発、有機物及び未利用資源を有効活用するための技術開発、高品質な農産物の安定生産・供給のための肥培管理技術の確立を柱とした研究課題に取り組んだ。

昭和54年度から、5年を1巡として、県内の水田と畑地の定点圃場の土壌調査と施肥管理等のアンケート調査を継続しており、令和7年度は10巡目の調査2年目として県中北部39地点の調査を実施した。

定点調査と併せて、県内耕地土壌の貯留炭素量を把握する全国調査を平成20年度から、県内各地の地力を明らかにし国内資源の肥料利用の効率化に役立てる全国一斉の地力調査を令和6年度から継続してきた。

センター開所当時から有機物連用試験と水稻作況試験の結果を解析し、近年の気象変動の傾向と気象変動が水稻の生育や収量等に及ぼす影響、気象変動下での有機物施用効果を解析し、学会で発表するとともに、指導区分の研究成果として公表した。

水稻栽培において、基肥の施肥から入水までの期間が15日以上となっている事例があることから、県内で広く普及している基肥一発肥料を施肥した後の畑期間と水稻の生育・収量との関係を整理し指導区分の研究成果として公表した。

イノベーション創出強化研究推進事業の共同研究に参画して取り組んできた「有機質資材の肥効見える化アプリ」を活用した減化学肥料栽培技術の実証結果を土壌肥料学会で発表するとともに指導区分の成果として公表した。また、県内で流通する代表的な家畜ふん堆肥の肥効特性を整理し、「有機質資材の肥効見える化アプリ」での肥効予測に必要なADSONを堆肥の全窒素量から推定する目安を設定して指導区分の成果として公表した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・気象変動下における水稻の生産性と有機物施用効果(指導)
- ・基肥一発施肥体系における施肥から入水までの畑期間が水稻の生育・収量、玄米品質に及ぼす影響(指導)
- ・「有機質資材の肥効見える化アプリ」を活用した露地野菜の減化学肥料栽培技術(指導)
- ・露地野菜の減化学肥料栽培に向けた岩手県内に流通する家畜ふん堆肥の窒素肥効特性と全窒素によるADSONの推定(指導)

病理昆虫研究室

持続性が高く安定性のある農業生産を目指した病虫害制御技術確立するため、環境負荷軽減を目指した効率的な化学的病虫害防除技術、生物的防除など環境にやさしい病虫害防除技術及び病虫害総合管理技術(IPM)の開発に取り組んだほか、本県の病虫害防除指導の技術資料である「岩手県農作物病虫害雑草防除に関する技術資料」の原案作成や、これらの基礎資料となる新農薬の効果検定等にも取り組んでいる。

令和7年度は、斑点米カメムシ類の現地・場内での畦畔管理体系試験、施設きゅうりでの主要害虫に対する総合防除技術の確立、リンゴ褐斑病及び黒星病を対象とした春季の防除体系の再構築、ロボット草刈機を用いた下草管理とハダ

ニ類及びカブリダニ類の発生に及ぼす影響調査、ダイズ黒根腐れ病の発生状況調査等を実施した。

また、国の委託プロジェクト研究による省力的IPMを実現する病虫害予報技術の開発、接触伝搬性ウイルスに対する月桃資材の利用法の確立、ビール酒造組合の委託事業としてホップの新規殺虫剤の登録推進に係る防除試験等を実施した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・土着天敵の保護を目的としりんご園の下草高刈管理におけるロボット草刈機の適用性及び樹冠下への除草剤使用について(指導)
- ・県内主要りんご産地におけるナミハダニの薬剤感受性実態(指導)
- ・りんどうにおけるTPN水和剤散布時の展着剤加用による葉斑軽減効果(指導)
- ・黒色のみを利用した粘着トラップに対するトマトキバガ成虫の誘引性質(研究)

(5) 病虫害防除部

病虫害防除課

<病虫害発生予察>

水稻、麦類、大豆、りんご、きゅうり、キャベツ、ねぎ、りんどうを対象として発生予察等の調査を行い、定期情報7回、注意報8回、発生速報16回を発行した。これらの情報については、印刷物のほか、メーリングリストによる配信、いわてアグリベンチャーネットへの掲載、マスコミ活用等により、関係機関・団体、共同防除組織等に提供した。

情報の種類		発行回数	内 容
発生予察情報	定 期 情 報	7	3～10月
	注 意 報	8 (前年比6増)	水稻(2回): 斑点米カメムシ類2 りんご(4回): 果樹カメムシ類2、褐斑病、ハダニ類 ねぎ(1回): ネギハモグリバエ・ネギアザミウマ アブラナ科野菜(1回): コナガ
	警 報	0	—
	特 殊 報	0	—
病虫害発生速報	—	16 (前年比1減)	・水稻(4回): 細菌病類1(育苗期)、いもち病2 斑点米カメムシ類1 ・小麦(1回): 赤かび病 ・りんご(4回): 黒星病、キンモンホソガ、果樹カメムシ類、褐斑病 ・トマト・ミニトマト(2回): トマトキバガ2 ・ねぎ(1回): シロイチモジヨトウ ・りんどう(2回): リンドウホソハマキ、花腐菌核病 ・野菜・花き(2回): オオタバコガ2

<病虫害防除指導>

本県の病虫害等の発生実態に応じた効果的・効率的な総合防除の実施を推進するため、関係機関・団体と緊密な連携をとりながら病虫害防除指導に取り組んだ。今年度の実績は、病虫害防除実績検討会を開催して主要病虫害の発生要因解析と次年度の防除対策について関係機関・団体と共有し、今後の地域防除体制の資とした。

水稻の病虫害防除指導においては、各地方の病虫害防除協議会、JA稲作部会等が中心となり、病虫害防除所が発行する発生予察情報を活用した防除指導が実施された。現地調査では、斑点米カメムシ類が早期に発生したことに加え、高温気象の影響で多発することが懸念されたことから、5/15に速報を、7/15及び7/28には注意報を発表して防除の徹底を呼びかけた。また、巡回調査地点の農家57件の防除実績等を収集し、発生要因解析を行い、次年度以降の防除指導の資とした。

果樹では、6月上旬に多数のチャバネアオカメムシがフェロモントラップに誘殺され、樹園地にもチャバネアオカメムシやクサギカメムシ等の果樹カメムシ類が数多く飛来したことから、6/12に注意報を発表した。7月の現地調査でも果樹カメムシ類が多数確認されたことから、7/18に速報を、7/28に注意報を発表して防除を呼びかけた。また、りんごでは県南部を中心に褐斑病が多いことから7/15に注意報を、7月後半にはハダニ類が多発したため7/31に注意報をそれぞれ発表した。りんごの防除実績は、県内75件の共同防除組合等から収集し、次年度の防除計画の改善に資した。

野菜については、飛来性害虫であるコナガのフェロモントラップへの誘殺数が4月中旬から急増し、キャベツへの産卵も早期に見られたため、5/16にアブラナ科作物で注意報を発表した。ねぎでは、6月下旬の調査でネギハモグリバエとネギアザミウマが広く見られたことから6/27に注意報を発表したほか、9月にはシロイチモジヨトウのフェロモントラップへの誘殺数が急増したため、10/1に速報を発表して防除を呼びかけた。

野菜・花き共通の害虫であるオオタバコガは、フェロモントラップへの誘殺数が6月中旬以降に増加し、7月下旬調査できゅうり等の被害も確認されたことから、7/4と7/29に速報を発表して防除を呼びかけた。

花きについては、りんどうの害虫であるリンドウホソハマキの羽化確認により、5/19に速報を発表した。また、秋期に発生する花腐菌核病の菌核を調査し、胞子を飛散する子実体の発生を確認後、9/19に速報を発表した。

これらの病虫害の発生要因を解析し、次年度の防除計画の策定に資するため、野菜21件、りんどう11件の農家から防除実績を収集した。

病虫害診断については、前年と同数の36件の依頼に対応した。

<農薬適正使用指導>

農薬の適正な販売や使用を徹底するために、農薬の販売者や使用者に対する「農薬適正販売・使用研修会」を開催した(7/10、受講者193名)。

また、農薬取締法に基づき319件の農薬販売者への立入検査を実施したほか、農薬使用基準違反の確認された使用者に対し5件の現地指導を行った。

上記の農薬使用基準違反事例のうち、しゅんぎくについてはJA全農いわてが自主検査を行い、農薬残留基準値超過が確認された。このため、JA全農いわては当該生産者の出荷物を自主回収したほか、県では関係機関・団体に対し文書で注意喚起した。当該地域の生産部会に対しては、農薬適正使用の研修会を2/19に実施し、再発防止のための指導を行った。

(6) 畜産研究所

家畜育種研究室

<肉用牛>

(直接検定、現場後代検定) 優秀な日本短角種の種雄牛を造成するため、令和6年直接検定牛より、現場後代検定牛5頭を選抜した。また、令和4年交配種雄牛4頭の現場後代検定成績を公表した。

(肥育技術) 肥育コストの低減や需要に応じた効率的な肥育技術を確立するため、黒毛和種肥育牛ではトウモロコシサイレージの長期間の給与技術の試験を継続中である。1回目肥育試験の途中であるが、肥育前期から中期までトウモロコシサイレージを給与しても、慣行法と同等に発育し、優れた枝肉格付が確保でき、飼料費を節減できる見込みである。また、日本短角種肥育牛ではふすま代替による配合飼料の節減技術について、試験を継続中である。令和6年度に終了した、ふすまの代替給与の試験での牛肉の官能特性と理化学的性状を成果として公表した。

(遺伝育種) 黒毛和種の種雄牛造成において、直接検定候補牛のゲノム育種価を算出し、直接検定牛の選抜指標として活用した。また、前年度に選抜された直接検定牛のゲノム育種価を算出し、現場後代検定実施牛の選抜に活用したほか、県内で飼養される繁殖雌牛のゲノム育種価を算出し、基礎雌牛の選定に活用した。

枝肉形質のゲノム育種価について、推定育種価と高い相関(0.64~0.77)があることを確認し、県有種雄牛の産肉能力の推定にゲノム育種価の活用が有用であることを再確認した。また、一価不飽和脂肪酸割合のゲノム育種価についても、高い正の相関(0.67以上)が認められ、高い精度で一価不飽和脂肪酸割合の能力の推定ができることを確認した。

県内黒毛和種集団の枝肉について、新細かさ指数や脂肪酸組成割合の平均値が性別により異なる傾向があることを再確認した。また、新細かさ指数は、一価不飽和脂肪酸割合と弱い負の相関があるものの、その他の枝肉形質とは望ましい相関があること、新細かさ指数と一価不飽和脂肪酸割合を同時に改良できる県種雄牛としては、「美津貴」が有用であること、枝肉単価が高くなることを成果として公表した。

黒毛和種の生産性低下に係る候補有害変異について、県内でと畜された肥育牛等のDNA解析を行い、虚弱や多尿に係る6つの候補有害変異の保因状況を明らかにした。このうち、多尿の候補有害変異である遺伝子を保有している種雄牛6頭を明らかとし、成果として公表した。

日本短角種について、SNP遺伝子型を用いた遺伝的多様性の評価により、日本短角種全体として多様性が低下していることを確認したほか、近交係数に比べてゲノム近交度の方が、遺伝的類似度をより正確に推定できることを明らかにし、これらを成果として公表した。

(繁殖) 黒毛和種繁殖牛の妊娠末期から授乳期にかけて栄養充足率が低いと、受胎までの授精回数が増加し、空胎日数が長くなること、また分娩後の血中NEFA値が高く推移し、体重と胸囲の減少率が大きくなることから、分娩前後の栄養状態を胸囲長の増減でモニタリングする手法を成果として公表した。

黒毛和種繁殖雌牛が体内胚採取後に早期に受胎するためのホルモン処置(採胚後のオブシンクと定時人工授精)について、試験を継続中である。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・ 日本短角種産肉能力検定(直接法)成績 (行政)
- ・ 日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)成績 (行政)
- ・ ふすまの長期給与が日本短角種牛肉の官能特性及び理化学性状に及ぼす影響(研究)
- ・ 黒毛和種繁殖雌牛における分娩前後の胸囲長の増減を指標とした栄養状態の簡易モニタリング(指導)
- ・ 県内黒毛和種集団における新細かさ指数及び一価不飽和脂肪酸割合の遺伝的パラメーターと育種価の推定(第2報)(行政)
- ・ 県内黒毛和種集団における未診断疾患の遺伝要因とされる候補有害変異の保因状況(研究)
- ・ 県内日本短角種集団におけるゲノム情報を活用した遺伝的多様性と近交度の評価(研究)

<中小家畜>

(養豚) バークシャー種の産肉能力向上のため、産肉能力検定による種豚群の改良を進めるとともに、肥育豚の可食肉量を増加させる飼料給与体系の確立に取り組み、肥育全期間または肥育後期の飼料中TDNを抑えることで背脂肪が薄くなること、肥育前期はTDNが高めの飼料とし、体重70kgからはTDNを抑えた後期飼料へ切り替えると、枝肉価格と飼料費の差額試算が最良であること、以上を明らかにし成果として公表した。

(養鶏) 南部かしわ鶏肉の高付加価値化のため、オレイン酸とビタミンEを豊富に含むなたね油粕を飼料に添加する場内試験を実施し、なたね油粕の摂取量と鶏肉中のオレイン酸割合との間に、雌では中程度の正の相関、雄では弱い正の相関があることを明らかにした。また、昨年度成果として公表した「エゴマ油粕添加による鶏肉中の α -リノレン酸割合の向上技術」について、西和賀町で現地試験を行い、成果と同様の結果を得ることができた。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・ バークシャー種去勢豚の厚脂を防ぐ肥育飼料給与法(指導)

家畜飼養・飼料研究室

<家畜飼養>

乳用牛群検定データの解析による酪農の生産性向上要因の分析と活用では、令和7年度から新たに追加された乳中脂肪酸組成のデータを基に、デノボ、ミックス及びプレフォームの各脂肪酸の組成について、月別、乳量・分娩後日数階層別、地域(検定組合)別に基本統計量をまとめ、その推移・傾向を調査した。結果、夏期の乾物摂取量の低下や、低泌乳階層(20kg/日以下)及び高泌乳階層(45kg/日)、分娩直後(分娩後60日以内)における栄養不足等に起因すると思われる脂肪酸組成の変化、傾向を把握した。

繋留飼養の搾乳牛における効果的なTMR給与方法の確立では、採食行動が活発な時間帯の飼料給与量を増加する等、行動様式に応じて1回当りのTMR給与量を増減する給餌形態(めりはり区)について、等量給与の場合(等量区)と比較を行った。その結果、1日2回給餌では、等量給与とめりはり給与の間に差は見られなかったが、1日5回給餌では、等量区に比べめりはり区の採食量が多くなる傾向が見られたことから、研究成果(区分:研究)に取りまとめた。

乾乳期における放し飼いの普及に向けた管理体系の確立では、行動制限の無い飼養形態(フリーストール、フリーバーン)と繋留飼養における分娩前の乳用牛の行動様式や分娩難易度等を比較するため現地調査を行った。結果、行動制限の無い飼養形態では、分娩直前の横臥時間や寝返り回数が増加し、自然分娩割合が高まる傾向が見られ、この場合、乾乳牛1頭当たりの床面積を8㎡以上にする事で難産の予防が期待できることが明らかとなったことから、研究成果(区分:研究)に反映した。

放牧地における乳用育成牛の乾物摂取量モニタリング手法の開発では、ICT機器を活用した放牧育成牛の乾物摂取量の推定手法の開発を目的に今年度から新たに試験を開始した。乾物摂取量の推定法として、牛左けん部の陥没度を計測した数値「ルーメン深度」は、乾物摂取状況を客観的に把握する指標として有効であり、ルーメン深度が5cm以上で飼料摂取不足による増体の低下が懸念されることを明らかにし、研究成果(区分:指導)として公表した。また、簡易な活動量計を活用した採食時間の増減把握手法について、一様の知見を得た。

また、試験研究に加えて、県乳用牛群検定情報分析センター機能を担い、現地の指導機関向けに「岩手県における乳用牛群検定成績のまとめ」の令和6年版を取りまとめ、市町村別生産成績速報も概ね隔月の頻度で提供した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・ 繋留飼養の搾乳牛におけるTMR給与条件の違いが採食行動に及ぼす影響(研究)
- ・ 乾乳期から分娩時における飼養形態が生産性向上に及ぼす要因解析(研究)
- ・ 乳用育成牛の放牧における日増体量確保のためのルーメン深度測定法と目安(指導)

＜飼料生産＞

オーチャードグラス優良品種の特性確認では、越夏性に優れるとされる2品種「まきばゆうか」(極早生)、「きよは」(中生)の本県における栽培2年目の生育特性をそれぞれ標準品種との比較により調査し、これらの品種が越夏性及び秋の草勢、被度に優れ、また、収量も標準品種と同等またはそれ以上であることを確認した。

温暖化に対応した採草地管理については、オーチャードグラス及びチモシーの播種晩限期、更新翌年の肥培管理方法、夏季高温を考慮した刈取間隔を検証するためのデータを収集した。結果、播種晩限について、オーチャードグラスは9月下旬(有効積算気温約250℃以上(5℃以上))、チモシーは10月中旬(同約120℃以上)であることを明らかとし、研究成果(区分:指導)として公表した。

多年生ライグラスを利用した追播技術の確立では、ペレニアルライグラス新品種「夏ごしペレ」追播時の適正な播種量の確認(利用2年目)と、ハイブリッドライグラス新系統「東北11号HR」の実規模追播試験(利用1年目)の植生調査、同ハイブリッドライグラスの播種時期の検討及び滝沢市相の沢牧野における経年荒廃草地への追播実証試験(播種当年)を実施した。その結果、夏ごしペレの播種量の調査では、播種量が増えるほど植生及び収量の改善効果が高まる傾向が見られた。また、ハイブリッドライグラス実規模試験では、無処理に比べて収量が改善する傾向が見られた。その他、播種当年の試験圃場(現地試験区含む。)では、積雪前までに実生個体の定着及び良好な初期生育を確認した。

岩手大学が主宰する共創の場形成支援プログラムでは、昨年度に引き続き、同事業に参画する県北6市町村の採草地における技術課題を調査するとともに、当該地域の普及センターに対し、同様に地域の採草地における課題及び試験研究に要望する事項等について聞き取り調査を行った。その結果、県北のいずれの地域においても令和5年度以降に牧草の夏枯れが発生し、採草地の牧草生産性低下が課題となっており、新たな耐暑性牧草草種、品種または牧草の代替となる作物(C4植物)の選択に対する要望が大きいことを把握した。

採草地の減肥技術の確立では、土壌中の有効態リン酸及び交換性カリ含量に応じた肥培管理手法を検討するために、肥培管理1年目の施用試験を行った。結果、採草地の乾物収量は土壌中有効態リン酸含量には影響されなかったが、交換性カリ含量が増えると増加する傾向が見られた。

維持管理採草地における堆肥の表層施用技術の確立では、堆肥施用1年目の牧草(オーチャードグラス)収量は堆肥と化学肥料を併用した区または化学肥料を施用した区が高くなる一方、シロクロバは無処理区及び堆肥のみ施用した区で乾物収量が増加する傾向が見られた。

その他、県南の集落営農組織の要請を受けて、農業普及技術課農業革新支援担当及び現地農業改良普及センターによる、当所の既往研究成果である不耕起栽培技術を活用した飼料用トウモロコシの雑草対策を支援した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・ オーチャードグラス、チモシーの秋季更新時における播種晩限の推定(指導)

＜牧草の放射性物質対策＞

先端プロ実証研究において、2回目の完全更新時のカリ資材の効果比較を行った。利用2年目の牧草中放射性セシウム(RCs)濃度は、草地更新時のカリ資材が塩化カリ40mg/100g矯正量施用区で最も低かった。牧草年間収量は無施肥区で有意に低かったが、カリ資材施用区間には差が無いことを確認した。

耕起困難放牧地において、所内試験4年目は利用2、3年目と同様に牧草中放射性セシウム(RCs)濃度は「K12・緩効性70%」施用区が最も低くなったが、牧草の年間収量には各処理間に有意差は見られなかった。

また、その他放射性物質被害畜産総合対策事業業務として、畜産物や牧草の放射性物質濃度測定を随時実施した。

外山畜産研究室

＜子牛の生産状況＞

外山畜産研究室では繁殖雌牛68頭(黒毛和種32頭、日本短角種36頭)を飼養している(令和7年2月1日現在)。

黒毛和種では、生産された子牛のうち24頭を1頭当たり平均616千円で販売した。同様に日本短角種の子牛は27頭を出荷し、1頭当たり平均価格は389千円であった。

＜成果の発信状況＞

和牛繁殖経営において、子牛の肺炎や腸炎等の疾病や異状の早期発見・早期治療が肝要だが、熟練した管理者で

も子牛の異状を見逃してしまうことが課題であった。そこで、ヒト用皮下組織間質液グルコース濃度(tGLU)を測定するセンサーを用いることにより、黒毛和種哺乳子牛に約8日間連続装着を可能としながら、血糖値をモニタリングすることができ、また、ピーク時の最大値が前日比50mg/dL以上の低下で下痢や発熱等が発生することから、早期異状発見が期待できることを明らかにした。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・ ヒト用皮下組織間質液グルコース濃度測定による黒毛和種哺乳牛の血糖値モニタリングと子牛の異状との関連性(研究)

<寄託放牧の状況>

寄託放牧は、日本短角種と馬を生産者から預かり、低コスト生産に寄与している。

日本短角種については、5月20日から10月17日まで150日間放牧を実施し、生産者4戸から繁殖牛32頭と子牛30頭受入れた。日本短角種振興の一助となるよう定期衛生検査はじめ管理業務に注力した。

また、馬については5月13日から10月10日まで150日間放牧を実施し、雌馬8頭、雄馬1頭、子馬3頭を受入れた。古くから馬産地として馬を大事に扱ってきた盛岡地域の伝統的な祭り「チャグチャグ馬っこ」で行進した馬たちを預かり、馬事振興への貢献を念頭に、適切な管理を遂行した。

種山畜産研究室

黒毛和種改良事業の一環として県内産黒毛和種種雄牛候補牛8頭を選定し直接検定を実施した。また、令和6年度直接検定終了牛から現場後代検定を実施する候補牛3頭(「叙新」号、「菊太郎」号及び「美国姫」号)を選抜した。現場後代検定については令和6年度に検定を開始した3頭の種雄牛候補の枝肉成績が判明し、「勝美国」号を基幹種雄牛に選抜した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・ 黒毛和種産肉能力検定(直接法)成績(行政)
- ・ 黒毛和種産肉能力検定(現場後代検定法)成績(行政)

(7) 県北農業研究所

果樹・野菜研究室

県北・沿岸地域の冷涼気象や中山間地域の立地条件に対応した野菜・果樹の安定生産技術の確立に向け、各種試験研究を実施した。なお、令和6年度より研究室が改組され、温暖化など気候変動を見据え、県北地域の気候に適した果樹の高品質安定生産技術の開発等を推進するため、果樹部門が設置された。

令和3年2月に高度な環境制御が可能な「環境制御型園芸温室」が竣工し、県北の施設きゅうり栽培に適した環境制御技術の確立に向け、令和3年度から北いわてスマート農業プラットフォーム創造拠点整備事業に係る栽培試験を、令和5年度からデータ駆動型業推進事業を活用して研究に取り組んでいる。本年度環境制御技術導入による収量向上に伴って作業労力の増加が懸念されるため、出荷量及び生育量を予測する手法として、環境制御技術のモニタリングデータを活用した生育診断・出荷量予測ツールの開発に取り組んだ。さらには、二戸普及センターとの連携により現地普及展示圃に対する支援を行った。

また、「雨よけほうれんそうにおけるミストによる簡易環境制御技術の開発」では、農業普及技術課農業革新支援担当や久慈農業改良普及センター、二戸農業改良普及センターと連携して、ミスト噴霧による増収効果と省力効果が確認できた。本年度は、ミスト噴霧による効果の品種間差に関する試験に取り組んだ。

露地の主要品目であるキャベツについて、重要病害である根こぶ病対策として、既存の抵抗性品種の栽培特性を把握すること、県内で発生している根こぶ病の病原型を明らかにすることで、抵抗性品種を活用した根こぶ病対策技術を確立する。本技術確立のため、場内試験のみではなく現地発生ほ場においても試験を実施している。本年度は、現地ほ場の低密度条件における菌密度を把握するため、リアルタイムPCRによる測定法を確立した。

果樹研究では、令和6年度からの「県北地域に適したりんごオリジナル品種等の優良品種の選抜」及び「県北地域に適した核果類の優良品種の選抜と省力栽培技術の確立」において、養成した大苗を定植し県北研究所初の樹園地を構築した。一方、定植直後にシカによる被害がみられたため、農業普及技術課、農産園芸課との連携により、11月27～28日

に普及員を対象とした講習会を開催し、恒久電気柵を設置した。また、二戸地域の大きな課題であるりんご「はるか」の蜜入り向上対策については、「りんご優良品種の高品質安定生産技術の確立」として令和7年度に課題化し、二戸農業改良普及センター、二戸市等と連携し現地調査を実施した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・ ミスト噴霧の効果は、ほうれんそうの品種によって異なる(指導)
- ・ 施設きゅうりの摘心栽培における生育予測手法(指導)
- ・ 施設きゅうり摘心栽培における生育予測に基づく栽培管理支援ツール(指導)
- ・ キャベツ黒すす病の発生確認と防除効果(研究)

作物研究室

中山間地域における生産性・収益性の高い組織営農技術の開発と土地利用型品目の導入に向けて、水稻、小麦、大豆の奨励品種決定調査を実施し、供試系統の特性を把握した。水稻は、「白銀のひかり」の栽培法試験として、移植栽培での苗質、栽植密度、施肥体系及び湛水直播栽培方法について検討を行った。大豆は、「リョウユウ」の栽培法試験として、作期、栽植密度、収穫時期について検討を行い、水田利用研究室と連携して研究成果を取りまとめた。水稻・小麦・大豆の作況試験を実施し、令和7年度の夏季高温及び少雨による影響について、生産システム研究室と連名で作柄要因の解析を行った。

雑穀の新品種開発については、きびとたかきびについて系統群選抜および生産力検定を行い、きびは交雑後代10世代15系統群から6系統を選抜し、たかきびは、交雑後代7世代20系統群から11系統を選抜した。また、きびの重イオンビーム照射変異後代4世代48系統群を供試し、15系統を選抜した。雑穀の原種生産では、あわ1品種(ゆいこがね)と、ひえ1品種(ねばりっこ2号)を採種した。

県北地域における自動操舵農機を活用した高精度播種・機械除草技術の確立に向けて、RTK-GNSS方式の自動操舵機器を活用した雑穀(アマランサスとたかきび)の播種・除草作業について直進性や作業精度を検討し、研究成果を取りまとめた。また、前年度で終了した農業機械技術クラスター事業の試験課題「雑穀類対応コンバインの開発」について、汎用コンバイン改良機の販売が未定となったことを踏まえ、改良機の性能について研究区分の研究成果として取りまとめた。

その他、研究課題や地域課題とその解決方策について、共有を目的に各種研修会等への参加を積極的に行った。

以上の取組から、今年度は以下の試験研究成果を取りまとめた。

- ・ 大豆品種「リョウユウ」の栽培法(普及)
- ・ 雑穀の播種及び機械除草におけるRTK-GNSS自動操舵システムの効果(指導)
- ・ 雑穀類対応汎用コンバインの開発(研究)

4 令和7年度試験研究課題

(1) 細目課題分類

研究推進計画 分野 担当部所	総 課題 数	1 農 業 構 造 ・ 経 営 管 理	2 生 産 工 学	3 水 稻	4 畑 作 物	5 特 産 作 物	6 果 樹	7 野 菜	8 花 き	9 土 壌 作 物 栄 養	10 病 害 虫 制 御	11 乳 用 牛	12 肉 用 牛	13 中 小 家 畜 (豚・鶏)	14 草 地 ・ 飼 料 作 物	15 畜 産 環 境
企画管理部	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農業経営研究室	7	7														
生産基盤研究部	63	2	4	40	11	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0
水田利用研究室	22	1	2	5	11					1	2					
生産システム研究室	17	1	2	11						1	2					
作物育種研究室	24			24												
園芸技術研究部	61	1	0	0	0	0	28	16	10	2	4	0	0	0	0	0
果樹研究室	31						28			1	2					
野菜研究室	11	1						8		1	1					
花き研究室	11								10		1					
南部園芸研究室	8							8								
生産環境研究部	29	1	0	2	2	0	1	0	0	10	13	0	0	0	0	0
土壌肥料研究室	15	1		2	1		1			10						
病理昆虫研究室	14				1						13					
畜産研究所	37	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	21	2	9	0
家畜育種研究室	15												13	2		
家畜飼養・飼料研究室	12									1		4			7	
外山畜産研究室	4												2		2	
種山畜産研究室	6												6			
県北農業研究所	39	0	2	11	8	4	5	5	0	2	2	0	0	0	0	0
果樹・野菜研究室	13		1				5	5		1	1					
作物研究室	26		1	11	8	4				1	1					
総 計	236	11	6	53	21	4	34	21	10	17	23	4	21	2	9	0

※1 複数の分野に再掲されている研究課題はそれぞれに計上

2 複数の担当研究室がある研究課題はそれぞれに計上

3 細目課題のない課題は小課題を計上

(2) 試験研究課題一覧

凡 例

・主査:	小課題の主査研究室
・No.:	小課題の連番、課題毎の固有番号はそれぞれの課題名の先頭に()表記
・課題:	(課題番号)課題名を記載、小課題は太字表示 ※ 課題番号: 細目課題は1000番代表記、細目1〜4まで各桁毎の表記
・開始・終了:	課題の実施〜終了年数
・予算区分:	国庫補助;国庫補助事業、国庫委託;国庫委託事業、独法委託;独法委託事業、民間委託;民間委託事業 令達;令達予算研究、県単研究;県単予算予算、県単採種;主要農作物採種管理費
・担当:	小課題、細目課題の担当研究室名

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【農業経営研究室】						
農業経営	1	(R3-2)経営環境の変化に対応した農業技術体系データの提示	R3	R7	県単	農業経営
農業経営	2	(R3-4)スマート農業技術の導入・定着プロセスと利活用方策の提示	R3	R7	県単	農業経営
農業経営	3	(R3-19)水田等を活用した野菜産地・経営体の取組及びマネジメント手法の提示	R3	R7	県単	農業経営/水田利用/野菜/土壌肥料
農業経営	4	(R6-01)岩手県における野菜作経営モデルの構築と成立条件の解明	R6	R10	県単	農業経営
農業経営	5	(R6-05)大規模水田作経営の成立条件の解明	R6	R10	県単	農業経営
農業経営	6	(R6-07)初冬から早春まで「いつでも直播」:春の作業ピークを平準化できる革新的稲作技術	R6	R10	独法等委託	農業経営/生産システム
農業経営		(R6-07-1000)岩手県における初冬期・早春期乾田直播技術の確立	R6	R10	独法等委託	生産システム
農業経営		(R6-07-2000)「いつでも直播」の経営的評価	R6	R10	独法等委託	農業経営
農業経営	7	(R7-06)2025年農林業センサス等を活用した農業構造動向分析	R7	R10	県単	農業経営
【生産基盤研究部水田利用研究室】						
水田利用	8	(803)水稻奨励品種決定基本試験	H14	R10	県単	水田利用/作物
水田利用		(803-1100)予備試験 中生・晩生	H14	R10	県単	水田利用
水田利用		(803-1200)予備試験 早生	H14	R10	県単	作物
水田利用		(803-2100)本試験 中生・晩生	H14	R10	県単	水田利用
水田利用		(803-2200)本試験 早生	H14	R10	県単	作物
水田利用		(803-3000)現地試験	H14	R10	県単	水田利用/作物
水田利用		(803-4100)有望系統・品種の栽培法 中生・晩生	H14	R8	県単	生産システム
水田利用		(803-4200)有望系統・品種の栽培法 早生	H14	R8	県単	作物
水田利用	9	(807)水田雑草の効率的防除技術の開発	H14	R10	民間委託	水田利用/作物
水田利用		(807-1000)水稻作用除草剤第2次適用性試験	H14	R10	民間委託	水田利用/作物
水田利用		(807-2000)除草剤による水田畦畔管理の省力化技術の開発	R7	R8	県単	水田利用
水田利用	10	(889)麦類耐寒雪性特性検定試験	H14	R10	民間委託	水田利用
水田利用	11	(890)畑作物の生育相及び気象反応の解明	H14	R10	県単	水田利用/作物
水田利用		(890-1000)麦類の生育相と気象反応の解明	H14	R10	県単	水田利用/作物
水田利用		(890-1100)麦類の生育相と気象反応の解明 県央・県南地域	H26	R10	県単	水田利用
水田利用		(890-1200)麦類の生育相と気象反応の解明 県北地域	H14	R10	県単	作物
水田利用		(890-2000)大豆の生育相と気象反応の解明	H14	R10	県単	水田利用/作物
水田利用		(890-2100)大豆の生育相と気象反応の解明 県央・県南地域	H14	R10	県単	水田利用
水田利用		(890-2200)大豆の生育相と気象反応の解明 県北地域	H14	R10	県単	作物
水田利用	12	(891)畑作物原原種・原種生産	H22	R10	県単	水田利用/作物
水田利用	13	(H19-12)大豆等奨励品種決定試験及び有望系統の特性調査	H19	R10	県単	水田利用/作物
水田利用		(H19-12-1000)(1)奨励品種決定試験(県南・県央地域)	H19	R10	県単	水田利用
水田利用		(H19-12-2000)(2)奨励品種決定試験(県北地域)	H19	R10	県単	作物

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【生産基盤研究部水田利用研究室】(続き)						
水田利用		(H19-12-3100)(3)有望系統特性調査(県南・県央地域)	H19	R10	県単	水田利用
水田利用		(H19-12-3200)(3)有望系統特性調査(県北地域)	H19	R10	県単	作物
水田利用	14	(H19-13)麦類の奨励品種決定試験及び有望系統特性調査	H26	R10	県単	水田利用/作物
水田利用		(H19-13-1000)(1)奨励品種決定試験(県南・県央地域)	H26	R10	県単	水田利用
水田利用		(H19-13-2000)(2)奨励品種決定試験(県北地域)	H26	R10	県単	作物
水田利用		(H19-13-3000)(3)有望系統特性調査	H26	R10	県単	水田利用
水田利用	15	(H30-02)地下かんがい及びほ場水管理システムの利用技術の確立	H30	R7	県単/令達	水田利用
水田利用		(H30-02-2000)主要水田農作物(水稻・大豆等)での営農実証	R1	R7	令達	水田利用
水田利用	16	(R2-4)小麦「ナンピキラリ」の高品質安定栽培法	R2	R8	県単	水田利用/土壌肥料/病理昆虫
水田利用	17	(R7-01)畦畔管理の省力化技術の開発	R7	R9	県単	水田利用
水田利用		(R7-01-1000)畦畔管理の省力化技術の開発	R7	R9	県単	水田利用
【生産基盤研究部生産システム研究室】						
生産システム	18	(061)水稻原種生産	S22	R10	県単	生産システム
生産システム	19	(062)水稻原種生産	S29	R10	県単	生産システム
生産システム	20	(805)水稻作況調査と作柄成立要因の解析	H14	R10	県単	生産システム/作物
生産システム		(805-1000)水稻作況調査	H14	R10	県単	生産システム/作物
生産システム		(805-1100)水稻作況調査 県央・県南地域	H14	R10	県単	生産システム
生産システム		(805-1200)水稻作況調査 県北地域	H14	R10	県単	作物
生産システム		(805-2000)水稻優良品種の気象反応試験	H14	R10	県単	生産システム/作物
生産システム		(805-2100)水稻優良品種の気象反応試験 県央・県南地域	H14	R10	県単	生産システム
生産システム		(805-2200)水稻優良品種の気象反応試験 県北地域	H14	R10	県単	作物
生産システム		(805-3000)水稻作柄成立要因の解析	H14	R10	県単	生産システム/作物
生産システム	21	(R3-5)リモートセンシングによる水稻生育診断技術の開発	R3	R8	県単	生産システム/土壌肥料/作物
生産システム		(R3-5-2000)ドローンによる玄米タンパク質含有率及び成熟期推定技術の確立	R3	R8	県単	生産システム/作物
生産システム		(R3-5-3000)衛星画像による生育状況の把握及び活用法の検討	R3	R8	県単	生産システム
生産システム	22	(R5-15)水稻の疎播疎植・高精度2段施肥による省力多収栽培技術の開発・実証	R5	R8	独法等委託	生産システム/土壌肥料
生産システム	23	(R5-16)高湿材適応コンパインの開発と性能評価	R5	R7	独法等委託	生産システム
【生産基盤研究部作物育種研究室】						
作物育種	24	(H31-07)多様なニーズに対応する水稻品種の育成	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-1000)交配母本評価と交配	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-2000)初期世代養成	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-3000)個体選抜	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-4000)系統選抜	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-4100)単独系統	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-4200)生産力検定予備試験系統群	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-4300)生産力検定本試験系統群	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-5000)生産力検定試験	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-5100)生産力検定予備試験	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-5200)生産力検定本試験	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-5300)生産力検定試験早生系統	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-6000)特性検定試験	R1	R10	令達	作物育種

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【生産基盤研究部作物育種研究室】 (続き)						
作物育種		(H31-07-6100)いもち病真性抵抗性遺伝子型推定	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-6200)葉いもち圃場抵抗性検定調査	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-6300)穂いもち圃場抵抗性検定調査	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-6400)耐冷性検定試験(育成系統)	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-6500)食味官能試験	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-6600)食味関連成分分析及び物性試験	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-6700)穂発芽性検定試験	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-6800)直播適性検定試験	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-6900)高温登熟耐性検定試験	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-7000)DNAマーカー等先端技術利用	R1	R10	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-8000)育成系統採種	R1	R10	令達	作物育種
作物育種	25	(R3-22)精緻なゲノム改良による低コスト生産可能な超多収良食味水稻品種の育成	R3	R7	独法等委託	作物育種
【園芸技術研究部果樹研究室】						
果樹	26	(850)畑作物に対する植調剤等の利用法	H14	R10	令達/民間委託	果樹
果樹		(850-1000)果樹園用除草剤の効果的使用法	H14	R10	令達/民間委託	果樹
果樹		(850-2000)果樹の植調剤及び資材の効果的使用法	H14	R10	民間委託	果樹
果樹	27	(851)果樹の生育と果実品質変動要因の解明	H14	R15	県単/民間委託	果樹
果樹		(851-1000)りんごの生育・生態の把握	H14	R15	県単/民間委託	果樹
果樹		(851-2000)ぶどうの生育・生態の把握	H14	R15	県単	果樹
果樹		(851-3000)西洋なし、その他の果樹の生育・生態の把握	H14	R15	県単	果樹
果樹	28	(H26-15)りんごのわい化栽培における早期多収・省力化を目指した栽培法の確立	H26	R10	令達/独法等委託	果樹
果樹		(H26-15-1000)早期多収・省力化を目指した栽培法の確立	H26	R10	令達	果樹
果樹		(H26-15-3000)カラムナーリングを利用した革新的栽培技術の体系化	R5	R7	独法等委託	果樹
果樹	29	(H31-10)本県に適したりんご優良品種の開発・導入	R1	R10	令達	果樹
果樹		(H31-10-1000)多様なニーズに適合した県オリジナルりんご品種の育成	R1	R10	令達	果樹
果樹		(H31-10-2000)国育成系統適応性試験(盛岡72～74号)	R1	R10	令達	果樹
果樹		(H31-10-3000)国内外導入品種の選抜	R1	R10	令達	果樹
果樹	30	(H31-11)特産果樹の優良品種の選抜および省力的栽培技術の導入	H31	R10	県単/令達	果樹
果樹		(H31-11-1000)おうとう、もも等の優良品種の選抜	H30	R10	県単/令達	果樹
果樹		(H31-11-2000)西洋なしの優良品種の選抜	H30	R10	県単	果樹
果樹		(H31-11-3000)特産果樹における省力的栽培技術の導入	R5	R10	令達	果樹
果樹	31	(R3-8)ブルーベリーにおける省力的な簡易剪定技術の確立	R3	R7	県単	果樹
果樹	32	(R4-6)りんごオリジナル品種などの省力・低コスト・高品質安定生産技術の確立	R4	R10	県単/令達/独法等委託	果樹
果樹		(R4-6-1000)オリジナル品種の安定生産技術の確立	R4	R10	県単/民間委託	果樹
果樹		(R4-6-2000)優良品種の栽培技術の確立	R4	R10	県単/民間委託	果樹
果樹		(R4-6-3000)優良品種の摘花剤及び摘果剤利用技術の確立	R4	R10	県単/民間委託	果樹
野菜		(R4-6-4000)効果的・体系的な凍霜害対策技術の確立	R6	R8	令達	果樹/果樹・野菜
果樹	33	(R5-11)本県に適したぶどう品種の選抜と栽培技術の確立	R5	R9	県単/令達/独法等委託	果樹
果樹		(R5-11-1000)優良品種の特性把握及び選抜	R5	R9	県単	果樹
果樹		(R5-11-2000)系統適応性検定試験	R5	R9	独法等委託	果樹
果樹		(R5-11-3000)生食用品種の安定・省力栽培技術の確立	R5	R9	県単	果樹
果樹		(R5-11-4000)醸造用品種の安定・省力栽培技術の確立	R5	R9	令達	果樹

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【園芸技術研究部果樹研究室】 (続き)						
果樹	34	(R5-17)農業副産物を活用した高機能バイオ炭の製造・施用体系の確立	R5	R7	独法等委託	果樹/土壌肥料
果樹		(R5-17-1000)りんごせん定枝のバイオ炭製造方法の検討と施用効果の確認	R5	R7	独法等委託	果樹/土壌肥料
果樹	35	(R7-09)りんご園における自動運転スピードスプレーヤに適する栽培方式の検討	R7	R8	独法等委託	果樹
果樹		(R7-09-1000)わい化栽培における自動運転スピードスプレーヤに適する栽培方式・条件の検討	R7	R8	独法等委託	果樹
【園芸技術研究部野菜研究室】						
野菜	36	(R3-7)施設栽培における効率的な炭酸ガス施用技術の開発	R3	R7	県単/令達/国庫委託/独法等委託	野菜
野菜		(R3-7-5000)キュウリの局所炭酸ガス施用技術の開発	R3	R7	国庫委託	野菜
野菜	37	(R3-9)夏秋ピーマン安定生産技術の確立	R3	R8	県単/令達	野菜
野菜		(R3-9-1000)夏秋栽培における尻腐れ症対策技術の確立	R3	R7	県単	野菜
野菜		(R3-9-2000)大規模経営での導入を想定した省力的な整枝・誘引方法	R3	R8	県単	野菜
野菜		(R3-9-4000)青枯病抵抗性台木の検討	R6	R8	国庫補助	野菜
野菜	38	(R5-1)ブロッコリー安定生産技術の確立	R5	R7	県単	野菜
野菜	39	(R5-18)たまねぎ安定生産に資する品種開発と優良品種の確保	R5	R7	県単/独法等委託/民間委託	野菜
野菜		(R5-18-1000)加工歩留まりの高いF1タマネギ品種の開発	R5	R7	独法等委託	野菜
野菜		(R5-18-2000)岩手県の気候に適する優良品種の確保	R5	R7	県単/民間委託	野菜
野菜	40	(R5-19)国産タマネギの安定供給に向けた持続可能なタマネギ腐敗性病害防除技術の構築	R5	R9	独法等委託	野菜
【園芸技術研究部花き研究室】						
花き	41	(843)りんどうの育成と生理生態の解明	H14	R10	県単	花き
花き		(843-1000)作況調査	H14	R10	県単	花き
花き		(843-3000)栽培に関わる形質や生理障害等に及ぼす要因解明	H14	R10	県単	花き
花き	42	(H31-12)りんどうの革新的な栽培技術の開発	R1	R8	県単	花き
花き		(H31-12-1000)需要期向け切り花りんどうの栽培技術の開発	R1	R8	県単	花き
花き		(H31-12-3000)極早生品種のジベレリン処理による生育促進効果の解明	R6	R8	県単	花き
花き	43	(R5-13)産地を強化するりんどうの品種育成	R5	R9	令達/独法等委託	花き
花き		(R5-13-1000)切り花品種の育成	R5	R9	令達	花き
花き		(R5-13-2000)鉢花品種の育成	R5	R9	令達	花き
花き		(R5-13-3000)親系統の育成	R5	R9	令達	花き
花き		(R5-13-4000)親系統の維持	R5	R9	令達	花き
花き		(R5-13-5000)未受精胚珠培養等による純系りんどうの作出	R5	R9	令達	花き
花き	44	(R6-08)リンドウの耐病性品種の育成	R6	R10	独法等委託	花き
【園芸技術研究部南部園芸研究室】						
南部園芸	45	(H25-03)地域適応性の高いいちご系統の選定	H25	R8	県単	南部園芸
南部園芸		(H25-03-2000)地域適応性の高い夏秋どり栽培向けいちご系統の選定	H25	R8	県単/独法等委託	南部園芸
南部園芸		(H25-03-5000)地域適応性の高い促成栽培向けいちご品種の選定	R1	R8	県単	南部園芸
土壌肥料		(H25-03-6000)病害抵抗性を持ついちご系統の栽培特性の評価	R5	R7	県単/独法等委託	南部園芸
南部園芸	46	(R3-10)いちご夏秋作型における秋期収量向上のための草勢維持管理技術の開発	R3	R7	県単	南部園芸
南部園芸		(R3-10-1000)電照用電球のLED代替技術の検証	R3	R7	県単	南部園芸
南部園芸		(R3-10-2000)草勢維持のための株管理手法の改良	R4	R7	県単	南部園芸
南部園芸		(R3-10-4000)株管理と高温対策技術との組み合わせによる秋期収量向上技術の開発	R6	R7	県単	南部園芸
南部園芸	47	(R5-12)いちご閉鎖型高設栽培システムの培地無加温条件に対応した施肥方法の開発	R5	R9	県単	南部園芸

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【園芸技術研究部南部園芸研究室】 (続き)						
南部園芸		(R5-12-1000)基肥、追肥の施用方法の検討	R5	R7	県単	南部園芸
南部園芸		(R5-12-2000)石灰資材の有効性の検証	R5	R7	県単	南部園芸
【生産環境研究部土壌肥料研究室】						
土壌肥料	48	(H15-23)土壌機能実態モニタリング調査	H15	R10	県単	土壌肥料
土壌肥料	49	(H15-24)環境保全型有機質資源連用効果調査	H15	R12	県単	土壌肥料
土壌肥料		(H15-24-1000)水田における有機質資源連用効果	H15	R12	県単	土壌肥料
土壌肥料		(H15-24-2000)畑地における有機質資源連用効果	H15	R12	県単	土壌肥料
土壌肥料	50	(H16-22)新肥料の実用化	H16	R7	民間委託	土壌肥料
土壌肥料		(H16-22-1100)水田利用研究室担当分	H20	R7	民間委託	水田利用
土壌肥料		(H16-22-1200)生産システム研究室担当分	H20	R7	民間委託	生産システム
土壌肥料		(H16-22-2100)果樹研究室担当分	H20	R7	民間委託	果樹
土壌肥料		(H16-22-2200)野菜研究室担当分	H20	R7	民間委託	野菜
土壌肥料		(H16-22-3100)土壌肥料研究室担当分	H20	R7	民間委託	土壌肥料
土壌肥料		(H16-22-4100)県北果樹・野菜研究室担当分	H20	R7	民間委託	果樹・野菜
土壌肥料		(H16-22-4200)県北作物研究室担当分	H20	R7	民間委託	作物
土壌肥料		(H16-22-5000)畜産研究所担当分	H20	R7	民間委託	家畜飼養・飼料
土壌肥料	51	(H20-20)土壌由来温室効果ガスインベントリ情報等整備調査	H20	R8	国庫委託	土壌肥料
土壌肥料	52	(R2-10)革新的な土壌データの取得方法およびデータ高付加価値化手法の開発	R2	R7	独法等委託	土壌肥料
土壌肥料	53	(R4-5)基肥施用から荒代掻きまでの日数が水稻生育に及ぼす影響の解明	R4	R7	県単	土壌肥料
土壌肥料	54	(R5-10)岩手県南部における耐倒伏性の強い小麦の品種特性を生かした多収肥培管理技術の確立	R5	R9	県単	土壌肥料
土壌肥料	55	(R6-06)国内資源の肥料利用拡大対策における地力調査	R6	R9	国庫補助	土壌肥料
土壌肥料	56	(R7-10)イネ根圏微生物叢制御による物質循環型水稻品種開発に向けたイネ遺伝子機能解明	R7	R7	令達	土壌肥料
【生産環境研究部病理昆虫研究室】						
病理昆虫	57	(402)新農薬の効果検定と防除指針作成	H9	R10	民間委託	果樹/野菜/花き/病理昆虫/果樹・野菜/作物
病理昆虫		(402-1000)新農薬の効果検定と防除指針作成(生産環境研究部)	H9	R10	民間委託	病理昆虫
病理昆虫		(402-2000)新農薬の効果検定と防除指針作成(県北農業研究所)	H9	R10	民間委託	果樹・野菜/作物
病理昆虫		(402-3000)新農薬の効果検定と防除指針作成(園芸技術研究部)	H9	R10	民間委託	果樹/野菜/花き
病理昆虫		(402-4000)新農薬の効果検定と防除指針作成(生産基盤研究部)	H9	R10	民間委託	水田利用/生産システム
病理昆虫	58	(H09-03)【植物防疫事業研究】	H9	R10	令達	病理昆虫
病理昆虫	59	(H30-05)りんご園地における下草管理とカブリダニ類等土着天敵の関係	H30	R7	国庫補助	果樹/病理昆虫
病理昆虫		(H30-05-1000)りんご園地における下草管理とカブリダニ類等土着天敵の関係	H30	R7	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	60	(H30-10)地域特産物における新防除資材の実用化	H30	R10	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	61	(R3-20)殺虫剤を使用しない斑点米カメムシ総合防除体系の検討	R3	R8	国庫委託	水田利用/生産システム/病理昆虫
病理昆虫		(R3-20-1000)畦畔管理体系の確立	R3	R8	国庫委託	水田利用/病理昆虫
病理昆虫	62	(R4-1)農薬だけに頼らない施設トマトの害虫防除技術の開発	R4	R8	国庫委託	病理昆虫
病理昆虫	63	(R4-8)斑点米カメムシ類の発生予測システムの実用化	R4	R8	独法等委託	病理昆虫
病理昆虫	64	(R5-2)春期温暖化に対応したリンゴ病害の総合防除体系の確立	R5	R8	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(R5-2-1000)リンゴ黒星病の早期感染に対応した防除体系の確立	R5	R7	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(R5-2-2000)リンゴ褐斑病の早期感染に対応した防除体系の確立	R6	R8	国庫委託	病理昆虫
病理昆虫	65	(R5-20)リンゴにおける土着天敵の動態解明と検出技術の実践評価	R5	R9	独法等委託	病理昆虫
病理昆虫	66	(R5-21)PMoVを中心とした接触伝染性ウイルスにおける月桃資材の利用法の確立	R5	R7	独法等委託	病理昆虫

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【生産環境研究部病理昆虫研究室】(続き)						
病理昆虫	67	(R7-08)農薬だけに頼らない施設きゅうりの害虫総合防除技術の開発	R7	R8	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(R7-08-1000)目合いの細かい防虫ネットを核とした防除体系の評価	R7	R8	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	68	(R7-11)ダイズ黒根腐病の発生実態調査と被害軽減手法の開発	R7	R9	独法等委託	病理昆虫
【畜産研究所家畜育種研究室】						
家畜育種	69	(236)日本短角種産肉能力検定(直接法)	S45	R10	令達	家畜育種
家畜育種	70	(237)日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)	H17	R10	令達	家畜育種
家畜育種	71	(H30-13)種雄牛選抜におけるゲノム育種価の実用化	H30	R8	令達/独法等委託	家畜育種/種山畜産
家畜育種		(H30-13-1000)枝肉6形質のゲノミック評価の実用化	H30	R8	令達	家畜育種/種山畜産
家畜育種		(H30-13-2000)脂肪酸組成のゲノミック評価手法の確立	R3	R8	令達/独法等委託	家畜育種/種山畜産
家畜育種	72	(R4-4)県内パークシャー種豚群の産肉能力向上と可食肉量を増加させる飼料給与体系の確立	R4	R7	県単	家畜育種
家畜育種	73	(R4-9)ゲノム情報を活用した日本短角種集団における遺伝的多様性の評価と近交回避交配法の確立	R4	R7	独法等委託	家畜育種
家畜育種	74	(R5-6)配合飼料を節減する日本短角種の低コスト肥育技術の確立	R5	R8	県単	家畜育種
家畜育種	75	(R5-7)黒毛和種における脂肪交雑形状と脂肪酸組成との関係解析	R5	R7	令達	家畜育種
家畜育種	76	(R5-8)黒毛和種繁殖雌牛における授精の適否を簡易に把握する手法の確立	R5	R7	県単	家畜育種
家畜育種	77	(R5-22)黒毛和種におけるゲノムデータを活用した有害変異保因牛の遺伝的原因の解明	R5	R7	独法等委託	家畜育種/種山畜産
家畜育種	78	(R6-02)トウモロコシサイレージを長期給与した黒毛和種の低コスト肥育技術の開発	R6	R10	県単	家畜育種
家畜育種	79	(R6-04)地域資源を活用した南部かしわの鶏肉の高付加価値化技術の確立	R6	R8	県単	家畜育種
家畜育種	80	(R7-12)黒毛和種における体内胚採取後の早期受胎のための定時授精法の開発	R7	R8	県単	家畜育種
【畜産研究所家畜飼養・飼料研究室】						
家畜飼養・飼料	81	(R3-16)温暖化に対応した採草地管理	R3	R7	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	82	(R3-24)除染草地と耕起困難草地における放射性セシウム吸収抑制のための維持管理技術の開発	R3	R7	独法等委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	83	(R4-2)乳用牛群検定データの解析による酪農の生産性向上要因の分析と活用	R4	R8	令達	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	84	(R4-3)繋留飼養の搾乳牛における効果的なTMR給与方法の確立	R4	R7	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	85	(R4-10)オーチャードグラス優良品種の特性確認	R4	R8	独法等委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	86	(R4-11)多年生ライグラス類を利用した追播技術の確立	R4	R8	独法等委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	87	(R5-5)乾乳期における放し飼いの普及に向けた管理体系の確立	R5	R7	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	88	(R6-13)「いわて畜産テリトリー」の実現に向けた循環型粗飼料生産・活用システムの開発	R6	R7	独法等委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料		(R6-13-1000)地球温暖化に対応するための越夏性に優れる牧草種普及拡大のための要因分析	R6	R7	独法等委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	89	(R7-02)放牧地における乳用育成牛の乾物摂取量モニタリング手法の開発	R7	R9	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	90	(R7-03)採草地の減肥技術の確立	R7	R9	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	91	(R7-04)維持管理採草地における堆肥の表層施用技術の確立	R7	R9	県単	家畜飼養・飼料
【畜産研究所外山畜産研究室】						
外山畜産	92	(R5-9)黒毛和種哺乳子牛のICT機器活用による早期異常発見技術の確立	R5	R7	県単	外山畜産
外山畜産	93	(R6-03)2シーズン放牧を取り入れた肉量・肉質への影響を最小限とする日本短角種の低コスト肥育技術の確立	R6	R10	県単	外山畜産
外山畜産	94	(R7-05)牧草地における立体防護柵によるニホンジカ食害防除効果の実証	R7	R10	県単	外山畜産
【畜産研究所種山畜産研究室】						
種山畜産	95	(234)黒毛和種産肉能力検定(直接法)	S62	R10	県単	家畜育種/種山畜産
種山畜産	96	(235)黒毛和種産肉能力検定(間接法・現場後代検定)	H1	R10	県単	家畜育種/種山畜産
種山畜産	97	(857)県有種雄牛の利用及び能力調査	H14	R10	県単	種山畜産

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【県北農業研究所果樹・野菜研究室】						
果樹・野菜(県北)	98	(R3-11)県北地域の施設きゅうり等に適した環境制御技術の開発	R3	R7	県単/国庫委託	果樹・野菜
果樹・野菜(県北)	99	(R3-21)抵抗性品種によるキャベツ根こぶ病対策の確立	R3	R10	国庫委託	果樹・野菜
果樹・野菜(県北)		(R3-21-1000)既存の抵抗性寒玉系品種の特性評価	R3	R10	国庫委託	果樹・野菜
果樹・野菜(県北)		(R3-21-2000)病原型判別と抵抗性春系品種の抵抗性評価	R4	R10	独法等委託	果樹・野菜
果樹・野菜(県北)	100	(R5-14)雨よけほうれんそうにおける環境制御技術の開発	R5	R8	令達	果樹・野菜
果樹・野菜(県北)		(R5-14-1000)雨よけほうれんそうにおける環境制御技術の開発	R5	R7	令達	果樹・野菜
果樹・野菜(県北)		(R5-14-2000)パッドアンドファンによる局所冷却技術の開発	R6	R8	独法等委託	果樹・野菜
果樹・野菜(県北)	101	(R6-10)県北地域に適したりんごオリジナル品種等の優良品種の選抜	R6	R10	令達	果樹/果樹・野菜
果樹・野菜(県北)		(R6-10-1000)県北におけるりんご岩手系統の地域適応性把握	R6	R10	令達	果樹/果樹・野菜
果樹・野菜(県北)	102	(R6-11)県北地域に適した核果類の優良品種の選抜と省力栽培技術の確立	R6	R10	令達	果樹/果樹・野菜
果樹・野菜(県北)		(R6-11-1000)パイプハウスを活用したおうとうジョイント栽培による省力安定生産技術の開発	R6	R10	令達	果樹/果樹・野菜
果樹・野菜(県北)		(R6-11-2000)県北地域に適したもも品種および台木の選抜	R6	R10	令達	果樹/果樹・野菜
果樹・野菜(県北)	103	(R7-07)りんご優良品種の高品質安定生産技術の確立	R7	R11	県単	果樹・野菜/果樹
果樹・野菜(県北)		(R7-07-1000)「はるか」のみつ入り向上技術の確立	R7	R11	県単	果樹・野菜/果樹
【県北農業研究所作物研究室】						
作物(県北)	104	(H22-22)いわて雑穀生産・販売戦略を支援する雑穀優良種子の生産	H16	R10	令達	作物
作物(県北)	105	(H31-08)収量・品質に優れる雑穀新品種の育成	R1	R10	令達	作物
作物(県北)		(H31-08-1000)雑穀新品種・系統の育成	R1	R10	令達	作物
作物(県北)	106	(R3-6)県北地域における自動操舵農機を活用した高精度播種・機械除草技術の確立	R3	R7	令達	果樹・野菜/作物
作物(県北)		(R3-6-1000)雑穀における高精度直播栽培体系の確立	R3	R7	令達	作物
作物(県北)	107	(R6-12)雑穀ゲノム育種と安定生産技術の開発(雑穀生産性向上に向けた栽培技術の確立と遺伝資源探索)	R6	R10	国庫委託	作物
作物(県北)		(R6-12-1000)インド雑穀栽培技術の調査と導入検討	R6	R10	国庫委託	作物
作物(県北)		(R6-12-2000)インド雑穀遺伝資源の特性把握	R6	R10	国庫委託	作物

(3) 試験研究課題の要望とその措置一覧

No.	部会	部会 No.	要望機関	要望課題名	担当研究室 ○主査	措置 区分
1	農産	1	農業農村指導士協会 (県中央ブロック)	高温年における肥効調節型肥料の溶出パターンの確認	○生産環境研究部 土壌肥料研究室	B
2	農産	2	農業農村指導士協会 (県南ブロック)	水稲における省力化技術の指標の整理	○生産基盤研究部 生産システム研究室	B, C
3	農産	3	農業農村指導士協会 (県南ブロック)	ダイズフオモブシス腐敗病の防除対策の確立	○生産環境研究部 病理昆虫研究室	D
4	農産	4	全農岩手県本部 (営農支援部)	農業用バイオスティミュラントの活用による窒素肥料の低減	○生産環境研究部 土壌肥料研究室	B
5	農産	5	全農岩手県本部 (営農支援部)	水稲におけるバイオスティミュラント資材での高温対策	○生産基盤研究部 生産システム研究室 生産環境研究部 土壌肥料研究室	B
6	農産	6	全農岩手県本部 (米穀部)	高温に適応する大豆品種の開発	○生産基盤研究部 水田利用研究室	B, D
7	農産	7	農事組合法人みずほ	土壌における栽培法による微生物の多様性と量の比較	○生産環境研究部 土壌肥料研究室	D
8	園芸	1	盛岡農業改良普及センター	難防除害虫「タバコナジラミ」の薬剤抵抗性の検定	○生産環境研究部 病理昆虫研究室	B
9	園芸	2	盛岡農業改良普及センター	施設野菜栽培における外気導入装置の効果の解明	○園芸技術研究部 野菜研究室	A 1, C
10	園芸	3	二戸農業改良普及センター	りんご高密度植栽培技術の確立について	○園芸技術研究部 果樹研究室 県北農業研究所 果樹・野菜研究室	A 3, C
11	園芸	4	二戸農業改良普及センター	おうとう平棚仕立て技術の確立について	○県北農業研究所 果樹・野菜研究室	B
12	園芸	5	一関農業改良普及センター	りんどう極早生品種における株養成技術の開発および新品種の育成	○園芸技術研究部 花き研究室	B, C
13	園芸	6	八幡平農業改良普及センター 農業普及技術課農業革新支援担当	りんどう黒斑病の防除対策	○生産環境研究部 病理昆虫研究室	A 1, B
14	園芸	7	八幡平農業改良普及センター	岩手県における汚泥肥料の実用性及び安全性の評価	○生産環境研究部 土壌肥料研究室	C
15	園芸	8	農業普及技術課農業革新支援担当	猛暑に負けない葉菜類育苗技術の開発	○園芸技術研究部 野菜研究室	A 1, C
16	園芸	9	盛岡広域振興局農政部	岩手県に適したりんご高密度植栽培技術の確立	○園芸技術研究部 果樹研究室 県北農業研究所 果樹・野菜研究室	A 3, C
17	園芸	10	農産園芸課	岩手県におけるりんごの高密度省力樹形（トールスピンドル）の適性について	○園芸技術研究部 果樹研究室 県北農業研究所 果樹・野菜研究室	A 3, C
18	園芸	11	農産園芸課	りんどうにおける経営モデルの提示	○企画管理部 農業経営研空室 園芸技術研究部 花き研究室	A 1
19	園芸	12	農業普及技術課農業革新支援担当	リンドウホソハマキ防除薬剤の拡充	○生産環境研究部 病理昆虫研究室	A 1
20	園芸	13	農業農村指導士協会 (県中央ブロック)	ブロッコリー黒すす病の効果的な防除体系の確立	○生産環境研究部 病理昆虫研究室	B
21	園芸	14	農業農村指導士協会 (県中部ブロック)	トルコギキョウの安定生産に向けた連作障害の回避	○生産環境研究部 病理昆虫研究室 " 土壌肥料研究室 園芸技術研究部 花き研究室	C
22	園芸	15	農業農村指導士協会 (県中央ブロック)	バイオステミュラント資材等を活用した、花き類の夏季高温対策（開花遅延や品質低下への対策）の開発	○園芸技術研究部 花き研究室 生産環境研究部 土壌肥料研究室	A 3, B
23	園芸	16	農業農村指導士協会 (県南ブロック)	りんどうの県オリジナル品種の開発およびりんどう種子の安定した供給について	○園芸技術研究部 花き研究室	B
24	園芸	17	農業農村指導士協会 (県中部ブロック)	化学農薬に頼らないりんご紫紋羽病対策技術の開発	○生産環境研究部 病理昆虫研究室	C, D
25	園芸	18	農業農村指導士協会 (県南ブロック)	岩手県における生食用もも栽培技術の確立	○園芸技術研究部 果樹研究室	B, C
26	園芸	19	農業農村指導士協会 (県中部ブロック)	施設園芸における低コスト夜間冷房技術の開発	○園芸技術研究部 野菜研究室 " 花き研究室 県北農業研究所 果樹・野菜研究室	B, C
27	園芸	20	農業農村指導士協会 (県南ブロック)	遮光資材によるハウス昇温抑制技術の確立	○園芸技術研究部 野菜研究室 " 花き研究室	A 1, C
28	園芸	21	全農岩手県本部 (園芸部)	岩手県におけるりんご高密度植栽培の導入コスト及び生産性	○園芸技術研究部 果樹研究室 県北農業研究所 果樹・野菜研究室	A 3, C
29	畜産	1	中部農業改良普及センター	本県における夏期高温環境に対応した暖地型飼料作物の栽培体系の構築	○畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	C, D
30	畜産	2	畜産課	放牧地（牧草地）における「クレジット獲得に向けた方法論の確立	○畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室 " 外山畜産研究室	C, D
31	畜産	3	農業普及技術課農業革新支援担当	飼料用トウモロコシ中・晩生優良品種の選定	○畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	A 1
32	畜産	4	農業普及技術課農業革新支援担当	夏季高温環境に対応した寒地型イネ科牧草の草種・品種選定および栽培技術の確立	○畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	A 1
33	畜産	5	農業農村指導士協会 (県北ブロック)	飼料作物における「アレチウリ」の防除対策の検討	○畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	C, D
34	畜産※	6	農業振興課 農業普及技術課農業革新支援担当	本県における「通電性向上舗装と電気柵を組み合わせた省力型で効果の高い防護システム」導入条件の解明	○企画管理部 研究企画室 畜産研究所 外山畜産研究室	C, D

※No. 34の要望課題は園芸部会においても検討

5 共同研究等の推進

(1) 農林水産省委託プロジェクト研究事業(委託)

課題名	代表機関	研究期間	研 究 の 内 容	担当研究室
スマート農業技術活用産地支援	農研機構(*)	R6～7	大豆・小麦の排水対策技術の導入及び活用の支援	農業経営
りんご園における自動運転スピードスプレーヤー導入による労働生産性の向上	農研機構(*)	R7～8	わい化栽培りんご園における自動運転スピードスプレーヤーに適する栽培方式の検討、SOP作成	果樹
オープンAPI等を活用したサービス事業体の機能強化	農研機構(*)	R7	データの連携・共有を行うためのAPI等の整備、接続検証及び分析・評価	野菜
先端技術を活用した施設野菜・畑作物の省力高収益栽培・出荷技術の確立	農研機構(*)	R3～7	キュウリの局所炭酸ガス施用技術の開発	野菜
省力的なIPMを実現する病害虫予報技術の開発	農研機構(*)	R4～8	発生要因の解析と予測モデルの検証(イネミズ、ドロオイ、アカスジ、アカヒゲ)	病理昆虫
病害虫発生予察の調査手法の高度化	農研機構(*)	R6～8	農研機構に気象データ、伝染源飛散データを提供するとともに気象データを活用した予察法の県内における実証を実施。	病理昆虫
農業生産に不可欠な生態系サービスの効率的な評価技術の開発	農研機構(*)	R6～9	リンゴ園場のカブリダニ類の発生状況を調査し、各樹種におけるカブリダニ類の発生状況とハダニの密度制御に関する知見を蓄積する。	病理昆虫
特定復興再生拠点区域等の円滑な営農再開に向けた技術実証	農研機構(*)	R3～7	草地における放射性セシウム吸収抑制技術の開発・実証と未除草地利用可否判断基準の策定	家畜飼養・飼料

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(2) イノベーション、オープンイノベーション創出強化研究推進事業(委託)

課題名	代表機関	研究期間	研 究 の 内 容	担当研究室
初冬から早春まで「いつでも直播」:春の作業ピークを平準化できる革新的稲作技術	国立大学法人岩手大学	R6～10	春の作業ピークを平準化するため、前作収穫後の初冬から早春までの間で担い手が播種時期を自由に選べる直播技術の確立を目指す。	農業経営 生産システム
疎播疎植・ペースト2段施肥による「みどりの稲作」プロジェクト	農研機構(*)	R5～8	岩手県での「銀河のしずく」の疎播疎植・高精度ペースト2段施肥体系による省力多収栽培技術を確立する。	生産システム
精緻なゲノム改良による低コスト生産可能な超多収良食味水稻品種の育成	(公財)岩手生物工学研究センター	R3～7	これまでに得られたゲノム情報と作出した育種素材を活用し、葉身形態に関する遺伝子領域を集積させた系統の個葉光合成能および乾物生産能力を明らかにするとともに、不良形質の発現を回避しながら有用形質関連遺伝子を集積する精緻なゲノム育種により迅速な品種育成と栽培特性把握を行う。	作物育種
国産タマネギの安定供給に向けた持続可能なタマネギ腐敗性病害防除技術の構築	農研機構(*)	R5～9	根切り時期が腐敗性病害の発生に及ぼす影響を明らかにする。	野菜

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
リンドウの難防除病害対策を革新する新品種開発	(公財)岩手生物工学研究センター	R6～10	種子レベルで形質が固定されたCMV抵抗性エンゾリンドウ品種候補を選抜する。GkaV抵抗性・耐性リンドウ系統もしくは多重抵抗性系統の品種候補を選抜する。	花き

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
次世代型土壌ICTによる土壌管理効果可視化API開発と適正施肥の実証	農研機構(*)	R5～7	岩手県において、土地利用変化に伴う土壌種変化を予測する人工知能AI開発のための土壌断面調査データベースの整備を行う。	土壌肥料
新たな農資源ゲットウを利用した新規抗植物ウイルス剤の創製	農研機構(*)	R5～7	トウガラシ微斑ウイルスに対する月桃資材の有効性を所内試験において評価する。	病理昆虫
越夏性に優れるライグラス新品種を用いた省力的な草地の高位安定生産技術の開発	農研機構(*)	R4～8	東北北部内陸部での採草利用の「草地メンテナンス」技術実証栽培を行うために、所内の経年採草地に、試験区を設置し、初期生育を調査する。	家畜飼養・飼料
根こぶ病抵抗性を付与した岩手県ブランドキャベツ品種「CR春さやか」のスピードブリーディング	(公財)岩手生物工学研究センター	R6～10	岩手県キャベツブランド「いわて春みどり」の主力品種である「春さやか」に根こぶ病抵抗性(CR)を付与した「CR春さやか」を早期に育成し、産地に普及することを目的とする。加えて、汎用性の高いキャベツ育種技術の再構築を目指す。	県北果樹・野菜

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(3) 公設試等連携可能性調査(県ふるさと振興部 10/10委託)

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
イネ根圏微生物叢制御による物質循環型水稻品種開発に向けたイネ遺伝子機能解明	(公財)岩手生物工学研究センター	R7	岩手県の主要水稻品種「ひとめぼれ」にインディカ型NRT1.1B遺伝子を連続戻し交雑した系統を水田圃場で栽培し、収量性、微生物叢及び有機物分解に与える影響を明らかにする。	土壌肥料

(4) その他独法等からの委託(10/10委託)

事業・課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
受託研究	農研機構(*)	R5～7	高湿材適応コンバインの開発	生産システム
受託研究	農研機構(*)	H23～	ブドウの系統適応性・特性検定試験	果樹
受託研究	農研機構(*)	R6～9	岩手県のリンゴ園地における剪定技量、バイオ炭の生成量と品質、バイオ炭の圃場散布が土壌や樹体に及ぼす影響の試料およびデータの収集	果樹、土壌肥料
受託研究	農研機構(*)	R5～7	カラムナータイプリンゴ品種の育成	果樹
受託研究	農研機構(*)	R5～7	加工歩留まりの高いF1タマネギ品種の開発	野菜

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

事業・課題名	代表機関	研究期間	研 究 の 内 容	担当研究室
受託研究	農研機構(*)	R7～9	政策ニーズに対応した革新的新品種開発 (高温条件下で安定生産が可能なイチゴの開発)	南部園芸
受託研究	農研機構(*)	R5～7	病害抵抗性いちご品種候補の開発	南部園芸
受託研究	東北農政局	H27～8	農地管理実態調査 ・定点調査:水田4、普通畑11、草地9 ・基準点調査:水田、普通畑	土壌肥料
受託研究	東北農政局	R6～9	地力調査 ・定点調査:水田4、普通畑11、草地9 ・基準点調査:水田、普通畑	土壌肥料
受託研究	農研機構(*)	R7～R9	政策ニーズに対応した革新的新品種開発(多収大豆品種等の普及促進に向けた土づくりを核とした土壌病害診断を導入した環境保全型大豆栽培技術実証)	病理昆虫研究室
受託研究	国立大学法人岩手大学	R6～7	「いわて畜産テリトリー」の実現に向けた循環型粗飼料生産・活用システムの開発	家畜飼養・飼料 外山畜産
受託研究	(公財)岩手生物工学 研究センター	R6～10	雑穀ゲノム育種と安定生産技術の開発(雑穀生産性向上に向けた栽培技術確立と遺伝資源探索)	県北作物

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(5) 民間委託試験 (10/10委託)

事業名・課題名	相手方	研 究 の 内 容	担当研究室
醸造用ぶどう品種「ピノ・ノワール」の根域制限ハウス栽培における高品質果実生産の実証	SORA株式会社	高い酒質のワイン原料の生産を実証する	果樹
ホップ生産における病虫害防除に関する試験	ビール酒造組合	ホップ病虫害の発生生態解明およびその防除技術の確立	病理昆虫
台木カボチャのホモプシス根腐病耐病性の評価	タキイ種苗株式会社	キュウリの接ぎ木苗をホモプシス根腐病汚染圃場に作付けし、耐病性を評価する。	病理昆虫
飼料作物等高能力新品種選定調査事業	(一社)日本草地畜産種子協会	オーチャードグラス新品種の比較試験の実施	家畜飼養・飼料
和牛ゲノムデータ駆動型未診断疾患解明事業	国立大学法人 琉球大学 (JRA事業)	和牛の未解明な疾患についてゲノムデータと臨床データから遺伝子を特定し、淘汰や交配に活用する手法の開発	家畜育種
岩手県獣医師会調査研究助成事業	(一社)岩手県獣医師会	黒毛和種における体内胚採取後の早期受胎のための定時授精法の検討	家畜育種
農薬及び植物調節剤等の効果検定試験	(一社)岩手県植物防疫協会	農薬及び植物調節剤等の効果判定	病理昆虫、土壌肥料、水田利用、果樹、野菜、県北作物、県北果樹野菜、家畜飼養・飼料
肥料の効果等に関する試験	岩手県施肥合理化協議会	(対象作物) 水稲、キャベツ、りんご、ほうれんそう、ピーマン	生産システム、果樹、野菜、土壌肥料

(6) (公財)岩手生物工学研究センターとの共同研究

研究課題名	生工研担当	研究期間	研 究 の 内 容	担当研究室
イネ高度耐冷性メカニズムの解明	ゲノム育種研究部 (他、岩手大学)	R6～10	高度耐冷性を持つ水稻系統「奥羽PL5」と「ひとめぼれ」などとの交雑後代を用いて、耐冷性に関わる形質を調査し、ゲノム配列情報と合わせて解析することで、高度耐冷性の責任遺伝子を同定する。形質と遺伝子機能の解明により、高度耐冷性メカニズムを解明する。	作物育種
イネ穂ばらみ期高度耐冷性に関わる生理機能および遺伝子領域の特定	ゲノム育種研究部 (他、岩手大学、古川農業試験場)	R6～10	耐冷性の強化のための基礎的な知見を得るため、イネ穂ばらみ期高度耐冷性に関わる生理機能および遺伝子領域の特定を受精に関わる構成要素という視点から体系的に評価する。	作物育種
重イオンビーム照射によるブルーベリー変異体獲得に関する研究 ※大和造園土木株式会社との3者契約	生物資源研究部	R5～10	ブルーベリーへの重粒子線照射を行って、生物影響と突然変異誘起率の検討を行う。至適条件を決定後、有用変異系統の作出を試みる。	果樹
雑穀ゲノム育種技術と安定生産技術の確立	ゲノム育種研究部	R6～10	大規模組換え近交系(RILs)の作出とゲノム情報取得、アワいもち病抵抗性遺伝子の同定及び機能性成分ルテイン含有量に関する遺伝子の同定を行う。	県北作物

(7) 他の公設試との共同研究

課 題 名 等	相手方	研究期間	担当研究室
ワイン専用ぶどう新系統の醸造特性評価	工業技術センター	H6～	果樹

(8) FAMS(動物医学食品安全教育研究センター)

開催月日	場 所	内 容
R7.9.29	岩手大学	スマート畜産の現状と展望

(9) その他共同研究

課題名	相手方	研究期間	研 究 の 内 容	担当研究室
生物遺伝資源交換に関する研究協定	農研機構(*)	H14～	植物、動物、微生物の生物遺伝資源及びDNAの相互交換	センター全体
農研機構の水稻有望系統を交配母本とした水稻品種・系統の共同育成(岩手県)	農研機構(*)	R7	農研機構で開発した水稻有望系統を交配母本として用い、岩手県での安定栽培に適した良食味で多収の業務用水稻品種を共同で育成する。	作物育種
水稻いもち病圃場抵抗性検定の東北地域向け基準品種の追加策定	農研機構 (*)、青森県産業技術研究センター農林総合研究所(**)、宮城県古川農業試験場、秋田県農業試験場、山形県、福島県	R3～7	いもち病真性抵抗性遺伝子型が「 <i>Pii</i> 、 <i>Pik</i> 」「 <i>Pib</i> 」等の品種・系統の葉・穂いもち圃場抵抗性検定を行い、発病程度を評価する。各機関で得られたいもち病発病程度のデータを集約し、抵抗性程度の強弱を推定して、基準品種の候補となる品種・系統を選定する。	作物育種

課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
水稻供試材料の耐冷性強化のための基礎研究	岩手大学	R6～10	イネの高度耐冷性に関わる生理生態的なメカニズムの解明と関与遺伝子領域を同定することを目的に、水稻供試材料の耐冷性を評価、調査する。	作物育種
寒冷地向けイチゴ品種の育成に関する研究	農研機構(*)、宮城県農業・園芸総合研究所	R元～8	岩手県および宮城県における地域適応性等に基づく系統選抜を実施し、寒冷地において安定生産を可能とするイチゴ品種の育成を推進する。	南部園芸
和牛における経済形質のゲノム選抜手法の確立	独立行政法人 家畜改良センター	R7	牛DNAサンプルと形質情報の収集、肥育牛、種雄牛、繁殖雌牛等のゲノムワイドなSNP情報の解析、ゲノム育種価予測式の作成と予測式の精度の検証	家畜育種

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

** 地方独立行政法人

(10) 産学官連携

名 称	開催年月	場 所	内 容	担当研究室
第1回 いわて産学連携推進協議会会議	R7.6.13	盛岡市 (岩手大学)	令和6年度活動報告および令和7年度事業計画について	研究企画室
第2回 いわて産学連携推進協議会会議	R8.3.17	盛岡市 (岩手大学)	リエゾン-Iの解散について	研究企画室
リエゾンIマッチングフェア	R7.11.12	オンライン (対応無し)	最近の研究シーズのプレゼンテーション	研究企画室

6 現地試験の実施

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
水稻奨励品種決定現地調査 (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳)	雫石町 紫波町 岩手町 花巻市 西和賀町 奥州市 平泉町 陸前高田市 遠野市 山田町 洋野町 二戸市	長山 大巻 土川 鍋倉 沢内前郷 江刺稲瀬 平泉 横田町 上郷町 豊間根 種市 野々上	生産基盤研究部 水田利用
麦類奨励品種決定調査(現地調査)	一関市 矢巾町	舞川 煙山	
大豆奨励品種決定調査(現地調査)	奥州市 盛岡市	江刺田原 玉山	
	盛岡市	玉山	
【イノベーション創出強化研究推進事業】水稻の疎播疎植・高精度2段施肥による省力多収栽培技術の開発・実証にかかる現地実証圃	八幡平市	松尾野田	生産基盤研究部 生産システム
【イノベーション創出強化研究推進事業】精緻なゲノム改良による低コスト生産可能な超多収良食味水稻品種の育成にかかる現地実証圃	奥州市	江刺稲瀬	生産基盤研究部 作物育種
	奥州市	江刺愛宕	
りんご育種系統の現地適応性試験	二戸市 宮古市 滝沢市 盛岡市 奥州市 一関市	金田一 内の沢 元村 黒川 江刺米里 舞川	園芸技術研究部 果樹
自動運転スピードスプレーヤの現地実証	紫波町 奥州市	長岡 江刺愛宕	
ぶどう「アルモノワール」の安定生産技術の現地実証	陸前高田市	米崎町	
ブルーベリー簡易剪定法の現地実証	軽米町	観音林	

内 容（試験研究課題名）	市町村名	地 区 名	担 当（関係研究室）
「施設栽培における効率的な炭酸ガス施用技術の開発」 （キュウリの炭酸ガス局所施用技術の開発）	福島県南相馬市	小高	園芸技術研究部 野菜
「施設栽培における効率的な炭酸ガス施用技術の開発」 （トマトの夏秋作型における出荷予測ツールの開発）	北上市	二子	園芸技術研究部 野菜
りんどう奨励品種決定調査（現地調査）	雫石町 岩手町 花巻市 西和賀町 奥州市 一関市 一関市 洋野町 一戸町 二戸市	小日谷地、西 安庭(2カ所) 川口 石鳥谷 沢内 衣川(2カ所) 弥栄 厳美 大野 小友 仁左平	園芸技術研究部 花き
「岩手県南部における耐倒伏性の強い小麦の品種特性を生かした 多収肥培管理技術の確立」	一関市	舞川	生産環境研究部 土壌肥料
「革新的な土壌データの取得方法及びデータ高付加価値化手法の 開発」	八幡平市	西根	
新農薬の効果試験と防除指針作成 リンドウ褐斑病、リンドウ黒斑病	八幡平市	安代	生産環境研究部 病理昆虫
省力的IPMを実現する病害虫予報技術の開発 （現地試験）	盛岡市	好摩	
殺虫剤だけに頼らない斑点米カメムシ総合防除体系の検討 （現地試験）	奥州市	江刺	
農薬だけに頼らない施設きゅうり害虫の総合防除技術の確立 （現地試験）	盛岡市	太田	
キャベツ黒斑病体系防除試験 （現地試験）	岩手町	沼宮内	(八幡平農業改良普及 センター岩手町駐在)
りんご褐斑病を中心とした春季の防除体系の再検討 （現地試験）	盛岡市	東中野	
新農薬の効果試験と防除指針作成 トマト トマトキバガ	紫波町	城山	
りんご園地における下草管理とカブリダニ類等土着天敵の関係 （現地調査）	①花巻市 ②矢巾町 ③奥州市 ④一関市	①東和、北滝 田(2カ所) ②煙山 ③愛宕、稲 瀬、伊手 ④藤の沢	

内 容（試験研究課題名）	市町村名	地 区 名	担 当（関係研究室）
多年生ライグラス類を利用した追播技術の確立	滝沢市	鵜飼姥屋敷	畜産研究所 家畜飼養・飼料
乾乳期における放し飼いの普及に向けた管理体系の確立	①盛岡市 ②滝沢市 ③一戸市 ④金ケ崎町 ⑤西和賀町 ⑥岩泉町	①好摩 ②花平 ③奥中山 ④和光 ⑤湯田 ⑥上有芸	畜産研究所 家畜飼養・飼料
パークシャー種豚群の産肉能力調査	岩泉町	有芸	畜産研究所 家畜育種
地域資源を活用した南部かしわの鶏肉の高付加価値化技術の確立	西和賀町	沢内	畜産研究所 家畜育種
黒毛和種における体内胚採取後の早期受胎のための定時授精法の開発	遠野市	土淵	畜産研究所 家畜育種
AIとドローンを活用した放牧牛看視システム開発のための要因分析	洋野町	大野	畜産研究所 外山畜産
黒毛和種産肉能力検定（間接法・現場後代検定法）	①滝沢市 ②奥州市 ③一関市 ④紫波町 ⑤北上市 ⑥盛岡市 ⑦一戸町 ⑧花巻市	①上岩手山 ②江刺、胆沢 ③藤沢、花泉 ④片寄 ⑤和賀、上江 釣子 ⑥下田 ⑦中山 ⑧東和町	畜産研究所 種山畜産
キャベツ根こぶ病発生圃場での休眠孢子密度低減効果の確認	岩手町	川口	県北農業研究所 果樹・野菜
ジョイント栽培の現地適応性および省力効果等の確認	二戸市	石切所	
りんご品種「はるか」のみつ入り要因の解明	二戸市	釜沢 米沢	
大豆等奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査（リョウユウ）	軽米町	上舘	県北農業研究所 作物

Ⅲ 試験研究の成果

Ⅲ 試験研究の成果

1 試験研究成果

(1)令和7年度成果数

成果区分	普及 (普及に移しうる 成果)	指導 (技術指導に 参考となる成果)	行政 (行政施策等に反映す べき成果)	研究 (研究手法等に 関する成果)	総計
1 農業構造・経営管理		3	1	2	6
2 生産工学		1	1		2
3 水稻	1	3	4	1	9
4 畑作物	1	2		1	4
5 特産作物				1	1
6 果樹	1	4			5
7 野菜		7		1	8
8 花き			3		3
9 土壌作物栄養		4			4
10 病害虫制御		3		2	5
11 乳用牛				2	2
12 肉用牛		1	5	4	10
13 中小家畜(豚・鶏)		1			1
14 草地・飼料作物		2			2
15 畜産環境					0
共通					0
[計]	3	31	14	14	62

普及:農家等へ普及することによって、経済効果や経営改善等が見込まれる成果

指導:普及指導員等の技術指導上の参考として適当と認められる成果

行政:行政からのニーズに対応した研究成果等で、行政施策の企画等に参考になると認められるもの

研究:研究手法・分析手法、育種母本及び近い将来、普及区分や指導区分の試験研究成果として発展が見込める成果

(2)令和7年度成果名一覧

【普及(普及に移しうる成果)】

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
水稻	R7-普-01	高水分状態の水稲収穫に高い適応性を備えた高湿材適応コンバイン	生産システム
果樹	R7-普-02	りんご「雪いわて」の収穫適期の目安	果樹
畑作物	R7-普-03	大豆品種「リョウユウ」の栽培法	水田利用

【指導(技術指導に参考となる成果)】

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
農業構造・ 経営管理	R7-指-01	水稲乾田直播栽培(プラウ耕鎮圧体系)の生産技術体系データ	農業経営
水稻	R7-指-02	「銀河のしずく」の乾田直播栽培可能地域	生産システム
水稻	R7-指-03	令和7年岩手県産水稲の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	生産システム
水稻	R7-指-04	ほ場でも容易に実施できる無人航空機（ドローン）を利用した水稲成熟期推定技術	生産システム
土壌作物 栄養	R7-指-05	気候変動下における水稲の生産性と有機物施用効果	土壌肥料
土壌作物 栄養	R7-指-06	基肥一発施肥体系における施肥から入水までの畑期間が水稲の生育・収量、玄米品質に及ぼす影響	土壌肥料
畑作物	R7-指-07	岩手県的小麦栽培における越冬前後の踏圧時期及び回数の違いが生育に及ぼす影響	水田利用
生産工学	R7-指-08	大豆栽培への自動操舵農機及び無人航空機（ドローン）の導入効果	生産システム
畑作物	R7-指-09	雑穀の播種及び機械除草におけるRTK-GNSS自動操舵システムの効果	作物（県北）
果樹	R7-指-10	りんご園地におけるロボット草刈機導入による草生管理の省力効果及び効果的な使用方法	果樹
果樹	R7-指-11	ぶどう「シャインマスカット」の花穂整形時における上部支梗利用方法と省力効果	果樹
果樹	R7-指-12	ぶどう「シャインマスカット」の上部支梗利用時は下向きの花穂を選択することで果房管理作業を省力化できる	果樹
果樹	R7-指-13	管理作業の省力化及び大玉生産が可能なブルーベリーの交互結実剪定法	果樹
病虫害制 御	R7-指-14	土着天敵の保護を目的としたりんご園の下草高刈管理におけるロボット草刈機の適用性及び樹冠下への除草剤使用について	病理昆虫
病虫害制 御	R7-指-15	県内主要りんご産地におけるナミハダニの薬剤感受性実態	病理昆虫
農業構造・ 経営管理	R7-指-16	施設野菜専作経営体の経営者行動の特徴からみた経営発展のポイントと支援策	農業経営
野菜	R7-指-17	夏秋どりトマトの短期収量予測技術	野菜
野菜	R7-指-18	きゅうりのハウス無加温作型における炭酸ガス局所施用ダクトの設置方法	野菜
野菜	R7-指-19	ブロッコリー早春まき作型における有望品種の適応性	野菜

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
野菜	R7-指-20	ブロッコリー夏まき作型における有望品種の適応性	野菜
土壌作物 栄養	R7-指-21	「有機質資材の肥効見える化アプリ」を活用した露地野菜の減化学肥料栽培技術	土壌肥料
土壌作物 栄養	R7-指-22	露地野菜の減化学肥料栽培に向けた岩手県内に流通する家畜ふん堆肥の窒素肥効特性と全窒素によるADSONの推定	土壌肥料
野菜	R7-指-23	ミスト噴霧の効果は、ほうれんそうの品種によって異なる	果樹・野菜
野菜	R7-指-24	施設きゅうりの摘心栽培における生育予測手法	果樹・野菜
野菜	R7-指-25	施設きゅうり摘心栽培における生育予測に基づく栽培管理支援ツール	果樹・野菜
病虫害制 御	R7-指-26	りんどうにおけるTPN水和剤散布時の展着剤加用による薬斑軽減効果	病理昆虫
肉用牛	R7-指-27	黒毛和種繁殖雌牛における分娩前後の胸囲長の増減を指標とした栄養状態の簡易モニタリング	家畜育種
草地・飼料 作物	R7-指-28	乳用育成牛の放牧における日増体量確保のためのルーメン深度測定法と目安	家畜飼養・飼料
草地・飼料 作物	R7-指-29	オーチャードグラス、チモシーの秋季更新時における播種晩限の推定	家畜飼養・飼料
農業構造・ 経営管理	R7-指-30	施設園芸産地における環境モニタリングデータ活用支援の取組手順書	農業経営
中小家畜 (豚・鶏)	R7-指-31	バークシャー種去勢豚の厚脂を防ぐ肥育飼料給与法	家畜育種

【行政(行政施策等に反映すべき成果)】

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
農業構造・ 経営管理	R7-行-01	生産技術体系データ（2025年版）	農業経営
水稻	R7-行-02	令和7年度における水稻奨励品種決定基本試験の本試験・現地試験結果	水田利用
水稻	R7-行-03	令和8年度水稻奨励品種決定基本試験 本試験・現地試験に新たに供試する系統	水田利用
生産工学	R7-行-04	暗渠排水の維持管理に活用可能なRTK-GNSSデータの有効性	水田利用
水稻	R7-行-05	令和8年度水稻奨励品種決定予備試験に新たに供試する主食用うるち系統「岩手164号」、「岩手165号」、「岩手166号」	作物育種
水稻	R7-行-06	ゲノム育種により育成した「ひとめぼれ」の有用遺伝子集積系統	作物育種
花き	R7-行-07	令和7年度りんどう奨励品種決定試験結果	花き
花き	R7-行-08	令和8年度りんどう奨励品種決定試験（切り花）に新たに供試する系統	花き
花き	R7-行-09	令和8年度りんどう奨励品種決定試験（鉢花）に新たに供試する系統	花き
肉用牛	R7-行-10	県内黒毛和種集団における新細かさ指数及び一価不飽和脂肪酸割合の遺伝的パラメーターと育種価の推定（第2報）	家畜育種
肉用牛	R7-行-11	日本短角種産肉能力検定（直接法）成績	家畜育種
肉用牛	R7-行-12	日本短角種産肉能力検定（現場後代検定法）成績	家畜育種
肉用牛	R7-行-13	黒毛和種産肉能力検定（直接法）成績	種山畜産
肉用牛	R7-行-14	黒毛和種産肉能力検定（現場後代検定法）成績	種山畜産

【研究(研究手法等に関する成果)】

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
農業構造・ 経営管理	R7-研-01	農林業センサスから見る岩手県の水田作における農地流動化の特徴	農業経営
水稻	R7-研-02	令和7年度における水稻晩植栽培による生育・収量への影響	生産システム
特産作物	R7-研-03	雑穀類対応汎用コンバインの開発	作物（県北）
農業構造・ 経営管理	R7-研-04	施設野菜専作経営体の経営発展過程における経営者行動の特徴	農業経営
野菜	R7-研-05	四季成り性いちご品種「なつあかり」の電照用LEDによる白熱電球代替技術の検証	南部園芸
病虫害制 御	R7-研-06	黒色のみを利用した粘着トラップに対するトマトキバガ成虫の誘引性質	病理昆虫
病虫害制 御	R7-研-07	キャベツ黒すす病の発生確認と防除対策	果樹・野菜
肉用牛	R7-研-08	県内黒毛和種集団における未診断疾患の遺伝要因とされる候補有害変異の保因状況	家畜育種
肉用牛	R7-研-09	県内日本短角種集団におけるゲノム情報を活用した遺伝的多様性と近交度の評価	家畜育種
肉用牛	R7-研-10	ふすまの長期的給与が日本短角種牛肉の官能特性及び理化学的性状に及ぼす影響	家畜育種
乳用牛	R7-研-11	乾乳期から分娩時における飼養形態が生産性向上に及ぼす要因分析	家畜飼養・飼料
乳用牛	R7-研-12	繋留飼養の搾乳牛におけるTMR給与条件の違いが採食行動へ及ぼす影響	家畜飼養・飼料
肉用牛	R7-研-13	ヒト用皮下組織間質液グルコース濃度測定による黒毛和種哺乳牛の血糖値モニタリングと子牛の異状との関連性	外山畜産
畑作物	R7-研-14	近年の気象条件が大豆の生育・収量・品質に与える影響と播種時期や品種の違いの検証	水田利用

2 追跡評価

○令和7年度追跡評価の実施結果

(1) 評価対象

普及区分9成果及び指導区分31成果、合計40成果

※普及区分(令和4年度9成果)

指導区分(令和4年度31成果)

(2) 評価区分及び評価者

評価区分	成果区分	評価者	評価視点
内部	普及、指導	各担当研究室長	現在の有効性
外部	普及	生産者等（JA含む）、普及C	成果の活用状況
	指導	普及C	成果の活用状況

(3) 評価結果

ア 内部評価

評価結果はいずれもAであった。

区分	有効性	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
普及	A	9	10	1	6	8	6	5	8	4	3	9
	B		2	1								
	C		1									
	D											
指導	A	21	35	32	18	36	41	37	30	38	19	31
	B		1	1	1							
	C											
	D											

(注) 太字は今回評価の対象成果

A: 現在でも有効

B: 既に成果の目的を達成し、現在では有効性がない

C: 後年度の成果に反映

D: 無効(Bに含まれないもの)

イ 外部評価（括弧内は前年度の値）

(ア) 成果区分「普及」

a 生産者等評価

① 活用状況は、「現在も活用している」が90.9%(40.0%)、「以前活用したが、今は活用していない」が0.0%(20.0%)、「活用の機会がない」が9.1%(40.0%)であった。「活用の機会がない」理由としては、情報として参考になったことは有用だったが、既に他の技術を用いているためという回答があった。

② 満足度は、「満足」が54.5%(20.0%)、「概ね満足」が36.4%(40.0%)、「あまり満足できない」が9.1%(40.0%)、「満足できない」が0.0%(0.0%)であった。「あまり満足できない」理由としては、苗の生産量を増やす対策と病害対策をしてほしいためという回答があった。

b 普及センター評価

① 経営体での活用状況は、「よく活用されている・活用されている」が94.4%(66.7%)、「あまり活用されていない・活用されていない」が5.6%(33.3%)であった。

② 「あまり活用されていない・活用されていない」理由としては、成果内容については理解したが、管内では活用できる経営体が極めて少ないためという回答があった。

(イ) 成果区分「指導」

a 普及センター評価

- ① 指導上の参考になったかは、「大いに参考になった・参考になった」が89.5% (93.8%)、「あまり参考にならなかった・参考にならなかった」が10.4% (6.2%)であった。
- ② 指導効果が得られたかは、「大いに得られた・得られた」が76.8% (73.5%)、「あまり得られなかった・得られなかった」が23.2% (26.5%)であった。
- ③ 「あまり参考にならなかった・参考にならなかった」及び「あまり得られなかった・得られなかった」理由としては、管内で成果を活用していない、または活用事例が少ないためという回答等があった。

表 外部評価の結果

成果区分	評価者	回答率	質問	回答	
普及	生産者等	100%	成果の活用	現在も活用している	90.9%
				以前活用したが、今は活用していない	0.0%
				活用の機会がない	9.1%
			成果の満足度	満足	54.5%
				概ね満足	36.4%
				あまり満足できない	9.1%
				満足できない	0.0%
指導	普及セ	100%	経営体での活用	よく活用されている	61.1%
				活用されている	33.3%
				あまり活用されていない	5.6%
				活用されていない	0.0%
			指導上の参考	大いに参考になった	48.8%
				参考になった	40.7%
				あまり参考にならなかった	8.1%
				参考にならなかった	2.3%
			指導効果	大いに得られた	29.1%
				得られた	47.7%
				あまり得られなかった	11.6%
				得られなかった	11.6%

3 東北農業研究成果

<研究成果情報>

(1) 研究成果数

推進部会名	生産環境	畜産飼料作	計
研究成果数	1	2	3

(2) 研究成果名

推進部会名	成 果 名	分 類	主査研究室
生産環境	岩手県内で流通する家畜ふん堆肥の窒素肥効特性と全窒素によるADSONの推定	普及	土壌肥料
畜産飼料作	オーチャードグラス、チモシーの秋季更新時における播種晩限の推定	普及	家畜飼養・飼料
畜産飼料作	黒毛和種繁殖雌牛における分娩前後の胸囲長の増減を指標とした栄養状態の簡易モニタリング	普及	家畜育種

IV 試験研究成果の発表

IV 試験研究成果の発表

1 試験成績書等刊行物

資 料 番 号 等	表 題 名	発行年月	総頁数
企画管理部			
経営 R7-No.1	令和7年度 試験研究成績書(農業経営研究室)	R8.3	57
	施設園芸産地における環境モニタリングデータ活用支援の取組手順書	R8.3	34
生産基盤研究部			
基盤 R7-No.1	平成29年度 試験研究成績書(作物育種研究室)	R7.7	203
基盤 R7-No.2	平成30年度 試験研究成績書(作物育種研究室)	R8.3	169
基盤 R7-No.3	令和元年度 試験研究成績書(作物育種研究室)	R8.3	154
基盤 R7-No.4	令和2年度 試験研究成績書(作物育種研究室)	R8.3	145
園芸技術研究部			
園芸 R7-No.1	令和6年度 試験研究成績書(南部園芸研究室)	R7.5	84
園芸 R7-No.2	令和6年度 試験研究成績書(野菜研究室)	R7.6	195
園芸 R7-No.3	令和5年度 果樹関係試験研究成績書(果樹研究室)	R7.6	229
園芸 R7-No.4	令和6年度 果樹関係試験研究成績書(果樹研究室)	R7.6	249
園芸 R7-No.5	令和6年度 花き試験成績書(花き研究室)	R7.6	54
園芸 R7-No.6	令和7年度 試験研究成績書(野菜研究室)	R8.3	115
園芸 R7-No.7	令和7年度 試験研究成績書(南部園芸研究室)	R8.3	61
生産環境研究部			
環境 R7-No.1	令和6年度 試験成績書(土壌肥料研究室)	R7.6	127
環境 R6-No.1	令和6年度 試験成績書(病理昆虫研究室)	R7.3	351
病虫害防除部			
	令和7年度 植物防疫事業年報	R8.3	213
畜産研究所			
畜産 R7-No.1	令和7年度 試験成績書(畜産研究所)	R8.3	162
県北農業研究所			
県北 R7-No.1	令和6年度 試験研究成績書(作物研究室)	R7.6	153
県北 R7-No.2	令和6年度 試験研究成績書(園芸研究室)	R7.6	142
	施設きゅうりの摘心栽培における生育予測に基づいた栽培管理法導入マニュアル	R8.3	37

2 研究レポート(令和7年度発行分)

No.	試験研究成果名	担当研究室
1188	高水分状態の水稲収穫に高い適応性を備えた高湿材適応コンバイン	生産システム
1189	りんご「雪いわて」の収穫適期の目安	果樹
1190	水稲乾田直播栽培(プラウ耕鎮圧体系)の生産技術体系データ	農業経営
1191	「銀河のしずく」の乾田直播栽培可能地域	生産システム
1192	令和7年産水稲の作柄・品質に影響した要因の解析	生産システム
1193	ほ場でも容易に実施できる無人航空機(ドローン)を利用した水稲成熟期判定技術	生産システム
1194	気候変動下における水稲の生産性と有機物施用効果	土壌肥料
1195	水稲の基肥一発施肥体系では、施肥から入水までの期間が長期化すると減収と玄米品質低下のリスクが高まる	土壌肥料
1196	岩手県の水稲栽培における越冬前後の踏圧時期及び回数の違いが生育に及ぼす影響	水田利用
1197	大豆栽培への自動操舵農機及び無人航空機(ドローン)の導入効果	生産システム
1198	自動操舵トラクタを用いた高い精度の雑穀播種・除草技術	作物(県北)
1199	りんご園地におけるロボット草刈機導入による草生管理の省力効果及び効果的な使用方法	果樹
1200	「シャインマスカット」の花穂先端が異常な時に！効果的な上部支梗利用方法と省力効果	果樹
1201	「シャインマスカット」の上部支梗利用時は「形」ではなく「向き」で選ぶ！下向きの花穂でさらに省力化！	果樹
1202	管理作業の省力化及び大玉生産が可能なブルーベリーの交互結実剪定法	果樹
1203	ロボット草刈機でカブリダニ類を守る！りんご園の高刈管理方法	病理昆虫
1204	りんご栽培で使用する殺ダニ剤の効果の実態	病理昆虫
1205	施設野菜専作経営体の経営者行動の特徴からみた経営発展のポイントと支援策	農業経営
1206	夏秋どりトマトの栽培管理支援ツール(向こう2週間の短期収量予測)	野菜
1207	きゅうりのハウス無加温作型における炭酸ガス局所施用ダクトの設置方法	野菜
1208	ブロッコリー早春まき作型における有望品種の適応性	野菜
1209	ブロッコリー夏まき作型における有望品種の適応性	野菜
1210	「有機質資材の肥効見える化アプリ」を活用した露地野菜の減化学肥料栽培技術	土壌肥料
1211	岩手県内の家畜ふん堆肥の特性からADSON推定値を設定しました	土壌肥料
1212	ほうれんそうへのミスト噴霧の効果は品種間差がある	果樹・野菜(県北)

No.	試験研究成果名	担当研究室
1213	施設きゅうりの摘心栽培における生育予測手法	果樹・野菜(県北)
1214	施設きゅうり摘心栽培における生育予測に基づく栽培管理支援ツール	果樹・野菜(県北)
1215	りんどうのTPN水和剤による葉斑対策は、展着剤加用が有効	病理昆虫
1216	黒毛和種繁殖雌牛における分娩前後の胸囲長の増減を指標とした栄養状態の簡易モニタリング	家畜育種
1217	ルーメン深度の測定法と目安～乳用育成牛の放牧における日増体量を確保するために～	家畜飼養・飼料
1218	オーチャードグラス、チモシーの秋季更新時における播種晩限の推定	家畜飼養・飼料
1219	大豆品種「リョウユウ」の栽培法	作物(県北)
1220	施設園芸産地における環境モニタリングデータ活用支援の手順書	農業経営
1221	バークシャー種去勢豚の厚脂を防ぐ肥育飼料給与法	家畜育種

3 岩手県農業研究センター研究報告

(令和7年度:発行なし)

4 学会等研究報告

(1)学術論文(専門家の査読を受け、掲載された論文)

Field Crops Research 高砂ほのか共著

Zelalem Zewdua,b, Mulugeta Atnafb, Assaye Berieb, Honoka Takasago, Reo Sato, Ryuji Ishikawa, Akira Abe, Maya Matsunami and Hiroyuki Shimono, f, †

Identification of loci for cold tolerance at reproductive stage and seed shattering of Ethiopian rice cultivar ‘X-Jigna’

Field Crops Research

日本土壌肥科学雑誌 小野寺真由共著

○望月賢太・古賀伸久・熊谷聡, 岡下悠・谷川法聖・小野寺真由・中川進平・遠藤佳那子・吉澤克憲・佐藤怜佳
窪田成美, 宮吉沙知, 唯 倫代, 高橋萌会・栗林将也・大橋祥範・鈴木良地・廣瀬亮太郎・平野温子
有吉真知子・西田美沙子・平山裕介・中川路晴香・前上門 陽・赤嶺拓矢・高田裕介・滝本貴弘・江口定夫
有機質資材からの養分供給量予測による減化学肥料栽培の全国実証
日本土壌肥科学雑誌 97:21-34.

日本作物学会紀事 仲條真介共著

小舘琢磨, 藤岡智明, 仲條真介
水稻品種「ひとめぼれ」の粒厚と外観品質・米飯物性との関係および登熟気温による影響
(2026年度日本作物学会論文賞)

日本食品保蔵科学会誌 仲條真介共著

小舘 琢磨, 藤岡智明, 仲條真介, 岡留博司, 小出章二
異なる加水量で炊飯した高タンパク低アミロース米「きらほ」の食味および米飯物性の変化
(2026年度日本食品保蔵科学会 論文賞)

東北作物研究(日本作物学会東北談話会報)

○佐々木俊祐
越冬後の追肥時期の違いが秋播きコムギの収量性と分けつの有効化に及ぼす影響
東北作物研究 68:1-5.

東北農業研究

○及川奈実絵・佐々木久彦
野菜経営体の経営発展過程の分析における複線径路・等至性モデル(TEM)の適用可能性
東北農業研究 78:67-68
○塚澤龍太郎・藤澤真澄
岩手県の水田作における農地流動化の特徴
東北農業研究 78:69-70
○多田周平
2024年岩手県産水稻の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析
東北農業研究 78:3-4
○高橋祐也・齋藤智子・吉田宏
岩手県南部での晩生品種を用いた大豆極晩播栽培の生育特性
東北農業研究 78:21-22

○佐々木俊洋・高橋藍1・河田道子・遊佐公哉・小野浩司2 2023年に発生したリンゴ‘ジョナゴールド’のこうあ部の内部裂果と周辺部果肉の軟化及び粉質化症状 (1 岩手県二戸農業改良普及センター) (2 岩手県農業研究センター 県北農業研究所) 東北農業研究 78:33-34
○遊佐公哉・佐々木真人1・浅川知則2・畠山隆幸3・高橋藍4・田口礼人5・柳本麻衣6 リンゴ新品種‘岩手15号’の主要特性 (1 岩手県一関農業改良普及センター) (2 岩手県農林水産部農業振興課) (3 岩手県大船渡農業改良普及センター) (4 岩手県二戸農業改良普及センター) (5 岩手県奥州農業改良普及センター) (6 岩手県農業研究センター 県北農業研究所) 東北農業研究 78:35-36
○藤尾拓也・小田島裕1・高橋拓也 (1 中部農業改良普及センター) 気温を考慮した夏秋どりトマトの収量予測の精度 東北農業研究 78:43-44
○松橋伊織 雨よけ夏秋栽培におけるピーマン台木品種の病害抵抗性および生育特性 東北農業研究 78:47-48
○中里崇・佐々木忍1 (1 岩手県農林水産部農業普及技術課) リンドウ新品種‘いわてEB-4号’の育成 東北農業研究 78:65-66
○飯村太一・高村聡美1 (1 県南広域振興局農政部花巻農林振興センター) 岩手県におけるペレニアルライグラス(Lolium perenne.L)晩生品種の生育特性について 東北農業研究 78:27-28

農業食料工学会誌

長嶺達也、伊藤信二共著 高湿材適応コンバインの開発(第1報)—開発機に搭載する2制御モデルの導出— 農業食料工学会誌 88(2)
長嶺達也、伊藤信二共著 高湿材適応コンバインの開発(第2報)—開発機の概要及び適応性試験— 農業食料工学会誌 88(2)

東北作物研究(日本作物学会東北談話会報)

○佐々木俊祐 越冬後の追肥時期の違いが秋播きコムギの収量性と分けつの有効化に及ぼす影響 東北作物研究 68:1-5.

北日本病害虫研究会報

○岩舘康哉・八桁直輝

培養麦粒とステープラーを用いたナス褐色斑点病菌の接種法

北日本病害虫研究会報 76:71-74

○中村太紀・武藤和夫1・岡本淳1

(1 ミネックス)

岩手県における土壌pH7.5矯正に要する転炉スラグ施用量の簡易推定法の実用性

北日本病害虫研究会報 76:86-93

村上珠利

夏秋トマト栽培におけるタバコカスミカメによる果実の陥没症状

北日本病害虫研究会報 76:114-119

東北畜産学会報

児玉英樹、山口直己、工藤祝子

東北畜産学会報特集 東北地方の畜産関連研究施設の紹介

東北畜産学会報 75(3):36-41 (2026)

(2)学会発表(発表要旨)

第68回東北農業試験研究発表会(2025.7.31 盛岡市)

○高橋 祐也・齋藤 智子・吉田 宏
「岩手県南部での中晩生品種を用いた大豆極晩播栽培の生育特性」

園芸学会 令和8年度春季大会(2026.3.21～22開催、明治大学生田キャンパス(神奈川県川崎市))

○遊佐公哉・佐々木真人1・浅川知則2・畠山隆幸3・高橋藍4・田口礼人5・柳本麻衣
(1一関農改普セ, 2岩手県農林水産部, 3大船渡農改普セ, 4二戸農改普セ, 5奥州農改普セ)
リンゴ新品種‘岩手15号’の育成
2026.園学研.(Hort. Res. (Japan)) 25(別1):78

○熊谷初美・藤尾拓也
春まきタマネギにおける根切り後の降雨が細菌性の腐敗の発生に及ぼす影響
2026.園学研. (Hort. Res. (Japan)) 25(別1): 344

○藤尾拓也・高橋拓也
夏秋どりトマトの果実収量及び果実品質に対する生葉数の影響
2026.園学研. (Hort. Res. (Japan)) 25(別1): 296

○中村太紀・赤坂尚生
夏秋どり施設キュウリの摘心栽培における生育予測に基づいた栽培管理方法の検証
2026.園学研.(Hort. Res. (Japan)) 25(別1):358

○赤坂尚生1・Nethone SAMBA2・深山陽子1,2
(1岩手大院連合農学研究科,2福島大学農学類)
ホウレンソウへのミスト噴霧の効果には品種間差がある
2026.園学研.(Hort. Res. (Japan)) 25(別1):176

日本土壌肥料学会(2025年度新潟大会:2025.9.17～19開催、新潟大学 五十嵐キャンパス)

○小野寺真由・高橋良学・古賀伸久1・望月賢太1
1 農研機構 九州沖縄農業研究センター
有機質資材の肥効予測モデルによる化学肥料減肥試験との岩手県内資材の窒素肥効評価
日本土壌肥料学会講演要旨集 71:120,7-1-15.

日本土壌肥料学会東北支部大会(2025年度福島大会:2025.7.9～7.10開催、コラッセふくしま)

○佐々木俊祐・高橋良学・桐山直盛1
1 岩手県 農林水産部 農業普及技術課
岩手県におけるペースト二段施肥による減肥が水稻の生育・収量に及ぼす影響
日本土壌肥料学会講演要旨集 第72巻に掲載予定

日本作物学会(第260回講演会:2025.9.21～9.22開催、新潟大学 五十嵐キャンパス)

○佐々木俊祐・高橋良学・桐山直盛1
1 岩手県 農林水産部 農業普及技術課
岩手県における有機物連用試験から見た気候変動が水稻の生産性に及ぼす影響
日本作物学会講演会要旨集 260:5.

日本作物学会(第261回講演会:2026.3.28～29)

寺田道一,高砂ほのか,吉津祐貴,千葉文弥1,木皿正人1,菅原冬葵1,渡邊麻由子,阿部陽2
(1 宮城県古川農業試験場, 2 岩手生物工学研究センター)

「ひとめぼれ」を背景とする農業形質関連遺伝子領域の集積系統の作出と特性評価

日本作物学会第261回講演会要旨集, 2026年3月

高砂ほのか共著

マダガスカルのイネ5品種における穂ばらみ期耐冷性

日本作物学会第261回講演会要旨集, 2026年3月

高砂ほのか共著

高度耐冷性イネ系統「東北PL1～3」、「奥羽PL4～5」の受精構成要素

日本作物学会第261回講演会要旨集, 2026年3月

日本作物学会東北談話会(第68回講演会:2025.8.26～8.27開催、秋田拠点センターアルヴェ)

○佐々木俊祐

越冬後の追肥時期の違いが秋播きコムギの収量性と分けつの有効化に及ぼす影響

東北農業研究 68:1-5.

第20回東北育種研究集会(2025.11.15～16)

高砂ほのか, 寺田道一, 吉津祐貴, 千葉文弥1, 木皿正人1, 渡邊麻由子, 阿部陽2
(1 宮城県古川農業試験場, 2 岩手生物工学研究センター)

東北地域水稻優良品種における高温登熟耐性遺伝子Apq1領域の導入効果

第78回北日本病害虫研究発表会 講演要旨(2025.2.20～21 リンクモア平安閣市民ホール(青森市)、北日本病害虫研究会報76)

○八桁直輝・岩館康哉・西村穂花1

(1 札幌市)

岩手県で発生したコムギなまぐさ黒穂病について

○中村太紀・武藤和夫1・岡本淳1

(1 ミネックス)

岩手県における土壌pH7.5矯正に要する転炉スラグ施用量の簡易推定法の実用性

村上珠利

夏秋栽培トマトにおけるヒラズハナアザミウマによる果実の白ぶくれ症状被害果率の品種間差異

○佐藤 優・猫塚修一

岩手県におけるリンゴ炭疽病の多発要因の解析

第79回北日本病害虫研究発表会(2026.2.18～19開催、盛岡市民文化ホール(マリオス)、北日本病害虫研究会報.77:印刷中)

○和嶋裕也、加藤真城、千葉克彦1 (1 全農いわて) 水田畦畔における自走式刈払い機での高刈り管理が畦畔の植生と斑点米カメムシ類の発生にもたらす影響
○八桁直輝、岩館康哉、前澤正浩1、齊藤光彦1 (1 ㈱エスディーエスバイオテック) ダイズ紫斑病におけるTPN水和剤の効果的な散布時期の検討
岩館康哉、○廣田志紀子 明視野・暗視野・位相差および微分干渉観察法によるうどんこ病菌分生子内フィロブシン体の視認性比較
○岩館康哉、古屋廣光1、上島仁2 (1 元秋田県大生資、2 ISP) 1日の気温・湿度経過がトマトうどんこ病の感染に及ぼす影響
村上珠利 黒色のみを利用した粘着トラップに対するトマトキバガ成虫の誘引性質
佐藤優 リンゴ褐斑病に対するりんご開花期前後の生育ステージ別感受性
○吉田優里、加藤真城 りんご栽培における土着カブリダニ類の発生量を踏まえたハダニ類防除判断と果実被害
○大友令史1、猫塚修一、飯村茂之1 (1 岩手植防) 2025年岩手県におけるカメムシ類によるダイズ子実被害の多発事例
○秦広和、菅野夢、吉田優里、猫塚修一 2025年におけるチャバネアオカメムシ越冬後成虫の大量飛来によるリンゴ果実被害の発生要因
○猫塚修一、佐藤優、秦広和、菅野夢 リンゴ褐斑病の早期発生に及びす前年秋期の発生量と展葉期間中の感染好適条件の影響
○羽田厚・清水元樹1・畠山勝徳2 (1岩手生工研、2岩手大農) キャベツ根こぶ病菌に対する数種キャベツ品種の抵抗性評価および土壌中菌密度に対する影響

令和7年度日本植物病理学会九州部会(2025.11.20～21開催、沖縄県那覇市(沖縄県立博物館))

○岩館康哉・八桁直輝・鳴坂真理1・鳴坂義弘1 (1 岡山生物研) 月桃由来プロアントシアニジンのピーマンモザイク病(PMMoV)に対する防除効果
--

第70回日本応用動物昆虫学会大会(2026.3.28～30開催、熊本県熊本市(熊本城ホール))

○村上珠利、森田孝延1、府賀伸彦1、頼富寿秀1 (1 株式会社ZMクロッププロテクション) 夏秋トマト栽培におけるキルパー古株枯死処理のトマトキバガ密度抑制効果の検討
○吉田優里、加藤真城 ロボット草刈機と樹幹下除草剤散布がりんご園の土着カブリダニ類に与える影響
吉田優里 岩手県における果樹カメムシ類の発生および今後の防除対策(小集会話題提供)

東北畜産学会 第74回秋田大会(2025.8.27～28開催、秋田県庁)

○平久保友美・安田潤平1・齊藤桜花 (1岩手農大) 黒毛和種肥育牛への肥育前期発酵TMR給与による枝肉重量及び枝肉格付けへの影響 東北畜産学会報 74(2) 第73回大会号
○新井勇児・山口直己・伊藤孝浩・大森祐一郎 日本短角種妊娠牛における乳汁中PAG濃度測定による分娩日の推定 東北畜産学会報 74(2) 第73回大会号

日本畜産学会 第133回大会(2026.9.12～14開催、岐阜大学)

○山形広輔・茂呂勇悦 岩手県内黒毛和種集団における脂肪交雑形状及び一価不飽和脂肪酸割合の遺伝的パラメーターの推定と枝肉単価への影響 日本畜産学会第133回大会講演要旨

5 雑誌等掲載

(1) 専門雑誌等

グリーンレポート(全国農業協同組合連合会)

赤坂尚生

ハウレンソウ栽培の基礎と応用

JA全農 耕種総合対策部, アグリ情報室, No.676, 2025年9月号, 2-3

農業技術体系 果樹編(一般社団法人 農山漁村文化協会)

佐々木俊洋

「(シャインマスカット)1回目GA処理後の果軸長調整による摘粒省力効果」

追録41号として令和8年6月30日に発行

農業技術体系 野菜編(一般社団法人 農山漁村文化協会)

赤坂尚生

「ミスト噴霧による夏秋期のほうれんそう栽培の遮光労力軽減・増収技術」

第7巻 ハウレンソウ 基礎編 追録第50号 基136-2～6

iPlant(植物医科学出版会)

松橋 伊織・岩館 康哉

ピーマン青枯病は転炉スラグを投入すると被害を軽減できる

2025年 3巻 5号(https://www.iplant-j.jp/journal/vol-3_no-5/bacterial-wilt-converter-slag/)

岩館 康哉

育苗期に発生する植物病はプール育苗で抑えることができる

2025年 3巻 9号(https://www.iplant-j.jp/journal/vol-3_no-9/rice-seedling-cultivation-pool/)

岩館 康哉

ナスの実にできる小さなくぼみの正体

2026年 4巻 1号(https://www.iplant-j.jp/journal/vol-4_no-1/eggplant-dents-rhizoctonia/)

植物防疫(一般社団法人 日本植物防疫協会)

岩館 康哉

植物防疫講座 病害編-61 ディアポルテ(ホモブシス)属菌による草本植物の病害

ーその例外的存在のウリ科野菜ホモブシス根腐病ー

2025年5月号(第79巻第5号):280-286

猫塚修一

リンゴ黒星病の前年発生園における防除対策

2025年 第79巻第10号,561-568

猫塚修一

JM台幼木に発生するリンゴ胴枯細菌病の発生生態と防除対策

2025年 第79巻第11号,599-605

果実日本(日本園芸農業協同組合連合会)

吉田優里

果樹害虫の最近の動向と防除策～岩手県におけるリンゴ害虫の発生動向と防除対策～

2025年5月号掲載

果実日本81巻(日本園芸農業協同組合連合会)

河田道子

「果樹園管理のポイント(りんご)」

2026年1月号～3月号

(2) 岩手の畜産(令和7年5月号～令和8年3月号)

5月号	飯村 太一	越夏性に優れるペレニアルライグラス晩生品種「夏ごしペレ」
7月号	佐々木 優希	全国トップクラスの産肉成績を誇る岩手県有種雄牛「福太郎3」号及び「菊美翔平」号
9月号	齊藤 桜花	日本短角種長期肥育における「ふすま」代替給与によるコスト低減技術
11月号	伊藤 修	乳用牛群能力検定データを活用した乳中ケトン体及び脂肪酸組成の可視化ツールの開発
1月号	高杉 亘	黒毛和種去勢肥育牛への発酵TMR給与による出荷月齢の早期化と枝肉格付の向上
3月号	平久保 友美	オーチャードグラス、チモシーの秋季更新時における播種晩限の推定

(3) その他の雑誌等

肉牛ジャーナル

種山畜産研究室

種雄牛広告(「菊美翔平」号)

令和7年10月号

養牛の友

種山畜産研究室

種雄牛広告(「菊美翔平」号)

令和7年10月号

畜産技術 ((公社)畜産技術協会)

外山畜産研究室 大森祐一郎

技術情報「無人航空機(ドローン)を用いた放牧地の植生診断技術」

2025年8月号

家畜育種研究室 池原遊人

技術情報「尿試験紙を活用した黒毛和種繁殖雌牛における分娩後の子宮回復遅延牛の簡易判定技術」

2025年8月号

岩手県獣医師会会報誌

家畜育種研究室 池原遊人

技術講座「日本短角種種雌牛における陰部神経伝達麻酔と陰茎乳頭腫の外科的切除の実践」

2026年4月号

6 新聞等掲載

部所名	記 事 見 出 し	掲載紙	掲載年月日
企画管理部			
	研究企画室		
	収穫体験に笑顔 県農業研究セ 一般公開デー・北上	岩手日日新聞	R7.9.7
	総務課		
	交通事故・違反根絶へ誓約書 北上・県農研セ	岩手日日新聞	R7.6.15
	農業科学博物館		
	「農林10号」誕生90年 「緑の革命」原動力に 米国渡り改良貢献	岩手日報	R7.4.17
	日日草 県立農業科学博物館で開催中 企画展「農林10号」	岩手日日新聞	R7.5.29
	リンゴ栽培150年の軌跡	岩手日日新聞	R7.9.26
生産基盤研究部			
	生産システム研究室		
	誕生から30年、フラッグシップジャパン新型発表	日本農業新聞(全国版)	R8.1.1
園芸技術研究部			
	果樹研究室		
	もも栽培研究会 モモ生産拡大へ期待	岩手日報	R7.8.26
	野菜研究室		
	(なし)		
	花き研究室		
	JA全農いわて いわてフラワーコンテスト2025表彰式	岩手日日新聞	R7.11.21
病虫害防除部			
	病虫害防除課		
	果樹カメムシ類の多発恐れで注意報 県が防除呼びかけ	岩手日報	R7.6.13
	県内病虫害予察情報 水稲カメムシ注意 リンゴで褐斑病発生	岩手日日新聞	R7.7.16
	(東北版)斑点米カメムシ注意 リンゴ褐斑病も	日本農業新聞	R7.7.16
	(全国版)水稲カメムシ 20県で注意報 雑草刈り残しで多発	日本農業新聞	R7.7.18
	病虫害予察情報 カメムシ多発注意 果樹・水稲、徹底防除を	岩手日日新聞	R7.7.29
	(東北版)斑点米カメムシ注意 岩手県2回目	日本農業新聞	R7.7.29
	果樹、水稲カメムシ多発予想で注意報 県、防除徹底呼びかけ	岩手日報	R7.7.29
	オオタバコガ 岩手で誘殺増	日本農業新聞	R7.7.30
	ハダニ類多発 県が注意報 速やかな防除呼びかけ	岩手日報	R7.8.1
	ハダニ類適期防除を リンゴ生産者に注意喚起・県内	岩手日日新聞	R7.8.1
	水稲育苗箱施用剤の効果的な使い方	日本農業新聞	R8.2.3
畜産研究所			
	種山畜産研究室		
	畜産改次世代のスター 県有種雄牛菊美翔平	岩手日報_アラカルト	R7.4.30
	食をまもる危機への処方箋 畜産核に地域を活性化(岩手大連携プロジェクト「いわて畜産テリトリーオ」)	岩手日報	R7.5.3
	いわて牛種牛「翔平」登場 子牛100万円異例の高評価	河北新報(共同通信配信)	R7.10.29
県北農業研究所			
	果樹・野菜研究室		
	雨よけホウレンソウのミスト噴霧による省力及び増収効果	日本農業新聞	R7.7.16

7 テレビ・ラジオ放送

(1) テレビ

部所名	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
企画管理部	県立農業ふれあい公園 農業科学博物館企画展 いわたのりんご150年	5きげんテレビ	R7.6.19	無
企画管理部	岩手県農業研究センター(農業科学博物館)の紹介	Go! Go! いわて	R7.6.7	有
企画管理部	令和7年度岩手県農業研究センター 一般公開デー	Go! Go! いわて	R7.9.5	有
企画管理部	県立農業ふれあい公園 農業科学博物館企画展 いわたのひつじ150年」年	Go! Go! いわて	R7.10.25	無
園芸技術研究部	生食用ものの研究内容について 岩手県農業研究センターで取り組んでいる高温対策の取材	NHK総合	R7.8.8	農産園芸課
生産基盤研究部 病害虫防除部	ニュースプラス1特集 食料クライシス② 岩手県農業研究センターで取り組んでいる高温対策 高温登熟耐性品種の育成	テレビ岩手	R7.8.19	無
生産基盤研究部 園芸技術研究部	ニュースプラス1特集 食料クライシス④ 岩手県農業研究センターで取り組んでいる高温対策 高温登熟耐性品種の育成	テレビ岩手	R7.9.16	無
園芸技術研究部	ニュースプラス1特集 食料クライシス⑥ 岩手県農業研究センターで取り組んでいる高温対策 生食用もも、りんどう	テレビ岩手	R7.10.14	無
生産環境研究部	いわちゃん 草刈る人々	NHK総合	R7.10.17	無
病害虫防除部	斑点米カメムシ類多発で県が注意報	NHK総合	R7.7.18	有
県北農業研究所	白銀のひかりの紹介	めんこいテレビ	R7.11.1	農産園芸課
県北農業研究所	恒久電気柵講習会	NHK総合、岩手朝日放送	R7.11.28	有

(2) ラジオ

部所名	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
企画管理部	第94回企画展いわてのりんご150年～西洋りんご栽培のはじまりから明治時代のりんご栽培を振り返る～	エフエム岩手	R7.8.1	無
企画管理部	第96回企画展いわてのひつじ150年～岩手の畜産業ではあまり知られていないひつじの魅力にせまる～	IBC	R7.10.8	無

8 指導資料等掲載

部所・研究室名	タ イ ト ル	掲載資料名	発行年月
企画管理部 農業経営研究室	生産技術体系	岩手県果樹農業振興計画	R8.3
生産基盤研究部 水田利用研究室	雑草防除(水稲)	令和8年度岩手県農作物病害虫・雑草防除に関する技術資料	R8.3
	雑草防除(畑作物)	令和8年度岩手県農作物病害虫・雑草防除に関する技術資料	R8.3
園芸技術研究部 果樹研究室	雑草防除及び成長調整剤(果樹)	令和8年度岩手県農作物病害虫・雑草防除に関する技術資料	R8.3
野菜研究室	雑草防除及び成長調整剤(野菜)	令和8年度岩手県農作物病害虫・雑草防除に関する技術資料	R8.3
	施設キュウリの夏秋作型における小型光合成促進機を用いた局所炭酸ガス施用マニュアル	岩手県農業研究センターホームページ「成果マニュアル・報告書一覧」	R8.3
	夏秋どりトマトの短期収量予測技術	岩手県農業研究センターホームページ「成果マニュアル・報告書一覧」	R8.3
花き研究室	雑草防除及び成長調整剤(花き)	令和8年度岩手県農作物病害虫・雑草防除に関する技術資料	R8.3
	品目別栽培技術指針「切り花りんどう」「鉢物りんどう」	令和8年度花き栽培技術指針	R8.3
花き研究室	雑草防除及び成長調整剤(花き)	令和8年度岩手県農作物病害虫・雑草防除に関する技術資料	R8.3
	品目別栽培技術指針「切り花りんどう」「鉢物りんどう」	令和8年度花き栽培技術指針	R8.3
生産環境研究部 土壌肥料研究室	いわてアグリフロンティアスクール講義資料「土壌管理(土壌・肥料)」	作物生産と土壌管理 ～岩手県における環境にやさしい土壌施肥管理技術～	R7.7.15

部所・研究室名	タ イ ト ル	掲載資料名	発行年月
病理昆虫研究室	防除指導資料(水稻・畑作物病害、資材消毒、展着剤の利用)	令和8年度岩手県農作物病害虫・雑草防除に関する技術資料	R8.3
	防除指導資料(水稻・畑作物害虫、土壌害虫、鳥獣害防除)	令和8年度岩手県農作物病害虫・雑草防除に関する技術資料	R8.3
	防除指導資料(野菜病害)	令和8年度岩手県農作物病害虫・雑草防除に関する技術資料	R8.3
	防除指導資料(野菜害虫、生物農薬)	令和8年度岩手県農作物病害虫・雑草防除に関する技術資料	R8.3
	防除指導資料(果樹・花き病害)	令和8年度岩手県農作物病害虫・雑草防除に関する技術資料	R8.3
	防除指導資料(果樹・花き害虫)	令和8年度岩手県農作物病害虫・雑草防除に関する技術資料	R8.3
	病害虫対策(花き)	令和7年度野菜栽培技術指針	R8.3
	病害虫対策(花き)	令和7年度野菜栽培技術指針	R8.3
	いわてアグリフロンティアスクール講義資料「病害虫管理(防除・農薬)」	病害虫管理(防除・農薬) 基礎知識と農薬安全使用	R7.7.8
病害虫防除部			
病害虫防除課	農薬の安全使用について	令和8年度岩手県農作物病害虫・雑草防除に関する技術資料	R8.3
畜産研究所			
家畜飼養・飼料研究室	防除指導資料(牧草・飼料作物)	令和8年度岩手県農作物病害虫・雑草防除に関する技術資料	R8.3
	飼料作物優良品種特性表	牧草・飼料作物生産利用指針	R8.3
	岩手県における乳用牛群検定成績	岩手県における乳用牛群検定成績のまとめ～令和6年度～	R8.3
	地域別乳用牛群検定成績	乳用牛群検定成績の速報値 令和7年4月(全県版、市町村版)	R7.5
	地域別乳用牛群検定成績	乳用牛群検定成績の速報値 令和7年6月(全県版、市町村版)	R7.6
	地域別乳用牛群検定成績	乳用牛群検定成績の速報値 令和7年8月(全県版、市町村版)	R7.10
	地域別乳用牛群検定成績	乳用牛群検定成績の速報値 令和7年10月(全県版、市町村版)	R7.11
	地域別乳用牛群検定成績	乳用牛群検定成績の速報値 令和7年12月(全県版、市町村版)	R7.12
種山畜産研究室	令和8年岩手県黒毛和種 種雄牛案内	凍結精液を供給している県有種雄牛の紹介資料	R7.12
県北農業研究所			
果樹・野菜研究室	施設きゅうりの摘心栽培における生育予測に基づいた栽培管理法導入マニュアル	岩手県農業研究センターホームページ「成果マニュアル・報告書一覧」	R8.5

9 ホームページ

(1) 記事入力件数

項 目	入力件数	内 訳
研究レポート	34	令和7年度発行分(No.1188～1221)
試験研究成果	34	令和7年度試験研究成果書
らぼ・れたあ	87	No. 1～87(研究室だより)
行事予定	2	一般公開デー、研究成果発表会
各種資料	12	令和6年度業務年報、各種成果マニュアル
農業科学博物館	8	企画展第93～96回開催案内、臨時休館日案内、農業ふれあい公園だより No.33

(2) アクセス数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総ページビュー	14,541	15,381	17,907	14,744	15,982	14,740	14,595	12,604	11,095	11,519	10,420	12,128	165,656

10 SNS(X、Facebook)

(1) X

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ポスト数	15	12	22	12	15	5	14	3	7	6	3	8	122
総インプレッション数	4,543	2,369	5,146	2,863	11,096	1,445	3,313	764	1,382	6,198	764	2,479	42,362

(2) Facebook

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
投稿記事数	12	10	22	10	15	5	14	3	7	6	3	8	115
総インプレッション数	394	1,455	2,408	2,324	5,432	878	7,220	803	4,074	26,686	803	9,505	61,982

11 研究室だより

(1) らぼ・れたあ

発行日	標題	部所名
R7.4.30	メジャーを目指して予算獲得！ 若手研究員等による研究提案の所内コンペを開催しました！	企画管理部 研究企画室
R7.4.30	水稻の新農薬の試験が始まりました！	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R7.5.1	清掃活動(ごみ拾い)を実施しました	県北農業研究所 総務課
R7.5.12	意見飛び交う 第34回南部かしわ研究会	畜産研究所 家畜育種研究室
R7.5.13	県北農業研究所に果樹園が誕生しました！	県北農業研究所 果樹・野菜研究室
R7.5.14	日本短角種の2シーズン放牧肥育試験(2回目の夏季放牧)を始めました	畜産研究所 外山畜産研究室
R7.5.16	ももの「ジョイントV字樹形」のジョイントを行いました	園芸技術研究部 果樹研究室
R7.5.29	今年も飼料用トウモロコシの播種が始まりました	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
R7.6.3	夏いちごの試験、今年の収穫が始まりました	園芸技術研究部 南部園芸研究室
R7.6.3	盛岡市外山で放牧始めました!!～牛馬の寄託放牧事業のご紹介	畜産研究所 外山畜産研究室
R7.6.4	肥料高騰ニモマケズ、プラスチックニモマケズ、夏ノ暑サニモマケヌ米作り	生産環境研究部 土壌肥料研究室
R7.6.6	「白銀のひかり」、移植栽培、湛水直播栽培試験を実施しています！	県北農業研究所 作物研究室
R7.6.6	令和7年度所内一斉田植えを行いました	生産基盤研究部 作物育種研究室
R7.6.11	栽培試験中の野菜が順調に育っています	園芸技術研究部 野菜研究室
R7.6.11	普及指導員の専門技術基本研修を受け入れました	園芸技術研究部 野菜研究室
R7.6.17	フレッシュな皆さんに農研をご紹介！～農林水産部新採用職員研修の受け入れを行いました～	企画管理部 研究企画室
R7.6.17	令和7年度新採用職員の和嶋裕也(わじまひろや)技師を紹介します	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R7.6.17	「銀河のしずく」乾田直播栽培試験圃場に入水開始しました	生産基盤研究部 生産システム研究室
R7.6.19	二戸普及センターのきゅうりCO ₂ 施用実証圃の設置支援を行いました	県北農業研究所 果樹・野菜研究室
R7.6.20	田んぼの雑草をとるかわいいあいつ「アイガモロボ」	生産基盤研究部 生産システム研究室
R7.6.20	日本短角種の種雄候補牛を選定するための牧野の訪問を始めました！	畜産研究所 家畜育種研究室
R7.6.25	乳用育成牛の春季放牧試験を実施！！	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
R7.6.26	大豆・小麦の効果的な排水対策の普及に向けて…その2	企画管理部 農業経営研究室
R7.6.26	おうとうの「紅ゆたか」について	園芸技術研究部 果樹研究室
R7.6.26	未来のりんどう新品種候補を定植しました	園芸技術研究部 花き研究室
R7.6.27	令和7年度農薬危害防止運動出発式を開催！	病虫害防除部 病虫害防除課
R7.6.27	畜産研究所16年ぶりの快挙、「優秀畜産技術者」表彰！	畜産研究所 家畜育種研究室
R7.7.3	農大生の校外研修の受け入れを行いました	畜産研究所
R7.7.14	～先端の農業研究を間近に～岩手大学農学部生の視察を受け入れました	企画管理部 研究企画室
R7.7.16	岩手県農業研究センター交通安全研修を行いました	企画管理部 総務課
R7.7.24	和牛オリンピックに向けた肥育農家のスキルアップを支援！～牛の肉質を超音波で診断しました～	畜産研究所 種山畜産研究室
R7.7.25	いちごの魅力と可能性を次世代へ～農業大学校生の研修を受入～	園芸技術研究部 南部園芸研究室

発行日	標 題	部 所 名
R7.7.25	～研究の仕事に挑戦～県立北上翔南高等学校のインターンシップを受入れました	企画管理部 研究企画室
R7.8.5	春まきたまねぎの収穫が始まりました	園芸技術研究部 野菜研究室
R7.8.6	令和7年度農薬適正販売・使用研修会を開催しました！	病虫害防除部 病虫害防除課
R7.8.6	採草地におけるたい肥の表層施用技術の確立に向けて	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
R7.8.7	ドローンによる肥料散布を行いました	生産基盤研究部 生産システム研究室
R7.8.15	黒毛和種肥育もトウモロコシサイレージ多給で低コスト生産!!	畜産研究所 家畜育種研究室
R7.8.18	岩手県で開催！第68回東北農業試験研究発表会	企画管理部 研究企画室
R7.8.18	東北地域畜産飼料作研究の成果を発表	畜産研究所
R7.8.19	ものづくりの現場を見学！～企画管理部主催ゼミで和同産業株式会社を訪問～	企画管理部 研究企画室
R7.8.19	令和9年度現場後代検定牛が選抜されました～県有種雄牛造成に向けた取組～	畜産研究所 種山畜産研究室
R7.8.20	タヌキ被害ゼロ？！スイートコーンほ場に簡易電気柵を設置しました	生産環境研究部 土壌肥料研究室
R7.8.20	県北地域でスマート農業が進んでいます(第2弾)	県北農業研究所 作物研究室
R7.8.22	盛農生のプロジェクト学習をバックアップ！！	園芸技術研究部 花き研究室
R7.8.22	りんどう新品種の候補が咲いています！	園芸技術研究部 花き研究室
R7.8.29	Wild Cup 2025で2度目の優勝・副知事賞、JA岩手県中央会会長賞を受賞しました！	企画管理部 研究企画室
R7.9.2	西洋なし「ジェイドスイート」を収穫しました	園芸技術研究部 果樹研究室
R7.9.8	農業研究センター総合消防訓練を行いました	企画管理部 総務課
R7.9.16	全国大会で紹介！岩手県の環境保全型農業と農薬使用量の低減成果	病虫害防除部 病虫害防除課
R7.9.16	令和7年度「畜産研究所参観デー」を開催しました	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
R7.9.16	令和7年度一般公開デー開催！	企画管理部 研究企画室
R7.9.19	東北農業試験研究会議野菜花き部会の夏期研究会が本県で開催されました	園芸技術研究部 野菜研究室
R7.9.30	東北農業試験研究推進会議生産環境推進部会病虫害研究会(夏期)を岩手で開催	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R7.10.2	～研究の仕事にチャレンジ～北上市立飯豊中学校の職場体験を受入れました	企画管理部 研究企画室
R7.10.2	畜産研究所でET講習会！新たな受精卵移植の担い手の誕生！	畜産研究所 家畜育種研究室
R7.10.2	普及員のレベルアップを応援します！～専門技術基本研修(野菜 第4期)を受け入れました	園芸技術研究部 南部園芸研究室
R7.10.6	軽米中学校の職場体験学習を受け入れました	県北農業研究所
R7.10.21	成果書の書き方を学び、伝える力を磨く～成果書の書き方研修を開催しました～	企画管理部 研究企画室
R7.10.24	岩手県にピッタリ！な醸造用白色ぶどう品種「ヤマブラン」今年も立派な果実が収穫出来ました！	園芸技術研究部 果樹研究室
R7.10.28	有機物施用は気候変動に対抗できるか？～様々な視点で解析中～	生産環境研究部 土壌肥料研究室
R7.10.31	令和7年度第1回岩手県農業研究センター所長表彰を行いました	企画管理部 研究企画室
R7.10.31	鉢花りんどう有望系統現地評価会を開催しました	園芸技術研究部 花き研究室
R7.11.19	促成いちごの開花前線、陸前高田を通過中！	園芸技術研究部 南部園芸研究室
R7.11.19	「令和7年度農薬管理使用アドバイザー更新研修」を開催！	病虫害防除部 病虫害防除課

発行日	標 題	部 所 名
R7.12.2	今年も取組継続中！牛肉の小ザシの数値化と公表 ～第69回岩手県畜産共進会(肉牛の部)～	畜産研究所 家畜育種研究室
R7.12.9	家畜防疫の所内研修を行いました	畜産研究所 家畜育種研究室
R7.12.10	雪が積もっても頑張ります！ 小麦作況調査について	生産基盤研究部 水田利用研究室
R7.12.12	果樹園における恒久電気柵設置のすすめ	県北農業研究所 果樹・野菜研究室
R7.12.18	令和7年度岩手県養液栽培技術セミナーが農業研究センターで開催されました	園芸技術研究部 野菜研究室
R7.12.25	「令和7年度 病害虫防除実績検討会」を開催！～令和7年を振り返り、令和8年を見据える防除戦略～	病害虫防除部 病害虫防除課
R7.12.25	県有種雄牛を品定め ～子牛生産農家が種山畜産研究室を視察しました～	畜産研究所 種山畜産研究室
R8.1.7	岩手県オリジナルのりんご新品種育成の取組について	園芸技術研究部 果樹研究室
R8.1.13	みつたつぷり「冬恋」の品質保持とみつ入り向上を目指し、研究を続けています！	園芸技術研究部 果樹研究室
R8.1.13	どのりんごが有望ですか？～果樹品種試食会(晩生種)で様々な品種を試食検討してもらいました～	園芸技術研究部 果樹研究室
R8.1.21	いちご収穫開始、陸前高田に「春きたり！」	園芸技術研究部 南部園芸研究室
R8.1.26	80年以上前の貴重な資料を寄贈いただきました	企画管理部 研究企画室
R8.1.28	植物防疫の最前線へ「第79回北日本病害虫研究発表会」を盛岡で開催します！	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R8.2.17	堆肥の肥効がひと目でわかる！「有機質資材肥効見える化アプリ」を紹介	生産環境研究部 土壌肥料研究室
R8.2.26	いちごハウスの働きパチに感謝	園芸技術研究部 南部園芸研究室
R8.3.3	第79回北日本病害虫研究発表会を岩手県で開催しました！	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R8.3.9	お米の食味試験	生産基盤研究部
R8.3.11	令和7年度第2回岩手県農業研究センター所長表彰を行いました	企画管理部 研究企画室
R8.3.26	きゅうりににおける炭酸ガス施用技術の研究成果を福島県郡山市で発表しました	園芸技術研究部 野菜研究室
R8.3.30	半世紀以上にわたる畜産研究所の養豚研究に幕	畜産研究所 種山畜産研究室
R8.3.31	野菜作経営体の経営実態調査に取り組んでいます！	企画管理部 農業経営研究室
R8.3.31	めざせ和牛オリンピック！～肉牛の部の肥育がスタート～	畜産研究所 種山畜産研究室

(計87件)

(2) ふおとらぼ

発行日	標 題(内容)	部 所 名
R7.4.4	新採用職員 3 名の着任	企画管理部 研究企画室
R7.4.11	農業科学博物館「科学技術週間」入館無料	企画管理部 研究企画室
R7.4.18	農業ふれあい公園内の桜とコブシが開花中)	企画管理部 研究企画室
R7.4.25	農業科学博物館 鯉のぼり&武者人形展示中	企画管理部 研究企画室
R7.5.28	農業科学博物館「草花染め体験」開催中	企画管理部 研究企画室
R7.6.6	農業科学博物館第94回企画展「いわてのりんご150年～西洋りんご栽培のはじまりから明治時代のりんご栽培を振り返る～」	企画管理部 研究企画室
R7.8.8	農業研究センター一般公開デーの開催について	企画管理部 研究企画室
R7.9.18	農業科学博物館「秋祭りと神輿」	企画管理部 研究企画室
R7.10.8	新採用職員3名の本採用	企画管理部 研究企画室

発行日	標題	部所名
R7.10.22	農業科学博物館「東北文化の日」	企画管理部 研究企画室
R7.11.13	農業科学博物館「ふれあい公園の木の実のハンドメイド体験」	企画管理部 研究企画室
R8.1.15	農業科学博物館「お正月の飾り物」	企画管理部 研究企画室
R8.2.4	農業科学博物館「お雛様」	企画管理部 研究企画室

(計13件)

V 指導・啓発活動

V 指導・啓発活動

1 技術伝達研修等への対応

担 当 部 所	開催期日	開 催 場 所	内 容	参集人員
農産園芸課主催				
生産基盤研究部 水田利用研究室 病害虫防除部	R7.4.17	花巻市 (NOSAI岩手)	令和7年度第1回小麦赤かび病発生防止対策強化会議	116名
生産基盤研究部 水田利用研究室 生産システム研究室 生産環境研究部 土壌肥料研究室 県北農業研究所 作物研究室 病害虫防除部	R7.7.7	花巻市 (農業共済組合本所)	令和7年度第1回稲作技術対策会議 ・水稻の生育状況と今後の技術対策	143名
	R7.12.24	軽米町 (県北農業研究所)	令和7年度第2回稲作技術対策会議 ・水稻の作柄要因解析 ・高温対策の検証と令和8年度の栽培上の注意点	152名
	R7.4.8 R8.1.30	奥州市(奥州合庁) 奥州市(奥州合庁) 北上市	令和7年度第1回金色の風栽培研究会役員会 令和7年度第3回金色の風栽培研究会役員会	20名 20名
	R7.4.9 R7.8.1 R8.2.5	(農業研究センター)	令和7年度第1回銀河のしずく栽培研究会役員会 令和7年度第2回銀河のしずく栽培研究会役員会 令和7年度第3回銀河のしずく栽培研究会役員会	45名 50名 47名
生産環境研究部 土壌肥料研究室	R8.2.9	滝沢市(アピオ)	土地利用型野菜生産拡大セミナー ・堆肥を活用したキャベツ等の減肥実証の取組	60名
県北農業研究所 作物研究室	R7.4.24	軽米町 (県北農業研究所)	令和7年度第1回白銀のひかり栽培研究会役員会及び全体研修会	67名
	R7.8.20	"	令和7年度第2回白銀のひかり栽培研究会役員会及び全体研修会	82名
	R8.2.9	盛岡市 (ホテルメトロポリタン)	令和7年度第3回白銀のひかり栽培研究会役員会及び全体研修会	113名
農業普及技術課主催				
園芸技術研究部 果樹研究室	R7.4.9	北上市 (農業研究センター)	岩手県果樹凍霜害防止連絡会議 ・凍霜害防止対策の取り組みについて	27名
県北農業研究所 作物研究室	R7.6.20	軽米町 (県北農業研究所)	令和7年度データ駆動型農業推進事業現地技術交流会(自動操舵技術の利用)	40名
企画管理部 農業経営研究室	R8.2.19	北上市 (農業研究センター)	新技術・普及活動検討会(経営)	10名
園芸技術研究部 果樹研究室 生産環境研究部 病理昆虫研究室 県北農業研究所 果樹・野菜研究室	R8.2.4	北上市 (農業研究センター)	新技術・普及活動検討会(果樹)	35名

担 当 部 所	開催期日	開 催 場 所	内 容	参集人員
農業普及技術課主催(つづき)				
企画管理部 農業経営研究室 園芸技術研究部 野菜研究室 南部園芸研究室 生産環境研究部 病理昆虫研究室 県北農業研究所 果樹・野菜研究室	R8.1.30	北上市 (農業研究センター)	新技術・普及活動検討会(野菜)	33名
園芸技術研究部 花き研究室	R8.2.3	北上市 (農業研究センター)	新技術・普及活動検討会(花き)	25名
企画管理部 農業経営研究室 生産基盤研究部 水田利用研究室 生産システム研究室 作物育種研究室 生産環境研究部 土壌肥料研究室 病理昆虫研究室 病虫害防除部 病虫害防除課 県北農業研究所 作物研究室	R8.1.20	北上市 (農業研究センター) web併用開催	新技術・普及活動検討会(作物)	26名
畜産研究所 家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室 外山畜産研究室	R8.2.16	滝沢市 (畜産研究所)	令和7年度新技術・普及活動検討会(畜産)	33名
【普及指導員専門技術研修】(農業普及技術課主催)				
企画管理部 農業経営研究室	R7.5.29	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅰ)	9名
生産基盤研究部 水田利用研究室	R7.6.19～20 R7.8.22 R7.10.10 R7.11.13	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅰ) 〃 (作物Ⅱ) 〃 (作物Ⅲ) 〃 (作物Ⅳ)	各1名
生産システム研究室	R7.6.19～20 R7.10.6～7 R7.8.28	北上市 (農業研究センター) 北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅰ) 〃 (作物Ⅲ) 普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅲ)	各1名 4名
作物育種研究室	R7.8.20 R7.11.19	北上市 (農業研究センター) 北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅱ) 普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅳ)	1名 1名

担 当 部 所	開催期日	開 催 場 所	内 容	参集人員
園芸技術研究部 果樹研究室	R7.6.12	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(ぶどう 第Ⅰ期)	4名
	R7.6.19	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(もも 第Ⅰ期)	8名
	R7.7.17	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(ぶどう 第Ⅱ期)	4名
	R7.8.27	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(もも 第Ⅱ期)	8名
	R8.3.16	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(もも 第Ⅲ期)	8名
	R8.3.17	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(ぶどう 第Ⅲ期)	4名
野菜研究室	R7.5.28～30	北上市 (農業研究センター)	専門技術基本研修(野菜 第Ⅰ期)	7名
	R7.8.28	北上市 (農業研究センター)	専門技術基本研修(野菜 第Ⅲ期)	4名
	R7.10.23	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(野菜・環境制御・1期)	8名
	R7.11.17	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(野菜・環境制御・2期)	9名
	R8.2.20	北上市 (農業研究センター)	令和7年度環境制御技術セミナー	100名
花き研究室	R7.6.10、12	北上市 (農業研究センター)	専門技術基本研修(花き 第Ⅰ期)	2名
	R7.8.27	北上市 (農業研究センター)	専門技術基本研修(花き 第Ⅱ期)	2名
	R7.9.25	北上市 (農業研究センター)、 金ヶ崎町	専門技術基本研修(花き 第Ⅲ期)	2名
南部園芸研究室	R7.9.25	陸前高田市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜 第4期)	5名
生産環境研究部 病理昆虫研究室	R7.6.18	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅰ)	4名
	R7.8.29	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅲ)	5名
	R7.10.9	北上市 (農業研究センター)	普及指導員スペシャリスト養成研修(花き・病害虫)	5名
	R7.10.14	北上市 (農業研究センター)	普及指導員スペシャリスト養成研修(果樹土壌・病害虫Ⅰ期)	2名

担 当 部 所	開催期日	開 催 場 所	内 容	参集人員
病虫害防除部 病虫害防除課	R7.5.29	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅰ期)	4名
	R7.8.29	北上市 (農業研究センター)	普及指導員スペシャリスト養成研修(花き・病虫害防除)	3名
畜産研究所 家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室 外山畜産研究室	R7.7.7～8 R7.7.14～15	滝沢市、盛岡市 (畜産研究所、外山畜産研究室)	普及指導員専門技術基本研修(畜産Ⅰ期)	1名
家畜飼養・飼料研究室	R7.9.9	滝沢市 (畜産研究所)	スペシャリスト養成研修(飼料作物)	1名
家畜飼養・飼料研究室	R7.9.17～18	滝沢市 (畜産研究所)	普及指導員専門技術基本研修(畜産Ⅱ期)	1名
種山畜産研究室	R7.9.19	住田町 (種山畜産研究室)	普及指導員専門技術基本研修(畜産Ⅱ期)	1名
家畜飼養・飼料研究室	R7.12.23	滝沢市 (畜産研究所)	スペシャリスト養成研修(酪農)	2名
県北農業研究所 果樹・野菜研究室	R7.7.2	軽米町 (県北農業研究所)	専門技術基本研修(野菜 第Ⅱ期)	3名
	R7.7.4	軽米町 (県北農業研究所)	専門技術基本研修(野菜 第Ⅱ期)	3名

【獣害に関する研修】(農業普及技術課主催)

担 当 部 所	開催期日	開 催 場 所	内 容	参集人員
県北農業研究所 果樹・野菜研究室	R7.11.27～28	軽米町 (県北農業研究所)	野生獣の侵入防止を目的とした恒久電気柵講習会	20名

【岩手県高収益作物推進チーム(花き部会)】(農業普及技術課主催)

担 当 部 所	開催期日	開 催 場 所	内 容	参集人員
園芸技術研究部 花き研究室	R7.6.2	北上市 (農業研究センター)	県育成りんどう有望系統の特性について 千鳥疎植栽培の試験状況について	14名
	R7.12.18	北上市 (農業研究センター)	各普及センターにおけるりんどう、小ぎくの現地実証圃実績検討について	16名

【病害虫防除に関する研修】(岩手県病害虫防除所主催)

担 当 部 所	開催期日	開 催 場 所	内 容	参集人員
病害虫防除部 病害虫防除課	R7.12.12	北上市 (農業研究センター、リモート)	病害虫防除実績検討会【果樹部会】 (対象:各JA、全農いわて、農薬卸商組合、県植防協会、県種苗センター、県機関等)	58名
	R7.12.17	北上市 (農業研究センター、リモート)	病害虫防除実績検討会【野菜部会】 (対象:同上)	60名
	R7.12.18	北上市 (農業研究センター、リモート)	病害虫防除実績検討会【花き部会】 (対象:同上)	40名
	R7.12.24	花巻市、軽米町 (NOSAI本所、県北研リモート)	病害虫防除実績検討会【農産部会】 (対象:同上)	82名

2 現地指導・研修会等への講師派遣

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
企画管理部				
農業経営研究室				
	令和7年度普及指導手法高度化研修1期「農業経営に関する基礎知識」	R7.5.29	農業普及技術課	北上市
	令和7年度いわてアグリフロンティアスクール「農業経営戦略演習」「経営改善計画演習」	R7.6.10 R7.7.24	いわてアグリフロンティアスクール運営協議会	盛岡市
	土地利用型野菜生産拡大セミナー	R8.2.9	農産園芸課	滝沢市
	令和7年度集落営農組織・法人等研修会	R8.2.17	JAいわて中央会	紫波町
生産基盤研究部				
水田利用研究室				
	令和7年度岩手県農管理使用アドバイザー養成研修	R8.1.14 1.21	農業普及技術課	花巻市 (NOSAI) 滝沢市 (産業文化センター)
	令和8年 農薬適正販売使用研修会	R8.1.29	岩手県農薬卸商業協同組合	盛岡市 (八幡宮)
作物育種研究室				
	農業大学校講師(研究現場の育種)	R7.10.21	農業大学校	金ケ崎町 (農業大学校)
園芸技術研究部				
	いわてまるごと科学館(発見！体験！いわての農業)	R7.11.29	いわてサイエンスシンポジウム実行委員会	盛岡市 (アイーナ)
果樹研究室				
	令和7年度第1回りんご病害虫防除及び栽培研修会	R7.5.28	JA全農いわて	北上市 (農研センター)
	令和7年度ぶどう栽培流通研修会	R7.5.29	JA全農いわて	花巻市 (葡萄が丘研究所)
	令和7年度第2回りんご病害虫防除及び栽培研修会	R7.7.9	JA全農いわて	北上市 (農研センター)
	もも収穫検討会	R7.8.4	JA全農いわて	北上市 (農研センター)
	もも栽培勉強会	R7.8.25	農産園芸課	北上市 (農研センター)
	ぶどう大粒種検討会	R7.9.29	JA全農いわて	花巻市 (葡萄が丘研究所)

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
果樹研究室(つづき)				
	アグリフロンティアスクール「6次産業化関連現地研修」	R7.10.7	いわてアグリフロンティアスクール運営協議会事務局(岩手大学農学部地域連携推進室)	北上市 (農研センター)
	農業大学校 講師(作物増殖・果樹)	R7.10.20	農業大学校	金ケ崎町 (農業大学校)
	2025いわて純情りんごコンテスト	R7.11.26	JA全農いわて	北上市 (農研センター)
	JAいわて花巻果樹部会石鳥谷支局研修会 りんご品種「雪いわて」について	R8.1.21	JAいわて花巻果樹部会石鳥谷支局	花巻市 (JAいわて花巻石鳥谷東支店)
	令和7年度りんごセミナー	R8.3.12	JA全農いわて	北上市 (農研センター)
野菜研究室				
	令和7年度普及指導員調査研究「施設野菜における環境制御技術等の効果的な活用方法の検討」 計画検討会	R7.6.3	農業普及技術課(農業革新支援担当)	北上市 (農研センター)
	農業大学校令和8年度事例研究「スマート農業の活用事例(施設園芸)」	R7.6.13	農業大学校	北上市 (農研センター)
	令和7年度普及指導員調査研究「施設野菜における環境制御技術等の効果的な活用方法の検討」 実績検討会	R8.1.8	農業普及技術課(農業革新支援担当)	北上市 (農研センター)
	令和7年度経営者レベルアップ研修会 「野菜の高温対策について」	R8.2.13	北上市認定農業者連絡協議会、西和賀町認定農業者協議会	北上市
	農林水産分野の先端技術展開事業研究成果報告会	R8.2.18	福島国際研究教育機構	福島県郡山市
花き研究室				
	りんどう育苗状況調査	R7.4.17	(公社)岩手県農産物改良種苗センター	八幡平市ほか
	いわてフラワーコンテスト2025審査会	R7.9.5	全農岩手県本部	花巻市
	農業大学校 講師(作物増殖・花き)	R7.9.30	農業大学校	金ケ崎町
	調査研究中間検討会	R7.11.7	農業普及技術課(農業革新支援担当)	北上市 (農研センター)
	岩手県農協花き経営者協議会・花き生産者のつどい	R7.11.9	全農岩手県本部	盛岡市
	りんどう・小ぎく実績検討会	R7.12.18	農業普及技術課(農業革新支援担当)	北上市 (農研センター)

担当部所	内 容	年 月 日	依 頼 者	場 所
南部園芸研究室				
	陸前高田市大規模施設園芸団地栽培打合せ(全4回)	R7.4.14 5.16 6.20 7.17	陸前高田市(施設管理受託者 Hs farm)	陸前高田市
生産環境研究部				
土壌肥料研究室				
	いわてアグリフロンティアスクール 「土壌管理(土壌・肥料)」	R7.7.15	いわてアグリフロンティアス クール運営協議会事務局(岩 手大学農学部地域連携推進 室)	盛岡市 (岩手大学)
	令和7年度土づくり施肥改善研修会(基礎)	R7.10.31	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
	令和7年度土づくり施肥改善研修会(専門)	R7.11.13	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
	令和7年度土づくり・施肥改善研修会(処方箋作成)	R7.11.19	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
病理昆虫研究室				
	令和7年度第1回りんご病害虫防除及び栽培研修会	R7.6.6	JA全農いわて、病害虫防除所	北上市 (農研センター)
	いわてアグリフロンティアスクール 「病害虫管理(防除・農薬)」	R7.7.8	岩手大学農学部地域連携推 進室	盛岡市
	令和7年度第2回りんご病害虫防除及び栽培研修会	R7.7.9	JA全農いわて、病害虫防除所	北上市 (農研センター)
	農業大学校 講師「植物病理学」	R7.10.16	農業大学校	北上市 (農研センター)

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
病理昆虫研究室(つづき)				
	令和7年度岩手県植物防疫関係者技術研修会 「トマトキバガの発生状況と試験研究の現状について」	R7.11.12	(一社)岩手県植物防疫協会	北上市 (農研センター)
	令和7年度病害虫防除実績検討会(果樹部会)	R7.12.12	病害虫防除所	北上市 (農研センター)
	令和7年度病害虫防除実績検討会(野菜部会)	R7.12.17	病害虫防除所	北上市 (農研センター)
	令和7年度病害虫防除実績検討会(花き部会)	R7.12.18	病害虫防除所	北上市 (農研センター)
	令和7年度盛岡地方りんご病害虫防除対策検討会	R7.12.18	盛岡地方農業農村振興協議会 盛岡農業改良普及センター	盛岡市 (盛岡市場)
	令和7年度病害虫防除実績検討会(作物部会)	R7.12.24	病害虫防除所	北上市 (農研センター)
	令和8年度一関地方りんご病害虫防除暦編集会議	R8.1.9	一関地方農林業振興協議会	一関市 (千厩分庁舎)
	令和7年度岩手県農薬管理使用アドバイザー養成研修	R8.1.14 1.21	農業普及技術課	花巻市 滝沢市
	JA花巻りんご部会石鳥谷支部りんご研修	R8.1.21	JA花巻りんご部会	花巻市石鳥谷
	令和7年農薬適正販売使用研修会	R8.1.27	岩手県農薬小売卸商業協同組合	盛岡市八幡宮
	ホップ栽培暦検討会	R8.2.3	ホップ農協	花巻市 (NOSAI本所)
	第52回岩手県ホップ生産者研修会	R8.2.6	岩手県ホップ連合会	盛岡市

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
病理昆虫研究室(つづき)				
	タバココナジラミに対する防除研修会	R8.2.25	盛岡農業改良普及センター 岩手中央農業協同組合	盛岡市
	純情りんごセミナー	R8.3.12	全農いわて	北上市 (農研センター)
病害虫防除部				
病害虫防除課				
	りんご病害虫防除及び栽培研修会	R7.6.6 R7.7.9	全農いわて	北上市 (農研センター)
	農業大学校新規就農者研修	R7.7.16	農業大学校	金ケ崎町 (農業大学校)
	第29回農林害虫防除研究会東京大会シンポジウム	R7.9.4～5	農林害虫防除研究会 日本植物防疫協会	東京都
	岩手県植物防疫関係者技術研修会	R7.11.12	(一社)岩手県植物防疫協会 農業研究センター	北上市 (農研センター)
	農薬管理使用アドバイザー更新研修	R7.10.29 ～12.16	農業普及技術課	二戸市・釜石市・ 盛岡市・北上市・ 奥州市
	第11回生態と防除研究会千葉大会	R7.12.22～ 23	開催事務局	千葉県
	農薬管理使用アドバイザー養成研修	R8.1.14 1.21	農業普及技術課	滝沢市・花巻市
	一関地方りんご病害虫防除暦編集会議	R8.1.9	一関地方農林業振興協議会	一関市
	シンポジウム「温暖化がもたらす新たな病害虫リスクを考える」	R8.1.22	日本植物防疫協会	東京都
	農薬適正販売使用研修会	R8.1.27	岩手県農薬卸商業協同組合	盛岡市
	全国農薬協同組合東北地区会議	R8.2.17	全国農薬協同組合	盛岡市
	農薬の適正使用研修会	R8.2.19	JA新しいわて東部地域園芸生産部会	雫石町
	イネドロオイムシ隔年防除実証報告会	R8.3.9	JA新しいわて	盛岡市
	殺菌剤耐性菌研究会	R8.3.25	研究会事務局	大阪府
畜産研究所				
次長(研究)				
	家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植に関する講習会	R7.8.25 ～9.16	畜産課	滝沢市 (畜産研究所)
	家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植に関する講習会	R8.2.3 ～2.25	畜産課	金ケ崎町 (農業大学校)

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
家畜育種研究室				
	新細かさ指数(小ザンの数値化)について	R7.8.7	農協肉牛経営者連絡協議会	盛岡市
	全共出品候補牛に対する哺育・育成管理勉強会	R7.8.28	畜産課	花巻市
	家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植に関する講習会	R7.8.25 ～9.16	畜産課	滝沢市 (畜産研究所)
	家畜人工授精講習会	R7.10.28 R7.11.11	畜産課	金ケ崎町 (農業大学校)
	家畜商講習会	R7.11.26	流通課	盛岡市
	現場後代検定牛枝肉調査研修会(新細かさ指数の現況と今後の展望)	R7.11.28	全国和牛登録協会岩手県支部	花巻市
	花巻農協肥育部会研修会(肉用牛肥育期間短縮の技術)	R7.12.4	花巻農業協同組合	花巻市
	いわて平泉農協肥育部会肉牛研修会(新細かさ指数について)	R7.12.5	いわて平泉農業協同組合	一関市
	岩手ふるさと農協肉牛部会研修会(新細かさ指数について)	R7.12.5	岩手ふるさと農業協同組合	奥州市
	家畜人工授精新規免許取得者スキルアップ研修会	R8.2.4	畜産課	滝沢市
	肉用牛生産性向上研修会	R8.2.6	畜産課	滝沢市
	家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植に関する講習会	R8.2.20	畜産課	金ケ崎町 (農業大学校)
家畜飼養・飼料研究室				
	家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植に関する講習会	R7.8.25	畜産課	滝沢市 (畜産研究所)
	和牛子牛市場ワンポイント講習会「暑熱対策 自給飼料編」	R7.9.10,11, 17,18,19	全農岩手県本部	奥州市 雫石町
	家畜人工授精講習会	R7.10.27～ 10.29	畜産課	金ケ崎町 (農業大学校)
	家畜商講習会	R6.11.26	流通課	盛岡市

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
外山畜産研究室				
	岩手大学AFSeC×COI-NEXTセミナー 畜産ミートアップ！	R7.7.3	岩手大学	盛岡市 (岩手大学)
	家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植に関する 講習会	R7.8.27	畜産課	滝沢市 (畜産研究所)
	家畜人工授精講習会	R7.11.12	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
種山畜産研究室				
	一関第一高等学校 みらい探求講座	R7.7.10	高大連携事業	一関
	家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植に関する 講習会	R7.8.28 R7.9.2,3	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
	現場後代検定枝肉調査会	R7.11.25	JA全農岩手	花巻市
	農業大学校_家畜飼養管理Ⅰ(肉畜)	R7.12.1	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
	いわて平泉和牛生産部会藤沢支部全体研修会	R7.12.16	いわて平泉農業協同組合	一関市
	育種組合女性部研修会	R8.1.29	いわて和牛中央育種組合 県南和牛育種組合	花巻市
	岩手ふるさと農協和牛改良組合畜産講演会	R8.1.24	岩手ふるさと農業協同組合	奥州市
	家畜人工授精師担当者会議及び特別講演会	R8.3.5	(一社)畜産協会	盛岡市
	和牛子牛市場ワンポイント講習会「県有種雄牛の 最新情報」	R8.3.7, 8, 14, 15, 16	JA全農いわて	奥州市 雫石町

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
県北農業研究所				
果樹・野菜研究室				
	第2回やまぶどう栽培技術研修会	R7.7.24	久慈地方ヤマブドウ振興協議会	野田村 (涼海の丘ワイナリー)
	第2回「岩手キャベツ生産の未来を考える会」	R8.2.6	JA新しいわて東部営農経済センター	岩手町 (県北園芸センター)
	第3回やまぶどう栽培技術研修会	R8.3.10	久慈地方ヤマブドウ振興協議会	久慈市 (久慈地区合同庁舎)
作物研究室				
	雑穀現地研修会・意見交換会	R7.7.8	二戸農振協農産園芸部会	二戸市
	久慈地方「白銀のひかり」栽培研究会並びに「白銀のひかり」栽培志向者向け研修会	R7.7.16 R7.7.28	久慈農業改良普及センター	久慈市
	二戸地方農林水産振興協議会農産園芸部会 令和7年度新規就農者経営能力向上研修会	R7.7.31	二戸農振協農産園芸部会	軽米町 (県北農業研究所)
	雑穀栽培圃場巡回研修会	R7.8.5	一戸町「五穀会」	一戸町
	令和7年度いわてグリーン農業アカデミー第3回研修(スマート農機の活用と操作実習)	R7.8.6	農業大学校	軽米町 (県北農業研究所)
	令和7年度第1回水稻粳新品種「白銀のひかり」栽培研修会	R7.8.21	二戸農振協農産園芸部会	九戸村 軽米町
	令和7年度第2回水稻粳新品種「白銀のひかり」栽培研修会	R7.11.21	二戸農振協農産園芸部会	軽米町 (県北農業研究所)
	第2回雑穀意見交換会	R8.2.12	二戸農振協農産園芸部会	二戸市 (二戸地区合庁)
	一戸町五穀会令和7年度定期総会及び栽培研修会	R8.3.6	一戸町「五穀会」	一戸町

3 視察者、見学者の受け入れ状況

区 分	来所者数	公開デー来場者数	合計	備 考
本 部	653 人	2,000 人	2,653 人	令和7年4月～令和8年3月
南部園芸研究室	82 人	- 人	82 人	
畜産研究所	174 人	0 人	174 人	
種山畜産研究室	133 人	- 人	133 人	
県北農業研究所	144 人	- 人	144 人	
計	1,186 人	2,000 人	3,186 人	

4 春季一般公開及び一般公開デー

名 称	開催期 日	開催 場 所	参 集 人 員
春季一般公開(ふれあい公園)	R7.4.14～4.20	農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	123 名
一般公開デー(本部)	R7.9.6	農業研究センター本部 農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	2,000 名
参観デー(畜産研究所)	R7.8.21～23	ツガワ未来館「アピオ」	302 名

5 技術セミナー等の開催

開催期日	開催場所	主な内容	参集人員	担当室・課
R7.7.10	盛岡市(キャラホール)	農薬適正販売・使用研修会	193名	病虫害防除部

6 農業科学博物館、農業ふれあい公園の利用者

項 目	主 な 内 容	開催年月日	参集人数
農業科学博物館	入館者数	入館者総数(企画展、イベント、その他を含む来館者数)	4,534名
		農業研究センター春季一般公開	R7.4.14～20 (123名)
		農業研究センター一般公開デー	R7.9.6 (624名)
	企画展	収蔵品を「企画テーマ」に年1～2回展示紹介	-
		第93回企画展「小麦農林10号」生誕90年	R7.3.16～6.1
		第94回企画展「いわてのりんご150年」	R7.6.6～10.5
		第95回企画展「いわてのひつじ150年」	R7.10.10～R8.1.18 ※2.23まで延長
		第96回企画展「いわての鳥獣害」	R8.3.1～5.31
	イベント	夏休み体験学習会「絵の具のマーブル染めでうちわを作ろう！」	R7.8.3 7名(5組)
		冬休み体験学習会「漆のこし紙でお面に絵付けをしよう！」	R7.12.8 7名(6組)
	その他	学校教育支援活動 (社会科実習、校外学習等の受入)	- 782名(18校)
		高齢者、障がい者支援活動(障害福祉施設等)	- 90名(15団体)
農業ふれあい公園 ゲートボール場	グラウンドゴルフ	利用期間 4月～11月	3,396名
			(192件)

7 研修生の受け入れ

(1) 海外研修

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
エチオピアからの 研究者等 4名	JICA	JICA研修「水稻育種の流れと原 種生産・種子供給システム」	作物育種研究室 生産システム研究室	R7.7.28
畜産関係行政官、 研究者等 12名	ガイアナ、マラウイ、パキスタン、サモア、セ ネガル、スリランカ、ウズベキスタン、ベトナム、 家畜改良センター	JICA個別研修「SDGsに配慮した 包括的な畜産振興の取り組み」	家畜育種研究室 外山畜産研究室	R7.10.30

(2) 短期研修生

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
(なし)				

(3) 視察・体験学習の受け入れ

ア 小中学校等の「総合的な学習の時間」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
北上市立飯豊中学校	職場体験	3	研究企画室 生産システム研究室 野菜研究室 花き研究室 病虫害防除部	R7.9.3～4
滝沢市一本木中学校	職場体験学習(獣医師の仕事、研究 内容)	2	家畜育種研究室	R7.11.7
軽米町立軽米中学校	職場体験学習(農業研究の仕事)	2	県北農業研究所	R7.9.25、26

イ 高等学校、大学等の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
農業大学校新規就農者研修	スマート農業技術、水稻作況試験、乾 田直播、りんごに関する研究取組状況 の視察	21	研究企画室 生産システム研究室 果樹研究室	R7.6.20
岩手大学農学部植物生命科学科	初期世代温室、耐冷圃視察、果樹の 育種、りんごの試験研究、花きの育種 について	48	研究企画室 作物育種研究室 果樹研究室 花き研究室	R7.7.4
インターンシップ (飯豊中学校)	水稻・畑作物、野菜、果樹、花き、土 壌肥料・病虫害防除の研究取組に関 する研修	3	研究企画室、生産基盤研 究部、園芸技術研究部、生 産環境部、病虫害防除部	R7.9.3～4
岩手大学	オペレーター型の集落営農について	1	農業経営研究室	R8.3.17
インターンシップ (北上翔南高校)	水稻育種全般	2	作物育種研究室	R7.7.16
インターンシップ (北上翔南高等学校)	果樹の研究取組に関する研修、花き 研究室の業務について	2	果樹研究室 花き研究室	R7.7.17

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
盛岡農業高等学校	岩手のリンドウについて	5	花き研究室	R7.6.23
岩手県立農業大学校 農産園芸研究科(2年、職員)	夏イチゴの栽培や研究内容について	13	南部園芸研究室	R7.7.16
岩手県立花巻北高等学校	総合的な探求の時間(H×ACT) 農業分野における有用微生物群の活用と農作物のカルシウム欠乏の実態とその対策	2	土壌肥料研究室	R7.10.23
岩手県立農業大学校 農産園芸研究科(1年、職員)	病害虫試験研究について	43	病理昆虫研究室	R7.10.16
県立農業大学校畜産学科1年	畜産研究所の概要及び施設について 酪農、肉用牛における飼養管理技術について	16	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	R7.6.30
東京・中学社会科授業研究会	・日本短角種の繁殖および放牧の状況、肥育状況、種雄牛造成について	5	家畜育種研究室 外山畜産研究室	R7.8.7
岩手大学動物科学科2年	畜産研究所の概要及び施設について	32	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	R7.10.15
県立農業大学校酪農経営科1年	胎子の生長と分娩、哺育管理 試験研究成果	5	家畜飼養・飼料研究室	R7.9.18
県立農業大学校肉畜経営科1年	黒毛和種の飼養管理 日本短角種の飼養管理、放牧技術 試験研究成果	9	外山畜産研究室	R7.9.18
水沢農業高等学校	黒毛和種の品種改良の仕組み、種雄牛見学	7	種山畜産研究室	R7.6.4
県立農業大学校畜産学科2年	岩手県の種雄牛造成について	12	種山畜産研究室	R7.6.17
花巻農業高等学校	種雄牛の視察・施設見学	7	種山畜産研究室	R8.3.17

ウ その他の視察・研修等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
秋田県農業試験場	集落営農の実態について	2	農業経営研究室	R8.3.25
岩手県認定農業者組織連絡協議会 稲作部会	稲作新技術に関する現地研修会 乾田直播について	24	生産システム研究室	R7.6.17
岩手県直は研究会直は栽培現地 検討会	水稻における近年の作柄、高温対策 等に関する研究成果	24	生産システム研究室	R7.7.30
JAいわて中央 水稻生産部会 本 部役員研修	リモートセンシング技術について	20	生産システム研究室	R7.8.5
北海道江別市農業委員会視察研 修	水稻の直播技術について	21	生産システム研究室	R7.11.21
農林水産部新採用職員研修	耐冷圃場説明	22	作物研究室	R7.6.12
志和もち部会研修会	高温登熟耐性品種の開発について	10	作物育種研究室	R7.7.25
JAいわて中央直播研究会研修	高温登熟耐性品種の開発について 乾田直播圃場視察	32	作物育種研究室 生産システム研究室	R7.7.25
JA岩手ふるさと農協米部会研修	高温登熟耐性品種の開発について	12	作物育種研究室	R8.2.2
北上市認定農業者連絡協議会 経営者レベルアップ研修会	高温登熟耐性品種の開発について	50	作物育種研究室	R8.2.13
福島市農業後継者連絡協議会	りんごに関する研究取組状況の視察	5	果樹研究室	R7.6.30
JAいわて花巻果樹部会北上支局	りんご品種「岩手15号」について	25	果樹研究室	R7.8.5
JAいわて中央りんご部会女性部	果樹栽培の生産技術について	21	果樹研究室	R7.8.6
JAみやぎ登米りんご生産部会	りんご品種「はるか」の栽培管理につ いて りんごに関する研究取組状況につい て	15	果樹研究室	R7.8.21
中野果樹振興会	りんごに関する研究取組状況につい て	30	果樹研究室	R7.8.28
JAやまがた広域りんご部会	りんごに関する研究取組状況につい て	5	果樹研究室	R7.9.8

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
JAいわて中央西洋なし部会	西洋なし品種「ジェイドスイート」の栽培特性について	10	果樹研究室	R7.9.12
全国農業合協同組合連合会青森県本部	りんごに関する研究取組状況について	5	果樹研究室	R7.10.28
山形県庄内みどり農協	きゅうり、トマト、ブロッコリー栽培について	7	野菜研究室	R7.11.5
JA福島さくら青年連盟	施設園芸における環境制御技術(細霧冷房)について	50	野菜研究室	R7.12.2
農林水産省農産局園芸作物課、同東北農政局生産部園芸特産課	岩手県におけるリンゴの育種方針及び育種方法並びに岩手県育成品種の普及までの流れと種苗の供給体系について	4	花き研究室	R7.11.18
山形県農業総合研究センター園芸農業研究所	リンゴの培養、順化等について	2	花き研究室	R8.3.2
生態系サービス事業参画研究機関	岩手県りんご園における土着カブリダニ活用の実態等について	17	病理昆虫研究室	R7.8.7-8
ビール酒造組合	軽米町ホップほ場、県北ホップ農協ペレット工場見学	18	病理昆虫研究室	R7.8.27
青森県産業技術センターりんご研究所	りんご虫害にかかる試験研究について	2	病理昆虫研究室	R7.12.17
大東地域農政推進員協議会	水稻の病害虫対策について	10	病害虫防除部	R8.2.20
宮城県登米市農業振興協議会幹事会視察研修	黒毛和種の脂肪の質の改良、黒毛和種低コスト肥育技術に係る試験研究	7	畜研次長、家畜育種研究室	R7.11.13
いわい東肥育部会青年部	事例研究等校外研修	8	種山畜産研究室	R7.4.30
県立農業大学校	種雄牛の視察・調査	12	種山畜産研究室	R7.6.17
JA平泉和牛生産部会平泉支部	種雄牛の視察・調査	12	種山畜産研究室	R7.6.24
江刺和牛改良生産組合女性部	種雄牛の視察・調査	12	種山畜産研究室	R7.7.28
全農岩手牛改良センター	種雄牛の視察・調査	3	種山畜産研究室	R7.8.5
いわて平泉農協和牛生産部会東山支部	種雄牛の視察・調査	20	種山畜産研究室	R7.8.22
花巻農協高見支部	種雄牛の視察・調査	10	種山畜産研究室	R7.10.28

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
宮崎県家畜改良事業団	種雄牛の視察・調査	4	種山畜産研究室	R7.11.11
いわて久慈和牛改良組合青年部	施設及び業務の見学	6	種山畜産研究室	R7.11.19
岩手大学	種雄牛の視察・調査	11	種山畜産研究室	R7.11.20
花巻和牛の会	種雄牛の視察・調査	11	種山畜産研究室	R7.12.3
JA江刺繁殖部会梁川支部	種雄牛の視察・調査	10	種山畜産研究室	R7.12.15
県北広域振興局副局長視察	県北地域における取組説明(果樹研究等)、施設内・圃場見学等について	5	県北農業研究所	R7.5.15
軽米町商工会	白銀のひかりについて	35	県北農業研究所	R7.6.24
JAいわて中央りんご部会盛岡支部	果樹に関する試験研究内容について	10	県北農業研究所	R7.7.10
県総務部長	県北農業研究所について	2	県北農業研究所	R7.7.17
岩手県議会農林水産委員会	水稻品種および果樹栽培試験について	15	県北農業研究所	R7.7.24
遠野地域白銀のひかり栽培研究会	白銀のひかり栽培方法について	12	県北農業研究所	R7.8.5
宮城県議会議員	県北農業研究所の試験状況について	7	県北農業研究所	R7.8.19
あきた北農協十二支店支部長会	白銀のひかりについて	11	県北農業研究所	R7.9.5
岩手県農業資材商業会	環境制御技術に関する試験研究について	20	県北農業研究所	R7.9.10
九戸村議会産業民生常任委員会	県北研の取り組みについて	8	県北農業研究所	R7.9.22
県北局農政部長視察	果樹関係試験の取り組み状況について	3	県北農業研究所	R7.10.15
JA新しいわて野菜部会葛巻支部	ハウレンソウ栽培について	15	県北農業研究所	R7.10.31
山内ふれあい共食会	県北研の施設と野菜(きゅうり)栽培について	20	県北農業研究所	R7.11.5
JAいわて花巻 遠野地域水稻生産部会	白銀のひかり栽培方法について	17	県北農業研究所	R7.11.10
京都府農林水産技術センター	遺伝資源センターの取組について	2	県北農業研究所	R8.2.18
秋田県農業試験場長	薬用作物の除草方法について	2	県北農業研究所	R8.2.18

8 協議会、委員会等委員

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
岩手県農業技術開発会議	構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員	所長 企画管理部長 生産基盤研究部長 園芸技術研究部長 生産環境研究部長 病虫害防除部長 畜産研究所長 県北農業研究所長	農業普及技術課
岩手県バイオテクノロジー研究調整会議	委員	所長	農林水産企画室
岩手県農業気象協議会	委員 委員 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	企画管理部長 病虫害防除所長 (病虫害防除部長) 生産システム研究室長 果樹研究室長 野菜研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 作物研究室長(県北研) 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	農業普及技術課
特別栽培農産物に係る慣行レベル検討会議	構成員	水田利用研究室長 果樹研究室長 野菜研究室長 花き研究室長 土壌肥料研究室長 病理昆虫研究室長 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長) 果樹・野菜研究室長(県北研) 作物研究室長(県北研)	農業普及技術課
いわてグリーン農業推進会議	構成員	生産環境研究部長	農業普及技術課
いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会	幹事	生産基盤研究部長	流通課
生産技術体系・営農類型策定ワーキングチーム	サブリーダー	農業経営研究室長	農業振興課
	チーム員	家畜飼養・飼料研究室長	
岩手県農業農村整備事業地区担い手育成協議会	委員	農業経営研究室経営チーム(総括)	農村建設課
農作物奨励品種検討会議	構成員	所長	農産園芸課
岩手県特産農産物生産振興共進会審査委員会	審査委員長 審査委員 審査委員 審査委員	県北農業研究所長 農業経営研究室長 病理昆虫研究室長 作物研究室長(県北研)	農産園芸課
いわて国際水準GAP推進チーム	チーム員	農業経営研究室長	農業普及技術課
いわて地域農業マスタープラン実践支援事業(リーディング経営体育成型)経営発展計画審査会	審査委員	農業経営研究室長	農業振興課
岩手県果樹農業振興計画策定チーム	チーム員	農業経営研究室長 果樹研究室長	農産園芸課

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
大船渡地方農業振興協議会	構成員	南部園芸研究室長	大船渡農業改良普及センター
大船渡地方農業振興協議会 農産園芸部会	構成員	専門研究員 (南部園芸研究室)	大船渡農業改良普及センター
住田町農業振興協議会及び住田町農業経営改善計画審査会	構成員・幹事・審査委員	南部園芸研究室長	住田町
陸前高田市大規模園芸施設運営協議会	委員 委員	農業経営研究室長 南部園芸研究室長	陸前高田市
住田町農業振興協議会	幹事	南部園芸研究室長	住田町
久慈地方農業農村活性化推進協議会	委員 幹事	県北農業研究所長 果樹・野菜研究室長(県北研)	久慈市
二戸地方農林水産振興協議会	委員 幹事	県北農業研究所長 作物研究室長(県北研)	二戸市
東北農業試験研究協議会	理事	所長	農研機構・東北農業研究センター
東北農業経済学会	評議員	企画管理部長	東北農業経済学会
園芸学会東北支部	評議員	野菜研究室長	弘前大学農学生命科学部
東北土壌肥料協議会	幹事	生産環境研究部長	東北各県持ち回り
日本土壌肥料学会東北支部	幹事	土壌肥料研究室長	北里大学獣医学部
東北畜産学会	評議員	畜産研究所長、次長	北里大学獣医学部
日本農業賞岩手県代表選考審査委員	委員	所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県施肥合理化協議会	委員 委員 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	生産環境研究部長 畜産研究所長 生産システム研究室長 果樹研究室長 野菜研究室長 土壌肥料研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 果樹・野菜研究室長(県北研)	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわてフラワーコンテスト	審査委員長 審査委員	園芸技術研究部長 花き研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわて純情りんごコンテスト	審査委員長 審査委員 審査委員	園芸技術研究部長 果樹研究室長・室員 病理昆虫研究室長 果樹・野菜研究室長(県北研)・室員	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県麦民間流通地方協議会	構成員	水田利用研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
岩手県農業共済組合損害評価会	損害評価審議委員 (農作物/水稲) 損害評価審議委員 (農作物/水稲) 損害評価審議委員 (農作物/水稲) 損害評価審議委員 (果樹) 損害評価審議委員 (果樹) 損害評価審議委員 (農作物/麦) 損害評価審議委員 (農作物/麦) 損害評価審議委員 (畑作物/大豆・ホップ・そば) 損害評価審議委員 (畑作物/大豆・ホップ・そば) 損害評価審議委員 (園芸施設) 審議委員(家畜) 家畜診療所運営委員	主任行政専門員 (病虫害防除所) 生産システム研究室長 病理昆虫研究室長 果樹研究室長 主任 (病虫害防除所) 水田利用研究室長 主任主査 (病虫害防除所) 水田利用研究室長 主任主査 (病虫害防除所) 野菜研究室長 畜産研究所次長 (研究担当) 畜産研究所次長 (研究担当)	岩手県農業共済組合
岩手県産業用無人ヘリコプター推進協議会	幹事	病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	岩手県農業共済組合
(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部	委員	生産基盤研究部長	(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部
(一社)岩手県植物防疫協会	幹事 幹事 幹事 幹事 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員	生産基盤研究部長 園芸技術研究部長 生産環境研究部長 病虫害防除所長 (病虫害防除部長) 水田利用研究室長 果樹研究室長 野菜研究室長 花き研究室長 病理昆虫研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	(一社)岩手県植物防疫協会
胆江広域病虫害防除協議会	会員 幹事	病虫害防除所次長 (病虫害防除課長) 病虫害防除所主任行政専門員 (病虫害防除課主任行政専門員)	岩手県農業共済組合 県南基幹センター
岩手北部病虫害防除協議会	構成員 幹事	病虫害防除所次長 (病虫害防除課長) 病虫害防除所主任行政専門員 (病虫害防除課主任行政専門員)	岩手県農業共済組合 県北基幹センター
遠野地方病虫害防除推進協議会	幹事	病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	JAIいわて花巻 遠野地域営農グループ

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
指定有害動植物の発生予察事業に関する検討会	委員	病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	農林水産省消費・安全局植物防疫課
種子価格設定委員会	委員	水田利用研究室長 生産システム研究室長	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
種子事故防止委員会兼種子事故調査委員会	委員 委員	生産システム研究室長 病理昆虫研究室長	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会	委員 委員	種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	畜産課
いわて短角和牛改良推進協議会	委員	家畜育種研究室長 外山畜産研究室長	日本短角種集団育種推進協議会 畜産課
全国和牛能力共進会出品対策委員会	委員 委員	次長(種山畜産研究) 家畜育種研究室長	畜産課 全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県畜産技術連盟	世話人	畜産研究所長	畜産研究所
盛岡市牧野運営協議会委員	委員	外山畜産研究室長	盛岡市
岩手県乳質改善協議会	委員	畜産研究所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
ミルクシステム診断事業推進委員会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	(一社)岩手県畜産協会
岩手県乳用牛群検定推進協議会	幹事	家畜飼養・飼料研究室長	(一社)岩手県畜産協会
全日本ホルスタイン共進会岩手県出品対策委員会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	(一社)岩手県畜産協会
全国和牛登録協会登録委員産肉能力検定委員会	参与 参与 委員	畜産研究所長 畜産研究所次長 (種山駐在) 種山畜産研究室長	全国和牛登録協会
和牛改良専門委員会	委員 委員	種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	全国和牛登録協会岩手県支部
県南和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
中央和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
日本短角種検定委員会	委員	家畜育種研究室長	日本短角種登録協会
日本短角種枝肉情報分析委員会	委員	家畜育種研究室長	肉用牛改良情報活用協議会
日本ホルスタイン登録協会岩手県支部	評議員	家畜飼養・飼料研究室長	(一社)岩手県畜産協会
江刺和牛生産改良組合	理事	種山畜産研究室長	江刺和牛生産改良組合
一戸町畜産クラスター協議会	構成員	畜産研究所長	一戸町
八戸平原地域営農推進協議会	委員	県北農業研究所長	東北農政局 北奥羽調査管理事務所

VI 職員研修

VI 職員研修

1 大学院派遣

職・氏 名	所属部所・研究室	研 究 内 容	派 遣 先	派 遣 期 間
専門研究員 赤坂 尚生	県北農業研究所 果樹・野菜研究室	高温期の雨よけハウレンソウの栽培における高温対策技術の開発と生理的メカニズムの解明	岩手大学大学院連 合農学研究科 (福島大学)	R7.4.1～

2 海外派遣・研修

(該当なし)

3 国内研修への派遣

(1) 依頼研究員

職・氏 名	所属部所・研究室	研 修 内 容	派 遣 先	派 遣 期 間
専門研究員 中村 太紀	県北農業研究所 果樹・野菜研究室	摘心・更新処理の有無による節展開・着果習性への影響	野菜花き研究部門 施設生産システム研究領域	R7.7.28～ 9.26

(2) 農林水産関係研究リーダー研修

職・氏 名	所属部所・研究室	研 修 内 容	派 遣 先	派 遣 期 間
企画管理部長 長谷川 聡	企画管理部	研究リーダーとして必要な知見の習得	農林水産省6階共用第2会議室	R7.6.12～13

(3) 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修

(該当なし)

(4) 農林水産関係研究者研修

職・氏 名	所属部所・研究室	研 修 内 容	派 遣 先	派 遣 期 間
専門研究員 小野寺真由	生産環境研究部 土壌肥料研究室	令和7年度農林水産関係若手研究者研修	中央合同庁舎4号 館 農林水産省会議室	R7.10.14～ 10.15

(5) その他

研修名	開催場所	開催期間	所属部所・研究室	参加人数
東北農業経済学会秋田大会	秋田県秋田市	R7.8.29～30	企画管理部 農業経営研究室	4
日本農業普及学会令和7年度春季大会	東京都	R8.3.5～6	企画管理部 農業経営研究室	1
2026年度日本農業経済学会大会	鳥取県鳥取市	R8.3.28～29	企画管理部 農業経営研究室	1
令和7年度 農業機械研究部門研究報告会・農業機械技術クラスター総会	さいたま市	R8.3.5～6	生産基盤研究部 水田利用研究室 生産システム研究室	3
第20回東北育種研究集会	弘前市	R7.11.15～16	生産基盤研究部 作物育種研究室	1
水田乾田直播・子実とうもろこしフォーラム2026	盛岡市 マリオス	R8.3.5	生産基盤研究部 作物育種研究室	2
日本育種学会(令和8年度春季学会)	水戸市	R8.3.21～22	生産基盤研究部 作物育種研究室	1
日本作物学会第261 回講演会	群馬県高崎市	R8.3.28～29	生産基盤研究部 作物育種研究室	1
第68回東北農業試験研究発表会	岩手県盛岡市	R7.7.31	園芸技術研究部 果樹研究室	3
園芸学会令和7年度秋季大会	高知県高知市	R7.9.20～21	園芸技術研究部 果樹研究室	1
産地構造転換パイロット事業研修会	オンライン開催	R7.12.19	園芸技術研究部 果樹研究室	2
落葉果樹研究会	茨城県つくば市	R8.1.27～28	園芸技術研究部 果樹研究室	5
寒冷地果樹研究会	盛岡市	R8.1.30	園芸技術研究部 果樹研究室	5
園芸学会令和8年度春季大会	神奈川県川崎市	R8.3.21～22	園芸技術研究部 果樹研究室	1
第98回日本養液栽培研究会・京都・滋賀大会	滋賀県彦根市	R7.5.23	園芸技術研究部 野菜研究室	1
第68回東北農業試験研究発表会	盛岡市	R7.7.31	園芸技術研究部 野菜研究室	4
園芸学会東北支部令和7年度大会	山形県山形市	R7.8.25～26	園芸技術研究部 野菜研究室	2
園芸学会令和7年度秋季大会	高知県高知市	R7.9.20～21	園芸技術研究部 野菜研究室	2
園芸学会令和8年度春季大会	神奈川県川崎市	R8.3.21～22	園芸技術研究部 野菜研究室	4
第68回東北農業試験研究発表会	盛岡市	R7.7.31	園芸技術研究部 花き研究室	4
園芸学会東北支部令和7年度大会	山形市	R7.8.25～26	園芸技術研究部 花き研究室	1
令和7年度花き研究シンポジウム	つくば市	R7.10.7～8	園芸技術研究部 花き研究室	1
コンプライアンス推進員研修(人事課)	盛岡市	R7.4.11	園芸技術研究部 南部園芸研究室	1
園芸学会東北支部令和7年度大会	山形市	R7.8.25～26	園芸技術研究部 南部園芸研究室	2
東北ハイクテ研究会セミナー「ハウス栽培夏いちごのドローンによる授粉作業の実践-スモール・スマート農業の実践の現地視察-」(東北地域農林水産・食品ハイクテ研究会)	オンライン開催	R7.9.30	園芸技術研究部 南部園芸研究室	2

研修名	開催場所	開催期間	所属部所・研究室	参加人数
令和7年度スペシャリスト養成研修(野菜;いちご)	盛岡市	R7.11.19	園芸技術研究部 南部園芸研究室	2
e-ラーニング 仮説とデータを活かす政策立案講座(人事課)	オンライン開催	R7.12	園芸技術研究部 南部園芸研究室	3
2025年度日本土壌肥料学会東北支部大会	福島県福島市	R7.7.9～10	生産環境研究部 土壌肥料研究室	3
日本作物学会東北談話会第68回講演会	秋田県秋田市	R7.8.26～27	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
日本土壌肥料学会2025年度新潟大会	新潟県新潟市	R7.9.17～19	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
日本作物学会第260回講演会	新潟県新潟市	R7.9.21～22	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
第1回 田植え不要の米づくりコンソーシアム(農林水産省)	オンライン開催	R7.9.25	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
「水田輪作新技術プロジェクト」キックオフフォーラム(農研機構)	オンライン開催	R7.12.11	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
令和7年度 東北気候変動適応セミナー(東北地方環境事務所)	オンライン開催	R7.12.17	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
第2回 田植え不要の米づくりコンソーシアム(農林水産省)	オンライン開催	R7.12.17	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
令和7年度 東北そば研究会(東北農政局)	オンライン開催	R8.1.12	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
北陸大豆サロン(北陸農政局)	オンライン開催	R8.2.4	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
東北大豆セミナー(東北農政局)	オンライン開催	R8.2.5	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
北陸麦サロン(北陸農政局)	オンライン開催	R8.2.10	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
有機農業セミナー(北海道農政事務所)	オンライン開催	R8.2.17	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
戦略的スマート農業技術の開発・改良「緑肥の肥料効果の面的把握とすき込み方法の改善に基づく減化学肥料栽培技術の開発」(農研機構 中日本農業研究センター)	オンライン開催	R8.2.25	生産環境研究部 土壌肥料研究室	1
EBC研究会ワークショップ2025	神奈川県厚木市	R7.9.16～17	生産環境研究部 病理昆虫研究室	1
令和7年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	岩手県農業研究センター	R7.11.12	生産環境研究部 病理昆虫研究室	8
令和7年度日本植物学会九州部会	沖縄県那覇市	R7.11.20～21	生産環境研究部 病理昆虫研究室	1
農林害虫防除研究会タスクフォース 第5回殺虫剤抵抗性対策シンポジウム	東京都世田谷	R7.12.19	生産環境研究部 病理昆虫研究室	2
第70回ヘソディム講習会	東京都 法政大学 小金井キャンパス	R8.2.3	生産環境研究部 病理昆虫研究室	1
第79回北日本病害虫研究発表会	盛岡市 マリオス	R8.2.18～19	生産環境研究部 病理昆虫研究室ほか	18
日本植物病理学会大会	大阪府 摂南大学	R8.3.26～28	生産環境研究部 病理昆虫研究室	2
第70回日本応用動物昆虫学会大会	熊本県 熊本城 ホール	R8.3.28～30	生産環境研究部 病理昆虫研究室	3
総合防除の現場定着に向けたオンライン開催セミナー(国主催)	オンライン開催	R7.5.19	病虫害防除部	2

研修名	開催場所	開催期間	所属部所・研究室	参加人数
新任総括課長等研修(人事課)	盛岡市	R7.5.19～20	病虫害防除部	1
新任担当課長等研修(人事課)	盛岡市	R7.6.2～4	病虫害防除部	1
中堅職員研修(人事課)	盛岡市	R7.7.2～4	病虫害防除部	1
農業適正使用研修会(病虫害防除部、岩手県植物防疫協会)	盛岡市 キャラホール	R7.7.10	病虫害防除部	7
新任主査研修(人事課)	盛岡市	R7.7.14～16	病虫害防除部	1
カメムシ類連絡会議(国主催)	オンライン開催	R7.8.8	病虫害防除部	3
ダイバーシティマネジメント研修(人事課)	盛岡市	R7.8.25	病虫害防除部	1
経済学入門講座(人事課)	盛岡市	R7.8.28～29	病虫害防除部	1
岩手県植物防疫関係者技術研修(岩手県植物防疫協会)	北上市(農研本部)	R7.11.12	病虫害防除部	7
e-ラーニング 仮説とデータを活かす政策立案講座(人事課)	オンライン開催	R7.12	病虫害防除部	1
e-ラーニング 仕事の進め方講座(人事課)	オンライン開催	R7.12	病虫害防除部	2
e-ラーニング プレゼンテーション講座(人事課)	オンライン開催	R7.12	病虫害防除部	1
病虫害防除所職員等中央研修(国主催)	横浜市 植物防疫所 他	R7.12.16～19	病虫害防除部	1
シンポジウム「温暖化がもたらす新たな病虫害リスクを考える」(日本植物防疫協会)	東京都 オンライン開催	R8.1.22	病虫害防除部	7
果樹病害・虫害研究会(農研機構)	つくば市	R8.1.26～28	病虫害防除部	1
誰もが活躍できる職場環境づくり研修(人事課)	盛岡市	R8.2.5	病虫害防除部	1
東北地区病虫害防除所職員研修会(国主催)	横浜市	R8.2.10	病虫害防除部	2
第79回北日本病虫害研究発表会	盛岡市	R8.2.18～19	病虫害防除部	8
殺菌剤耐性菌研究会	大阪府	R8.3.25	病虫害防除部	1
家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植に関する講習会	畜産研究所	R7.8.25～9.16	畜産研究所	1
危険物取扱者保安講習	岩手県危険物安全協会連合会	R7.11.6	畜産研究所 総務課	1
畜産・家畜衛生部会・公衆衛生部会合同研修会	盛岡市	R7.8.8	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	1
6大学共催フォーラム兼FAMS第22回全体研修会	盛岡市	R7.9.29	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	1
日本家畜臨床学会	盛岡市	R7.11.14～15	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	1
自給飼料利用研究会	東京都	R7.11.25～26	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	1

研修名	開催場所	開催期間	所属部所・研究室	参加人数
放牧指導者等育成のための研修会	オンライン開催	R7.12.9	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	1
乳牛における農場管理技術研修会	滝沢市	R8.2.10	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	1
第12回東北農場HACCP研修会	盛岡市	R8.3.6	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	1
主査3年目研修	盛岡市	R7.9.4	畜産研究所 外山畜産研究室	1
令和7年度コンプライアンス推進員研修	盛岡市	R7.4.14	畜産研究所 種山畜産研究室	1
種雄牛の飼養管理及び凍結精液生産に係る研修	盛岡市	R7.4.15	畜産研究所 種山畜産研究室	4
職員の勤務時間等に係る実務担当者研修	奥州市	R7.5.13	畜産研究所 種山畜産研究室	1
令和7年度安全衛生担当者等研修会	盛岡市	R7.5.28	畜産研究所 種山畜産研究室	1
岩手江刺農協和牛部会第1回研修会	奥州市	R7.6.23	畜産研究所 種山畜産研究室	3
令和7年度南いわて食産業クラスター形成ネットワーク講演会	奥州市	R7.6.24	畜産研究所 種山畜産研究室	1
令和7年度中堅職員研修	雫石町	R7.7.2～4	畜産研究所 種山畜産研究室	1
令和7年度肉用牛指導者養成研修会	滝沢市	R7.7.30	畜産研究所 種山畜産研究室	2
全国和牛共進会出品候補牛の哺育・育成管理勉強会	盛岡市	R7.8.19	畜産研究所 種山畜産研究室	2
子牛育成研修会	奥州市	R7.8.26	畜産研究所 種山畜産研究室	1
令和7年度「経済学入門講座」	盛岡市	R7.8.28～29	畜産研究所 種山畜産研究室	1
令和7年度安全運転管理者等講習会	奥州市	R7.9.10	畜産研究所 種山畜産研究室	1
第13回全共に係る肥育実証試験 第2回目枝肉調査並びに研修会	紫波町	R7.10.1	畜産研究所 種山畜産研究室	5
令和7年度農林水産部会計事務担当職員研修会	オンライン開催	R7.11.4	畜産研究所 種山畜産研究室	1
令和7年度鳥インフルエンザ等家畜防疫作業支援班長研修会	滝沢市	R7.11.19	畜産研究所 種山畜産研究室	1
新規人工授精師免許取得者スキルアップ研修会	滝沢市	R8.2.4	畜産研究所 種山畜産研究室	1
家畜人工授精業務に関する研修会	滝沢市	R8.2.4	畜産研究所 種山畜産研究室	1
令和7年度肉用牛生産性向上研修会	滝沢市	R8.2.6	畜産研究所 種山畜産研究室	3
令和7年度家畜人工授精師担当者会議及び特別講演会	滝沢市	R8.2.7	畜産研究所 種山畜産研究室	4
現場後代検定合同調査会	京都府	R8.2.12～13	畜産研究所 種山畜産研究室	1
第79回北日本病虫害研究発表会	岩手県	R8.2.19～20	県北農業研究所	4

研修名	開催場所	開催期間	所属部所・研究室	参加人数
岩手ふるさと農協和牛牛改良組合畜産講演会	奥州市	R8.2.24	畜産研究所 種山畜産研究室	1
園芸学会令和8年度春季大会	神奈川県	R8.3.21～22	県北農業研究所 果樹・野菜研究室	2
令和7年度日本植物病理学会大会	大阪府	R8.3.26～28	県北農業研究所 果樹・野菜研究室	1
令和7年度 農業機械研究部門研究報告会・農業機械開発改良試験研究打合せ会議	埼玉県	R8.3.5～6	県北農業研究所 作物研究室	4
日本育種学会令和8年度春季大会	茨城県	R8.3.21～22	県北農業研究所 作物研究室	1
日本作物学会第261回講演会	群馬県	R8.3.28～29	県北農業研究所 作物研究室	1

4 所内研修等

研修名	開催場所	開催期間	所属部署・研究室	参加人数
令和7年度農研本部新任者に対するオリエンテーション	本部1F中会議室 他	R7.4.11	企画管理部 研究企画室	12
令和7年度 予算管理研修	本部2F大会議室	R7.4.25	企画管理部 研究企画室	22
令和7年度 試験研究ほ場説明会	試験圃場	R7.6.27	企画管理部 研究企画室	46
令和7年度企画管理部主催ゼミ 「生産の省力化・省人化に向けた無人走行草刈機等の開発について」	和同産業株式会社	R7.8.7	企画管理部 研究企画室	20
令和7年度研究課題推進研修会 「試験研究成果書の書き方について」	本部2F中会議室	R7.10.7	企画管理部 研究企画室	33
ハラスメント防止研修	動画視聴	R7.8.1～9.30 R7.11.14～ R8.1.30	企画管理部 総務課	100
消火器の操作方法と熱中症対処法に関する講習	車庫内	R7.8.27	企画管理部 総務課	100
令和7年度第1回交通安全研修	本部2階大会議室	R7.7.3	企画管理部 総務課	102
令和7年度第2回交通安全研修	本部2階中会議室	R7.11.27	企画管理部 総務課	72
畜産研究所家畜防疫に係る研修会	畜産研究所	R7.11.28	畜産研究所 家畜育種研究室	35
交通安全研修	畜産研究所	R7.11.28	畜産研究所 総務課	63
交通安全研修	県北農業研究所	R7.8.26	県北農業研究所 総務課	20
フレックス・在宅勤務関する研修会	県北農業研究所	R7.10.23	県北農業研究所 総務課	20
ハラスメント研修	動画視聴	R7.11.14～ R8.1.30	県北農業研究所 総務課	17

5 所内セミナー等

研修名	開催場所	開催期間	参加人数
令和7年度予算管理研修の開催について	本部2F中会議室	R7.4.25	28
令和7年度企画管理部主催ゼミ「生産の省力化・省人化に向けた無人走行草刈機等の開発について」	和同産業株式会社	R7.8.7	21
生産基盤研究部 部内ゼミ「岩手県における水稻及び雑穀の優良品種育成」「宇宙におけるイネ栽培研究の現状について」	本部2F中会議室	R8.3.30	15
園芸技術研究部 部内ゼミ「相互圃場巡回1」	本部圃場	R7.7.25	15
園芸技術研究部 部内ゼミ「相互圃場巡回2」	本部圃場	R7.10.3	15
生産環境研究部 部内ゼミ「第79回北日本病虫害研究発表会予行練習」	盛岡市民文化ホールマリオス	R8.2.18	8
病虫害防除部 部内ゼミ「生物季節って温暖化と関係あるのか？」	本部2F小会議室	R7.8.19	7
病虫害防除部 部内ゼミ「新奇病虫害に出会ったらどうするか」～特殊報発表までの流れ～	本部2F小会議室	R7.9.9	7
病虫害防除部 部内ゼミ「AI予察灯の実証について(R6-7年のまとめ)」	本部2F小会議室	R7.10.14	7
病虫害防除部 部内ゼミ「生成AIの解説と活用について」	本部2F小会議室	R7.11.13	8
病虫害防除部 部内ゼミ「イネドロオイムシの越冬場所はどこ？」	本部2F小会議室	R7.12.9	8
病虫害防除部 部内ゼミ「発生予察調査データを活用した重要リスク指標の探索」	本部2F小会議室	R8.1.19	8
病虫害防除部 部内ゼミ「今年の発生と防除の実態+α」～ネギハモグリバエ～	本部2F小会議室	R8.2.12	8
畜産研究所 第1回所内セミナー 「所内コンペ」応募課題予演会	畜産研究所	R7.4.9	10
畜産研究所 第2回所内セミナー 「東北農業試験研究発表会」予演会(第1回)	畜産研究所	R7.6.3	10
畜産研究所 第3回所内セミナー 「東北農業試験研究発表会」予演会(第2回)	畜産研究所	R7.7.9	8
畜産研究所 第4回所内セミナー 「Wild Cup 2025」予演会	畜産研究所	R7.7.23	9
畜産研究所 第5回所内セミナー 「東北畜産学会秋田大会」予演会(第1回)	畜産研究所	R7.8.5	10
畜産研究所 第6回所内セミナー 「日本畜産学会一般講演」予演会(第1回)	畜産研究所	R7.9.4	8
畜産研究所 第7回所内セミナー 「東北農業試験研究会議分科会プレゼン予演会」予演会	畜産研究所	R8.1.9	12
第1回 県北農業研究所内ゼミナール「試験圃場巡回説明会」	県北場内ほ場	R7.7.17	14
第2回 県北農業研究所内ゼミナール「研究内容等の紹介」	県北3F中会議室	R7.8.26	14
第3回 県北農業研究所内ゼミナール「研究内容等の紹介」	県北3F中会議室	R7.10.2	14
第4回 県北農業研究所内ゼミナール「研究内容等の紹介」	県北3F中会議室	R7.12.3	14
第5回 県北農業研究所内ゼミナール「最終講義」	県北3F中会議室	R8.3.24	14

VII 試験研究以外の業務概要

Ⅶ 試験研究以外の業務概要

1 岩手県主要農作物等原種・原原種の生産等に関する要領に基づく原原種の生産

種 類	品 種	面 積 (a)	生産量 (kg)	備 考 (採種場所等)
水稻(うるち)	ひとめぼれ(系統維持のみ)	15	-	農業研究センター
	吟ぎんが	1	17	〃
	ぎんおとめ	1	13	〃
	つぶゆたか	2	82	〃
	たわわっこ(増殖)	5	40	〃
水稻(もち)	ヒメノモチ(増殖)	15	40	紫波町
小麦	ゆきちから	20	670	農業研究センター
	銀河のちから	10	220	〃
大豆	リュウホウ	20	240	農業研究センター
	ナンプシロメ	2	24	〃
	リョウユウ	8	96	〃
	ユキホマレ	1	12	〃

2 岩手県主要農作物等原種・原原種の生産等に関する要領に基づく原種の生産

種 類	品 種	面 積 (a)	生産量 (kg)	備 考 (採種場所等)
水稻(うるち)	ひとめぼれ	326	11,900	農業研究センター
	あきたこまち	27	680	〃
	銀河のしずく	100	2,600	〃
	白銀のひかり	20	500	県北農業研究所
	白銀のひかり	32	1,240	農業研究センター
	吟ぎんが	7	100	〃
	ぎんおとめ	4	100	〃
	白銀のひかり	10	360	県北農業研究所
水稻(飼料用米)	つぶゆたか	25	920	農業研究センター
	たわわっこ	32	1,100	農業研究センター
水稻(もち)	ヒメノモチ	50	1,500	紫波町
小麦	ゆきちから	221	690	農業研究センター
	ナンプコムギ	128	270	〃
	銀河のちから	34	540	〃
大豆	リュウホウ	140	1,680	農業研究センター
	ナンプシロメ	60	480	〃
	リョウユウ	25	300	〃
ひえ	達磨ねばりっこ2号	1	2.8	県北農業研究所
あわ	ゆいこがね	1	2.6	〃

3 岩手県主要農作物等原種・原原種の生産等に関する要領に基づく種子・種苗の配布

種 類	品 種	数 量(kg)	配 布 先
水稻うるち原種 (令和8年採種圃播種用)	いわてっこ	820	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	白銀のひかり	840	〃
	あきたこまち	1,400	〃
	どんびしやり	60	〃
	銀河のしずく	2,220	〃
	ひとめぼれ	9,400	〃
	金色の風	60	〃
	ササニシキ	280	〃
酒造好適米原種 (令和8年採種圃播種用)	ぎんおとめ	40	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	吟ぎんが	54	〃
	結の香	20	〃
水稻非主食用米原種 (令和8年採種圃播種用)	たわわっこ	500	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	つぶゆたか	340	〃
水稻もち原種 (令和8年採種圃播種用)	ヒメノモチ	1,280	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	もち美人	35	〃
小麦原種 (令和7年採種圃播種用)	ナンプコムギ	2,700	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ゆきちから	5,250	〃
	銀河のちから	1,110	〃
	ナンプキラリ	510	〃
大豆原種 (令和7年採種圃播種用)	リュウホウ	2,544	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	シュウリュウ	210	〃
	ナンプシロメ	115	〃
	リョウユウ	12	〃
あわ原種	いわてあわこがね	0.25	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ゆいこがね	0.05	〃
きび原種	ひめこがね	1.50	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
りんどう	種子系親系統Ha等 8系統	1,800(本)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	培養系親系統Sen2 1系統	200(本)	〃
りんご	岩手15号	1kg	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター

注) 旧年産の種子も供給していること。

4 遺伝資源センターの取組

種 類	品 種	発芽率(%)	備 考
伝統野菜の保存に係る 発芽率調査	該当なし		
あわ遺伝資源の更新	208系統	概ね80%以上	7系統が発芽率80%未満

5 県有種雄牛の精液の供給

(畜産研究所種山畜産研究室:令和8年3月31日現在)

(1) 黒毛和種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
第5夏藤	0	0	0	0	40	0	0	0	0	2	0	0	42
菊安舞鶴	0	0	2	5	20	10	20	50	8	10	77	10	212
花金幸	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
山根雲	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	30
辰美継	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0	50
百合雲	34	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	10	54
結乃宝	0	0	3	5	0	0	0	4	0	0	0	0	12
百合花智	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	10	20	65
菊百合福	10	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	12
美津貴(百合照重)	52	20	47	23	25	20	15	16	10	15	10	26	279
沢美津雲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6
福太郎3(福太郎)	5	4	2	10	0	5	60	0	0	0	20	68	174
菊美翔平	339	136	83	117	143	36	183	243	282	274	158	330	2,324
光乃雲(百合光)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5
真里隼(真理陽大)	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
万太郎(成美之12)	15	28	0	10	0	10	0	0	0	0	5	0	68
百合白福(山百合)	14	3	0	13	0	0	0	0	0	0	4	0	34
勝乃富士	5	18	7	28	15	0	25	0	35	0	15	12	160
計	486	209	146	211	323	83	303	323	335	341	305	476	3,541

(2) 日本短角種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
高福	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	10
松秋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6
勝花	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	5	0	11
辰郎	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
立美	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
高桜	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
良広	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
琴国宝	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
良復興	0	5	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	9
福波	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
北川春	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
勝花	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋吉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
民川	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	6
朝福	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
良来	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
琴春2020	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
姫松吉	0	5	20	0	0	0	0	0	0	0	5	0	30
福次朗	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4
松民(四男)	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
川笹花(川花)	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
福若(若福)	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
高穂里	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
夢春	0	5	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	10
計	40	49	44	0	18	5	0	6	6	12	15	0	195

6 種豚、種鶏等の配布

(畜産研究所家畜育種研究室:令和8年3月31日現在)

(1) 豚の配布

品 種	種 類			配 布 先
	種雌(頭)	種雄(頭)	子豚(頭)	
L	－	－	－	県内養豚農場
B	－	－	37	県内養豚農場
LW	－	－	－	県内養豚農場
その他	－	－	－	県内養豚農場
計	0	0	37	

(2) 種鶏等の配布

品 種	種 類			配 布 先
	雌(羽)	雄(羽)	計(羽)	
南部かしわ雛	656	489	1,145	岩手しずくいし南部かしわ生産組合他

7 寄託放牧

(畜産研究所外山畜産研究室:令和7年5～10月)

(1) 牛

品 種	種 類			計(頭)
	成牛雌(頭)	成牛雄(頭)	子牛(頭)	
日本短角種	32	1	30	63

(2) 馬

品 種	種 類			計(頭)
	成馬雌(頭)	成馬雄(頭)	子馬(頭)	
ブル系等	8	1	3	12

VIII 予算及び財産

Ⅷ 予算及び財産

1 岩手県農業研究センター予算（令和7年度・2月現計）

（単位：千円）

区 分	（内 訳）	予 算 額
【農業費】		
人件費（本部）		774,681
庁舎管理費（本部）		119,138
庁舎管理費（本部：施設整備費）		65,002
庁舎管理費（本部：会計年度任用職員）		14,017
庁舎管理費（県北）		24,306
ほ場管理費（本部）		47,410
ほ場管理費（県北）		5,400
管理運営費（県北：会計年度任用職員）		5,959
ふれあい公園管理運営費		8,511
ふれあい公園管理運営費（会計年度任用職員）		7,965
試験研究費（国庫、委託試験 等）		90,679
（1）植物防疫研究費	1,049	
（2）土壌対策研究費	368	
（3）外部資金等農業試験研究費	89,262	
高生産性農業新技術開発促進研究費（県単研究費）		9,534
主要農作物採種管理費		23,602
令達事業（本部）		42,691
令達事業（県北）		9,137
合 計		1,248,032
【畜産業費】		
人件費（畜産）		516,032
庁舎管理費		55,354
飼育管理費		135,755
管理運営費（種山畜産研究室分）		104,336
試験研究費（国庫、委託試験 等）		2,238
農業関係試験研究委託事業	2,238	
高生産性畜産新技術開発促進研究費（県単研究費）		11,523
令達事業		22,273
合 計		847,511
全 体 計		2,095,543

2 建物・用地の面積及び飼養家畜数

(1) 建物・用地の面積(R8.3.31現在)

	用 地 (ha)								建物(m ²)	
	耕 地					林野等	施設 用地	総面積	棟数	延面積
	水田	畑	樹園地	採草放牧地	小計					
本 部	30	31	17		78	16	41	135	80	30,325
北 上	26	22	17		65		36	101	33	19,846
【主な施設面積(内数)】										
管理棟										2,911
実験研究棟										5,057
作物調査研究棟										716
育苗ガラス温室										992
穀物乾燥原種調 整調査棟										860
園芸作物調査棟										716
生産環境調査棟										608
農業ふれあい公園						16	2	18	8	2,181
南部園芸研究室							1	1	9	1,862
旧銘柄米開発研究室	4	1			5		2	7	25	4,684
その他(胆沢、金ヶ 崎、滝沢)		8			8		0	8	5	1,752
畜産研究所		99		1,595	1,694	297	36	2,027	150	36,847
滝沢(本所)		93			93	57	30	180	92	24,048
外山畜産研究室		6		1,484	1,490	132	5	1,627	43	7,171
種山畜産研究室				111	111	108	0.6	220	15	5,628
県北農業研究所	1	11	1		12		8	20	17	8,083
合 計	31	141	18	1,595	1,785	313	85	2,182	247	75,255

(2) 飼養家畜頭羽数(R8.2.1現在)

(単位:頭・羽)

種別性別		雄	雌	計	品種別頭羽数
乳用牛	経産牛		24	24	ホルスタイン種 41
	育成牛(子牛含む)		17	17	
肉用牛	(滝沢)	91 (雄25, 去勢66)	42	133	黒毛和種 61、日本短角種 72 (育成牛・子牛を含む) 黒毛和種 59、日本短角種 48 (育成牛・子牛を含む) 黒毛和種 (育成牛を含む)
	(外山)	8 (去勢8)	99 (子牛22)	107	
	(種山)	54 (雄30, 去18, 子6)	22 (子雌1)	76	
	牛 計	153	204	357	
豚	種豚	-	-	0	【種豚の内訳】 バークシャー種 33、雑種 7
	その他	-	-	40	
	計	0	0	40	
鶏	種鶏	-	-	1,397	岩手地鶏 238、基礎鶏 353、ホワイトロックロー ド 268、ホワイトロック 56、岩手大型ロード 482

IX 沿革

Ⅸ 沿 革

明治31年	種馬厩を盛岡市に設置。
明治34年	農事試験場(3部制:庶務・種芸・分析)を本宮村向中野(現盛岡市)に設置。 種馬厩を種畜場と改称。
明治35年	種畜場を盛岡市から滝沢村に移転。
明治36年	農事試験場に園芸部(4部制)を新設。
大正2年	原蚕種製造所を胆沢郡水沢町(現奥州市水沢)に設置。
大正8年	農事試験場胆江分場を江刺郡愛宕村(現奥州市江刺)に設置。
大正11年	原蚕種製造所を蚕業試験場(4係制:庶務・蚕種・試験・桑園)と改称。
大正12年	農事試験場に病虫害部(5部制)を新設。 外山御料牧場を種畜場に移管し、種畜場本場を玉山村(現盛岡市玉山)に移転(滝沢は支場となる)。
昭和2年	種鶏場を岩手郡巻掘村(現盛岡市玉山区)に設置。
昭和5年	農事試験場軽米農場を九戸郡軽米町に設置。 蚕業試験場一戸桑園を二戸郡一戸町に設置。
昭和10年	農事試験場遠野試験地を上閉伊郡松崎村(現遠野市)に設置。
昭和12年	種畜場本場を滝沢村に移転、玉山は外山支場となる。 蚕業試験場六原桑樹試験地を金ヶ崎町に設置。
昭和13年	蚕業試験場一戸桑園を一戸支場と改称。
昭和15年	農事試験場軽米農場を九戸分場と改称。
昭和21年	農事試験場高冷地試験地を二戸郡小鳥谷村(現一戸町)に設置。
昭和22年	農事試験場遠野試験地が国営に移管。
昭和23年	種鶏場を紫波郡日詰町(現紫波町)に移転。
昭和25年	農事試験場を農業試験場(4部制:総務・営農・農産・畜産)と改称。 農業試験場畜産部を種畜場と併設。 農業試験場葡萄試験地を稗貫郡大迫町(現花巻市大迫町)に設置。 農業試験場沿岸作物試験地を九戸郡長内村(現久慈市)、下閉伊郡豊間根村(現山田町)及び気仙郡小友村(現陸前高田市)に委託設置。
昭和26年	農業試験場南部試験地を気仙郡米崎村(現陸前高田市)に設置。 農業試験場に遠野試験地が国から移管。 農業試験場に農業経営研究部門設置。 工芸作物原種農場を雫石町に設置。
昭和28年	蚕業試験場を水沢市(現奥州市水沢)龍ヶ馬場に移転。
昭和30年	農業試験場本場機構改革(8部制:庶務・種芸・化学・園芸・病虫害・経営・農機具・畜産)。 蚕業試験場機構改革(4部制:庶務・栽桑・養蚕・病理化学)。
昭和32年	蚕業試験場一戸支場を一戸分場と改称。
昭和36年	蚕業試験場一戸分場を二戸郡一戸町上野に新築移転。
昭和37年	農業試験場の園芸部、南部試験地及びぶどう試験地を分離して園芸試験場(3部制:庶務・果樹・蔬菜花卉)を北上市に設置。南部試験地及びぶどう試験地をそれぞれ、南部分場、大迫圃場と改称。 農業試験場胆江分場及び九戸分場をそれぞれ、県南分場、県北分場と改称。 種畜場に種鶏場及び農業試験場畜産部を併合して畜産試験場を滝沢村に設置。 農業試験場遠野試験地及び沿岸作物試験地を廃止。 工芸作物原種農場を農業試験場に統合し、原種部を設置。
昭和38年	農業試験場本場を盛岡市から滝沢村へ移転。
昭和39年	畜産試験場外山支場を外山試験地と改称。
昭和41年	農業試験場本場機構改革(4部制:庶務2係・技術・環境・経営)。
昭和44年	園芸試験場蔬菜花卉部を野菜花き部に改称。
昭和46年	農業試験場本場機構改革(科制導入。技術部:水田作科・畑作科・作業技術科、環境部:施肥改善科・土壌改良科・病虫害科、経営部:経営科・流通経済科)。 農業試験場県南分場及び県北分場に分場次長を設置。 農業試験場高冷地試験地を園芸試験場へ移管し、高冷地分場となる。 園芸試験場に環境部を設置。 園芸試験場大迫圃場を大迫試験地と改称。 畜産試験場外山試験地を外山分場と改称。
昭和47年	園芸試験場南部分場を陸前高田市米崎町から同市高田町へ移転。
昭和48年	蚕業試験場六原桑樹試験地を六原試験地と改称。
昭和51年	農業試験場作業技術科を農業機械科に改称。

昭和53年	蚕業試験場六原試験地を廃止。 蚕業試験場養蚕部、病理化学部をそれぞれ養蚕経営部、環境部に改称。
昭和56年	園芸試験場高冷地分場を高冷地開発センターに改称。
昭和57年	蚕業試験場整備計画実施(～昭和58年)。
平成3年	農業試験場に水稻育種科を設置。
平成8年	畜産試験場種山肉用牛改良センターを住田町に設置。
平成9年	農業試験場、蚕業試験場、園芸試験場及び畜産試験場を農業研究センターに再編整備。 農業試験場本場、園芸試験場本場、同大迫試験地及び蚕業試験場本場を統合し、北上市にセンター本部を設置。 農業試験場県南分場及び園芸試験場南部分場をそれぞれ銘柄米開発研究室、南部園芸研究室と改称。 農業試験場県北分場、園芸試験場高冷地開発センター及び蚕業試験場一戸分場を統合し、軽米町に県北農業研究所を設置。 畜産試験場を畜産研究所に改組。 畜産試験場外山分場及び種山肉用牛改良センターをそれぞれ外山畜産研究室、種山畜産研究室に改称。 県北農業研究所に専門技術員を配置。
平成10年	園芸畑作部蚕桑技術研究室繭品質評価分室を盛岡市に設置(繭検定所を廃止)。 センター本部に専門技術員を配置。
平成11年	企画経営情報部マーケティング研究室を農業経営研究室に統合。
平成13年	病害虫部を新設し、病害虫防除課及び病理昆虫研究室を設置。 銘柄米開発研究室、蚕桑技術研究室及び同研究室繭品質評価分室を廃止。 南部園芸研究室を陸前高田市高田町から同市米崎町へ移転。
平成16年	総務部管理課を同部総務課に統合。 県北農業研究所にいわて雑穀遺伝資源センターを設置。 企画経営情報部内にいわて農林水産知的財産相談センターを設置。
平成17年	病害虫防除課県北農業研究所駐在を廃止、病害虫防除所(本部)へ統合。 専門技術員(県北農業研究所勤務)を専門技術員室(本部)へ勤務振り替え。
平成18年	専門技術員室を廃止(中央農業改良普及センターへ勤務振り替え)。 いわて農林水産知的財産相談センターを閉鎖(業務は岩手県知的所有権センターで実施)。
平成20年	センター本部が2プロジェクト推進室4部体制、畜産研究所が1課4研究室、県北農業研究所が1課2研究室に再編整備。
平成23年	プロジェクト推進室を1プロジェクト体制、技術部園芸研究室を果樹研究室と野菜花き研究室に再編整備。 技術部南部園芸研究室(陸前高田市)が東日本大震災津波で被災し、研究員は本部勤務で研究を継続。
平成25年	技術部南部園芸研究室(陸前高田市)を再建し、研究員は平成26年1月から陸前高田市で勤務。
平成31年	センター本部のプロジェクト推進室及び技術部を生産基盤研究部と園芸技術研究部に再編、5部体制に整備。 環境部を生産環境研究部と改称
令和6年	県北農業研究所園芸研究室を果樹・野菜研究室に改組
令和8年	畜産研究所の豚研究を廃止

<所 在>

岩手県農業研究センター 本 部	〒024-0003	岩手県北上市成田20-1 Tel. 0197-68-2331 FAX. 0197-68-2361 ホームページ https://www.pref.iwate.jp/agri/nouken E-mail : CE0008@pref.iwate.jp (本部) E-mail : CE0001@pref.iwate.jp (病虫害防除所)
	(南部園芸研究室) 〒029-2206	岩手県陸前高田市米崎町字川崎238-4 TEL. 0192-55-3733 FAX. 0192-55-2093
畜産研究所	〒020-0605	岩手県滝沢市砂込737-1 Tel. 019-688-4326 FAX. 019-688-4327 E-mail : CE0010@pref.iwate.jp
	(外山畜産研究室) 〒028-2711	岩手県盛岡市藪川字大の平40 Tel. 019-681-5011 FAX. 019-681-5012
	(種山畜産研究室) 〒029-2311	岩手県気仙郡住田町世田米字飼沢30 Tel. 0197-38-2312 FAX. 0197-38-2177 E-mail : CE0034@pref.iwate.jp
県北農業研究所	〒028-6222	岩手県九戸郡軽米町大字山内23-9-1 Tel. 0195-47-1070 FAX. 0195-49-3011 E-mail : CE0009@pref.iwate.jp

令和 7 年度 岩手県農業研究センター年報

令和 8 年 7 月発行

岩手県農業研究センター

〒024-0003 岩手県北上市成田20-1

TEL(0197)68-2331 FAX(0197)68-2361

IWATE-AGRICULTURAL RESEARCH CENTER

20-1Narita,Kitakami Iwate 024-0003,Japan